

SHARP

デジタルサイネージソフト

e-Signage S

取扱説明書

型名 PN-SW25
PN-SS25
PN-SS22
PN-SS21
PN-SV21

はじめに

このたびは、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage S（イーサイネージ エス）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

なお、本取扱説明書はe-Signage S Ver. 1.3.2.42を対象としています。

1. e-Signage S について

インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage S には、WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版、スタンドアロン版があります。各タイプで使用制限や機能の違いがあります。また、コンテンツを表示する端末（表示用端末）にはe-Signage S プレーヤー（Windows 用）または e-Signage S プレーヤー A1（組み込み端末用）のインストールが必要です。

- スタンドアロン版 PN-SS21
1 台のPC 内で番組やスケジュール作成から配信までを実施。USB メモリーを使用することで、表示用端末に配信することも可能。
オペレーター数：1 名
- ネットワーク版 PN-SS22
管理用PC からネットワーク経由で表示用端末に、作成した番組やスケジュールを配信。
オペレーター数：1 名
配信台数：最大100 台
- Pro 版 PN-SS25
最大1000 台まで配信可能。多数のパネルをパネルグループで管理。
オペレーター数：1 名
配信台数：最大1000 台
- WEB サーバー版 PN-SW25
マルチユーザー機能でさまざまなPC 環境からアクセスして、コンテンツフォルダー、番組、スケジュール編集が行えます。
オペレーター数：1 ～ 50 名
配信台数：最大1000 台

1.1. 機能一覧表

形名	e-Signage S WEB サーバー版	e-Signage S Pro 版	e-Signage S ネットワーク版	e-Signage S スタンドアロン版
	PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21
運用グループ管理	○	×	×	×

マルチユーザー管理	○	×	×	×	
ユーザー権限管理	○	×	×	×	
パネルグループ管理	○	○	×	×	
番組作成・編集	○	○	○	○	
スケジュール作成・編集	○	○	○	○	
チャンネルセット作成・編集	○	○	×	×	
配信	USB メモリー配信	○	○	○	○
	ネットワーク配信 (PUSH 型)	○	○	○	×
	ネットワーク配信 (PULL 型)	○	○	○	×
	配信台数	最大 1,000 台	最大 1,000 台	最大 100 台	—
	臨時番組配信	○	○	○	×
	配信予約	○	○	○	×
	緊急テロップ配信	○	○	×	×
遠隔プレーヤーアップデート	○	○	○	×	
ディスプレイ状態監視 (パネルの状態監視)	○	○	○	×	
ディスプレイ制御 (パネル制御)	○	○	○	×	

2. e-Signage S を使用するための注意事項

- e-Signage S は厳重な品質管理のもとで出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- e-Signage S を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集等を行うことは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。

す。

利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けているなどの事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製・編集した場合や、複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、e-Signage S において写真の画像データ、DVD 映像、TV 放映等を利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用・改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

- TV、DVD など、著作権のある番組を上映する際は、著作権者の許諾を取得してください。
- 本取扱説明書およびe-Signage S の内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。
- 本取扱説明書およびe-Signage S は、改良のため予告なく変更することがあります。

3. 商標について

- Microsoft、Microsoft Edge、Windows、Windows Media、Windows Server、PowerPoint、Internet Explorer、マイクロソフトは、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- Adobe、Flash は、Adobe Inc.（アドビ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome はGoogle LLC の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、iPadOS は、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。iPhone はア イホン株式会社の登録商標であり、Apple Inc. がライセンスに基づき使用しています。IOS はCisco の米国およびその他の国の登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。

その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

4. この取扱説明書の見かた

4.1. 表記について

- キーを押す操作は、押すキーを「【】」で表記しています。
例：【Shift】キー、【Ctrl】キーなど
- メニューやウィンドウ、ダイアログボックス、ボタン、タブなどを「[]」で表記しています。

例：4 [変更の保存] をクリックする。

[電源オプション] ダイアログボックスに戻ります。

- 項目やチェックボックス、ラジオボタンなどを「[]」で表記しています。

例：「座標-X」、「プリセット画面サイズ」ラジオボタンなど

- 本書では、e-Signage S が次のフォルダーにインストールされている場合を例に説明します。異なる場合は、必要に応じて読み換えて操作してください。

C:\Program Files (x86)\SHARP\ e-Signage (デフォルト)

- 本書に記載されている画面サンプルや操作手順は、1つの例です。

お使いの表示デバイスや画面の設定、お使いになるOS やブラウザ、またそのバージョンによって内容が異なる場合があります。

また、本書に記載されているコンテンツファイルやフォントなどは、作成例です。すべて搭載されているものではありません。

- 本書では、Windowsの基本的な操作については説明していません。

5. 用語解説

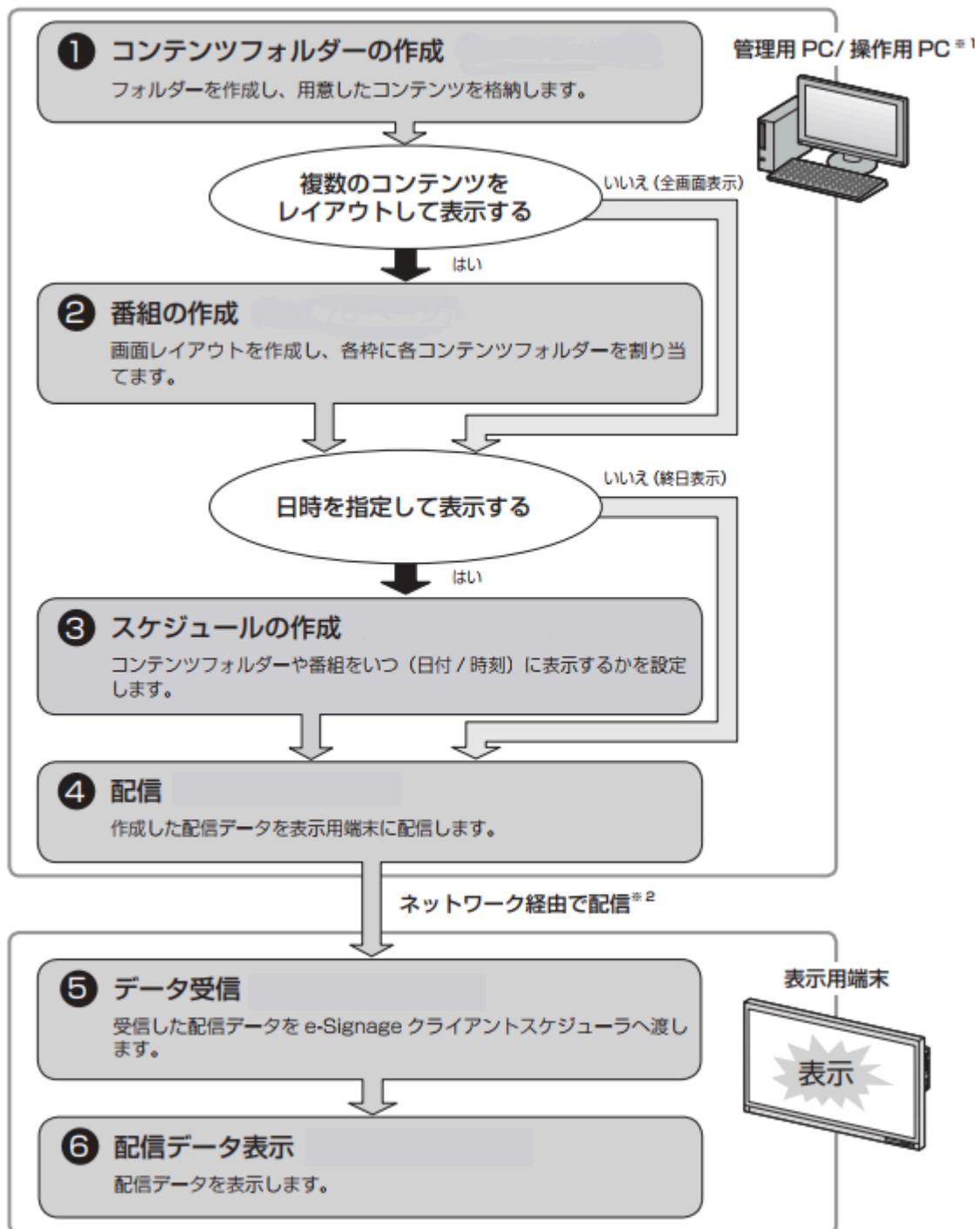
本書で使用されている用語について説明します。

用語	意味
管理用 PC	画面全体のレイアウトやコンテンツの再生順序などを設定し、再生スケジュールを作成して、配信するパソコン。
操作用 PC	WEB ブラウザなどで管理用 PC にアクセスして、配信指示や状態監視などを行うパソコン。
表示用端末	配信されたスケジュールに従ってコンテンツを再生する端末。
サーバーソフトウェア	管理用 PC にインストールされるソフトウェアです。
クライアントソフトウェア	操作用 PC にインストールされるソフトウェアです。
プレーヤーソフトウェア	表示用端末にインストールされるソフトウェアです。
コンテンツ (ファイル)	動画、静止画、音声など、再生する素材 (ファイル) です。通常は、ユーザー側で用意します。
コンテンツフォルダー	コンテンツを格納します。パネル、番組、スケジュールに割り当てることができます。
プレイリスト	再生するコンテンツのリストです。

表示枠	表示画面を複数に分割したときの表示単位となる子画面を示します。
番組	表示枠レイアウトと、表示枠にそれぞれ割り当てられたコンテンツフォルダーの情報を組み合わせたものです。
タイムテーブル	コンテンツフォルダーや番組を 1 日のうちで再生したい時間帯に割り当てたものです。
スケジュール	コンテンツフォルダーや番組を再生したい日付に割り当てたものです。
パネル	ディスプレイ（コンテンツデータを表示するインフォメーションディスプレイ）
テロップ	スクロールメッセージです。 e-Signage S では、テロップは 2 つまで表示できます。
添付ファイル	HTML ファイルなどを表示するときに必要な画像ファイルなどの総称を示します。
割り付け	どの配信データ（スケジュール、臨時番組、緊急テロップ、プレーヤー更新データ）をどのパネルに配信するか設定することです。
配信	管理用 PC/ 操作用 PC で作成したコンテンツデータを表示用端末に送信すること。スタンドアロン版では、すべてを表示用端末のみで行います。
配信データ	表示用端末に配信するコンテンツデータ。
ユーザー	e-Signage S を管理するオペレーター。
運用グループ	ユーザーやパネル、スケジュール、番組などを管理する単位です。 ※ WEB サーバー版では最大 50 グループ作成できます。その他は 1 グループです。
スーパーバイザー	すべての運用グループにまたがった操作を行うことができるユーザーです。 ※ WEB サーバー版のみ

6. 配信データ表示までの流れ

表示するコンテンツの選択から表示用端末にデータを表示するまでの流れについて説明します。



ご参考

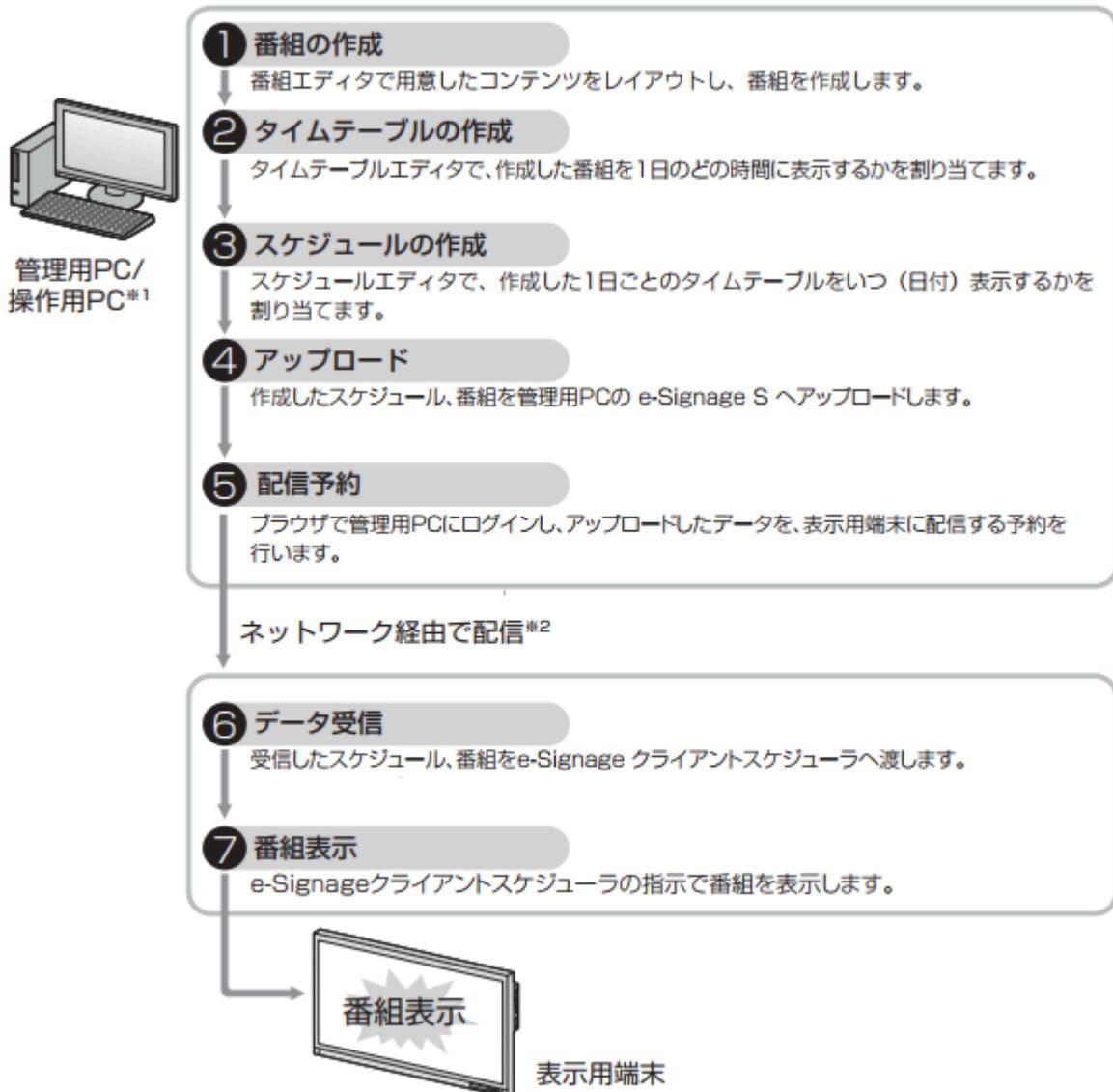
クライアントスケジューラは、読み取った配信データを予定時刻に表示するように番組ビューアを管理します。

※ 1 スタンドアロン版では、すべての流れを表示用端末のみで行います。

※ 2 スタンドアロン版を除きます。

- e-Signageランチャーを使用した配信

e-Signageランチャーを用いて番組作成からパネルに番組を表示するまでの流れについて説明します。



ご参考

クライアントスケジューラは、読み取ったスケジュール、番組を予定時刻に表示するように番組ビューアを管理します。

* 1 スタンドアロン版では、すべての流れを表示用端末のみで行います。

* 2 スタンドアロン版を除きます。

7. システム運用上の注意事項

7.1. コンテンツや番組を作成するときの留意点

システム運用前には、番組を実際に表示して、正しく表示されるかどうか確認してください。パソコンの処理能力が不足すると、コンテンツが正しく再生できない場合があります。

- **各ソフトウェアのバージョンについて**

管理用PCのサーバーソフトウェア/ 操作用PCのクライアントソフトウェア/ 表示用端末のプレーヤーソフトウェアのバージョンを統一してください。バージョンアップによって追加された機能を使用している部分が正しく動作しない場合があります。

- **動画再生について**

同時に複数の動画を再生しないことを推奨します。

ご参考

- 表示コンテンツによっては、コーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載OSでの動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。
- ファイル名は、シフトJISの文字コードで作成してください。

- **SNSメッセージサイネージパーツについて**

2023年4月のX(Twitter)のAPI提供サービスの変更に伴い、本ソフトウェアでのSNSメッセージサイネージパーツのサポートを終了しました。

- **Flashコンテンツについて**

2020年12月のAdobe Flash Playerサポート終了に伴い、本ソフトウェアでのFlashコンテンツのサポートを終了しました。

- **動画および静止画の拡大/縮小表示について**

画像サイズや表示サイズが大きくなるほど、CPU負荷が高くなります。また、画像を拡大/縮小して表示すると、CPU負荷が高くなります。できる限り、コンテンツ表示領域のサイズ(表示枠サイズ)を小さくしてください。また、コンテンツは表示サイズと同じ画像サイズで作成してください。

- **静止画切替について**

静止画切替を使用すると、CPU負荷が高くなります。また効果は、ビデオカードの性能に依存します。

- **テロップコンテンツについて**

テロップの表示には、高いCPU処理能力を必要とします。テロップ使用の際には、運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。

- 背景色を透過させると、負荷が大きくなります。

- テロップの表示領域が大きくなるほど負荷が大きくなります。必要以上に大きくしないでください。
- テロップ1行の文字数が多くなると、表示が乱れる場合があります。その場合は途中で改行してください。
(1列全角100文字程度を推奨)
- プレーヤーA1に配信する場合、管理用PCでのプレビュー結果と、実際のテロップ画面が異なることがあります。システム運用前には、番組を実際に表示して問題のないことを確認してください。

• PowerPoint について

PowerPoint コンテンツを表示する場合は、「プレゼンテーションファイル変換ツール」を使用してください。

PowerPoint Viewer は2018年5月にMicrosoftからの提供が終了しています。本取扱説明書内でのPowerPointおよびPowerPoint Viewerの説明は、2018年5月以前よりPowerPoint Viewerをご使用いただいているお客様向けのものであります。

e-Signage Sには、PowerPoint Viewerが必要です。お使いのパソコンにMicrosoft PowerPointがインストールされていても、別途PowerPoint Viewerをインストールする必要があります。お使いのパソコンに64ビット版のOfficeがインストールされている場合、PowerPoint Viewerはインストールできません。

PowerPointのデータは、自動的に画面切り換え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。

PowerPoint Viewerは、同時に複数表示することはできません。1つの番組内では、複数の表示枠にPowerPoint形式のファイルを割り当てないでください。

PowerPoint コンテンツを表示中は、他の表示枠部分をマウス等でクリックすることができません。

PowerPoint Viewer 2010は、再生開始までに時間がかかります。特に、パソコンの起動後、1回目の再生時には、時間がかかります。再生時間は、余裕をもたせるようにしてください。拡張子が(.pptx、.ppsx)のファイルを、PowerPoint Viewer 2007で再生することは可能ですが、再生開始までに時間がかかります。PowerPoint Viewer 2007で再生する場合は、拡張子が(.ppt、.pps)のファイルを使用することを推奨します。

• コンテンツ切り換え時の表示について

コンテンツのサイズや表示用端末のパフォーマンスによって、切り換え時に黒画面が表示されることがあります。

• ブラウザの操作

ブラウザの[戻る]キーは使用しないようにしてください。操作が正常に行われなくなる可能性があります。ブラウザで表示される「このページにこれ以上メッセージの作成を許可しない」のチェックボックスにチェックを入れないでください。確認画面が表示されなくなり、削除等の一部操作が行えなくなります。誤ってメッセージが表示されなくなった場合は、ブラウザを再起動させてください。

- **表示用端末の連続運転**

表示用端末は、24 時間連続使用を想定しておりません。必ず毎日、表示用端末の電源をOFF するような運用をしてください。（「[電源管理] タブ」を参照してください。）

- **管理用PC の連続運転**

管理用PC の連続運転は、最長1 週間となるよう運用してください。

- **パソコンの内部時計**

e-Signage S は、パソコンの内部時計を元にスケジュールなどを実行します。インターネット 時刻サーバーと同期するなどの方法で、パソコンの内部時計を常に正確な状態に保ってください。

- **番組表示時間の精度**

番組の表示は、毎分0 秒に起動するタイマーによって制御しています。1 分より短い時間での 番組切り換えや、1 分途中（秒単位）での番組切り換えはできません。

また、コンテンツを表示するアプリケーションの起動時間やコンテンツファイルの読み込み時 間などによって、実際の表示時間と多少の誤差が発生することがあることを、あらかじめご了承 ください。

- **バックアップについて**

e-Signage S には、データのバックアップ機能はありません。運用中は、運用グループデータ 格納フォルダー（C:\ProgramData\SHARP\e-Signage 以下）を、データの更新頻度に応じて 定期的にバックアップしてください。

- **複数台のパネル接続（デジチェーン接続の場合）**

e-Signage S では、数珠つなぎに接続したインフォメーションディスプレイ（PN シリーズ） に対して、異なるパネル制御コマンド（パネル電源ON/OFF やパネル入力ソース切換コマン ド）を送信することができません。

- **静止画について**

背景や表示枠に静止画を設定する場合、長時間同じ場所に表示すると、ディスプレイに残像現 象が起こる場合があります。一定時間ごとに静止画を変更したり、レイアウトを変更するなど の配慮をした番組や1 日の再生スケジュールを作成してください。

7.2. サーバソフトウェアのエディション変更について

- 上位エディションがインストールされていた環境に下位エディションをインストールすると、 サーバソフトウェアが正しく動作しない場合があります。

例：Pro WEB サーバ版からPro 版、Pro 版からネットワーク版、ネットワーク版からスタン ドアロン版

- 上位エディションがインストールされていた環境に下位エディションをインストールする場 合は、e-Signage S のデータフォルダーと運用グループの格納フォルダー（通常はe-Signage S のデータフォルダーと同一）を削除してから、下位エディションのインストールを行ってくださ い。

e-Signage S のデータフォルダー： C:\ProgramData\Sharp\e-Signage

- e-Signage S のデータフォルダーや運用グループの格納フォルダーを削除する場合は、移行が必要なデータをエクスポートしてから実施してください。

インストール

e-Signage S をご使用いただくために必要な環境やインストール方法などについて説明します。ご使用の前に必ずお読みください。

1. 動作環境

1.1. 動作環境(管理用PC/操作用PC)※1

形名	e-Signage S WEB サーバ ー版	e-Signage S Pro 版	e-Signage S ネットワー ク版	e-Signage S スタンドアロ ン版			
	PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21			
導入端末	管理 用PC	操作 用PC	管理用 PC	管理用 PC	管理用 PC		
パソコン	CPU	1.6GHz 以上					
	OS※2	Microsoft Windows 10/11	○	○	○	○	○
		Microsoft Windows Server 2016/2019/2022/2025	○	○	○	○	○
	メモリー	2GB 以上					
	ハードディスク	空き容量 500MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）					
ディスプレイ (管理用)※3	解像度	1,280 × 1,024 ドット 以上					
	色数	フルカラー					
対応ブラウザ（操作画面）		Microsoft Edge / Google Chrome					

※ 1 OS が動作する最低条件を満たす必要があります。また、コンテンツによっては正しく再生を行うために記載以上の性能が必要になる場合があります。

※ 2 32 ビット版 / 64 ビット版が対象です。

※ 3 番組やスケジュールの作成・編集に使用するパソコンのディスプレイです。

1.2. 動作環境（表示用端末）※1

形名		e-Signage S プレーヤー	
		PN-SV21	
導入端末		表示用端末	
パソコン	CPU	1.6GHz 以上	
	OS ※2	Microsoft Windows 10 ※ 3/11	○
		Microsoft Windows Server 2016/2019/2022/2025	—
	メモリー	2GB 以上	
	ハードディスク	空き容量 500MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）	
パネル（表示用端末用）※4		インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）、LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085、LB-T401、LB-T461、LB-T601、タッチディスプレイ（LL-P202V、LL-S242A）、LED ディスプレイ（VF-S シリーズ、MCTRL660PRO、MCTRL4K、MCTRLR5）、プロジェクター（PG-LU300Z、PG-LU400Z、XP-P601Q、XP-P721Q、P-A201U、XP-X171Q、XP-X141Q）	

表示用端末のユーザーアカウント制御を無効にしてください。 ※5

※ 1 OS が動作する最低条件を満たす必要があります。また、コンテンツによっては正しく再生を行うために記載以上の性能が必要になる場合があります。

※ 2 32 ビット版 / 64 ビット版が対象です。

※ 3 Windows 10, Windows 11は、デスクトップモードで使用してください。

※ 4 表示用端末は、パネルを制御することができます。パネルを制御するためには、表示用端末とパネルをRS-232C ケーブルで接続するまたは、パネルを LAN に接続する必要があります。

タッチディスプレイの場合は、ディスプレイに付属の USB ケーブルでタッチパネルと表示用端末を接続し、「設定」メニューの「その他」の「サイネージ」を「ON」にしてください。

接続後はe-Signage クライアントスケジューラで「接続確認」を行ってください。

パネルの仕様や接続方法、設定については、ご使用のパネルの取扱説明書をご覧ください。

※ 5 ユーザー アカウント制御が有効な場合、以下の機能は正常に動作しません。

- 遠隔プレーヤーアップデート
- 外部記憶装置からのプレーヤーアップデート
- 表示用端末の時刻合わせ

表示用端末でユーザーアカウント制御を無効にする方法について

！ご注意

この設定を行うとWindows ストアアプリが動作しなくなりますのでご注意ください。

e-Signage S プレーヤーをインストールしたあとで、クライアントスケジューラからユーザーアカウント制御を無効にできます。

1. e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックして、[クライアントスケジューラの設定] ダイアログボックスを表示する
2. [UAC 設定] タブをクリックし、[ユーザーアカウント制御を無効にする] をクリックする
3. 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする
4. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックする
5. ユーザーアカウント制御を無効にした旨のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックし、PC を再起動する

ご参考

- 表示用端末をネットワークから制御（電源ON）する場合は、表示用端末のマジックパケットによるWakeOnLAN 機能が有効になっている必要があります。
- 表示用端末が、同一セグメントLAN の外にある場合、使用しているルータの仕様や設定によっては、マジックパケットが通過できない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者に相談してください。
- 操作用PC と表示用端末には、「Windows Media Player」および「PowerPoint Viewer」がインストールされている必要があります。
- プログラムをインストールしていない場合やバージョンが異なる場合など、インストールを促すメッセージが表示されたときは、プログラムを提供しているホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表示コンテンツによっては、コーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。

2. 配信方法について

本ソフトウェアでは、以下の配信方法を選ぶことができます。

配信方法	通信プロトコル	管理用 PC	表示用端末
------	---------	--------	-------

PUSH 型配信 (固定 IP アドレス)	FTP	FTP クライアント	FTP サーバー
PULL 型配信	HTTP	HTTP サーバー	HTTP クライアント

3. PUSH 型配信 (固定IP アドレス)

管理用PC 側からFTP で配信データを提供します。表示用端末に固定IP アドレスが必要です。
表示用端末がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

4. PULL 型配信

表示用端末側が管理用PC 側からHTTP プロトコルを使って、定期的に配信データを取得します。表示用端末がファイアウォールの中にあるときでも、ファイアウォール側の設定を変更しないで、配信データを取得できます。

5. e-Signage S をインストールする

- e-Signage S のインストール/ ライセンス登録/ 運用は、管理者権限のある同一アカウントで実施してください。
- サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストールには、ライセンスコードが必要です。
 1. パソコンを起動する。
 2. すべてのアプリケーションソフトを終了する。
 3. Setup.exe をダブルクリックして、セットアッププログラムを起動する。
 4. 以降、画面の指示に従って操作する。
 - インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、[実行] をクリックしてください。
 - ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

ご参考

- サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストール時に、仮のライセンスコードを入力した場合は、2 ヶ月間の試用となります。試用期間が終わるまでにライセンスコードを入手し、登録してください。
- 「サーバー設定ツール」の [ヘルプ] - [バージョン情報] から登録します。

5.1. インストール後の設定

デスクトップのe-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックしてください。サーバー設定の画面が表示されます。

5.2. 表示用端末の環境を設定する

インストールが完了したら、e-Signage S をご使用になる前に、表示用端末の設定を変更してください。

(1) 自動ログインの設定

表示用端末が無人運転を前提としている場合、Windows 起動時に自動ログインされるように設定します。

1. Windows 10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
Windows 11 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
[コマンドプロンプト] 画面が表示されます。
2. 「control userpasswords2」と入力し、【Enter】キーを押す。
3. ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは [続行] をクリックする。
[ユーザーアカウント] ダイアログが表示されます。
4. 「ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」
チェックボックスのチェックをはずす。
5. [OK] をクリックする。
6. 自動ログオンまたは自動サインイン画面で「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする。
7. 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す。

(2) スクリーンセーバーの設定

プレーヤーで配信データを表示中に、パネルにスクリーンセーバーが表示されないように、スクリーンセーバーが起動しないように設定します。

- Windows 10 の場合
1 デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから [個人用設定] -

- [ロック画面] - [スクリーンセーバー設定] の順にクリックする。
[スクリーンセーバーの設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択する。
 - 3 [OK] をクリックする。
- Windows 11 の場合
 - 1 デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから [個人用設定] - [ロック画面] - [スクリーンセーバー] の順にクリックする。
[スクリーンセーバーの設定] ダイアログボックスが表示されます。
 - 2 「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択する。
 - 3 [OK] をクリックする。

(3) 電源管理

プレーヤーで配信データを表示中に、パネルやハードディスクの電源が切れたり、システムスタンバイに移行したりしないように設定します。

1. Windows 10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックする。
Windows 11 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] の順にクリックする。
[コントロールパネル] 画面が表示されます。
2. [システムとセキュリティ] をクリックし、[電源オプション] をクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスが表示されます。
3. 「追加プランの表示」をクリックして、「高パフォーマンス」を選択し、[プラン設定の変更] をクリックする。
4. 「ディスプレイの電源を切る」、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「適用しない」を選択する。
5. [変更の保存] をクリックする。
[電源オプション] のダイアログボックスに戻ります。
6. 右上の ボタンをクリックして、[電源オプション] ダイアログボックスを閉じる。

(4) IME ツールバー設定

プレーヤーで配信データを表示しているとき、IME ツールバーが表示されないよう、IME ツールバーの表示設定は非表示にします。

(5) 通知設定

プレーヤーで配信データを表示しているとき、アプリケーションによる通知が表示されないように設定します。

- 1 【Windows】キー+【A】キーを押し、アクションセンターの「集中モード」を「オフ」にする。

(6) Windows Update の設定

プレーヤーで番組を表示中にWindows Update の自動更新が起動し、パネルにポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、Windows Update が自動更新されないように設定します。

ご参考

Windows Update 自動更新を無効に設定した場合は、定期的にWindows Update のWEB サイトに接続して、手動でダウンロードおよびインストールしてください。最新の更新プログラムをインストールしないと、セキュリティの危険性が高まったり、パフォーマンスに問題が発生したりする場合があります。

• Windows 10 の場合

- 1 Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
- 2 「gpedit.msc」と入力し、【Enter】キーを押す。
- 3 ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は [続行] をクリックする。
- 4 [ローカルグループポリシーエディター] 左側のツリーより [コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [Windows コンポーネント] - [Windows Update] の順にクリックする。
- 5 [ローカルグループポリシーエディター] 右側の画面より [自動更新を構成する] をダブルクリックする。
[自動更新を構成する] ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「無効」のラジオボタンを選択して [OK] をクリックする。
- 7 右上のボタンをクリックして、[ローカルグループポリシーエディター] ダイアログボックスを閉じる。
- 8 [コマンドプロンプト] に「gpupdate」と入力し、【Enter】キーを押す。
- 9 「ユーザー ポリシーの更新が正常に完了しました。」「コンピューター ポリシーの更新が正常に完了しました。」の表示を確認し、右上のボタンをクリックして、[コマンドプロンプト] ダイアログボックスを閉じる。

Windows 10 Home は、Windows Update を無効にすることはできません。

- **Windows 11 の場合**

- 1 検索画面で「gpedit.msc」と入力し、【Enter】キーを押す。
- 2 ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は【続行】をクリックする。
- 3 [ローカルグループポリシーエディター] 左側のツリーより [コンピューターの構成] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] – [Windows Update] – [エンドユーザーエクスペリエンスの管理] の順にクリックする。
- 4 [ローカルグループポリシーエディター] 右側の画面より [自動更新を構成する] をダブルクリックする。
[自動更新を構成する] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「無効」のラジオボタンを選択して [OK] をクリックする。
- 6 右上のボタンをクリックして、[ローカルグループポリシーエディター] ダイアログボックスを閉じる。
- 7 [コマンドプロンプト] に「gpupdate」と入力し、【Enter】キーを押す。
- 8 「ユーザー ポリシーの更新が正常に完了しました。」 「コンピューター ポリシーの更新が正常に完了しました。」 の表示を確認し、右上のボタンをクリックして、[コマンドプロンプト] ダイアログボックスを閉じる。

Windows 11 Home は、Windows Update を無効にすることはできません。

常駐アプリケーションソフトの設定

プレーヤーで番組を表示中に、OS や常駐アプリケーションソフトのポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、常駐アプリケーションソフトを設定してください。

Windows ファイアウォールの設定

ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートにWindows ファイアウォールを設定しているときは、プレーヤーが使用するTCP/IP ポートを開放しておいてください。

ご参考

e-Signage S では、独自のWEB サーバーがインストールされます。デフォルトのTCP/IP ポート番号は80 になっています。ポート番号を変更する場合は、管理用PC のHTTP 通信設定 と、表示用端末のe-Signage クライアントスケジューラのHTTP 通信設定 を同じポート番号に設定しておく必要があります。

(7) 状態監視機能のファイアウォール設定

1. Windows 10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] – [コントロールパネル] の順にクリックし、表示された画面で [システムとセキュリティ] – [管理ツール] の順にクリックする。

Windows 11 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [Windows ツール] の順にクリックする。

2. 「セキュリティが強化されたWindows ファイアウォール」または「セキュリティが強化された

Windows Defender ファイアウォール」をダブルクリックする。

3. ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は [はい] をクリックする。

[セキュリティが強化されたWindows ファイアウォール] または「セキュリティが強化されたWindows Defender ファイアウォール」ダイアログが表示されます。

4. 画面左側の [受信の規則] をクリックし、画面右側の「操作」から [新しい規則] をクリックする。

[新規の受信の規則ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

5. 「カスタム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックする。

6. 「すべてのプログラム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックする。

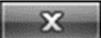
7. 「プロトコルの種類」のメニューから「ICMPv4」を選択する。

8. 「プロトコルおよびポート」、「スコープ」、「操作」、「プロファイル」の順に必要なに応じて設定する。

[次へ] をクリックすると、次の項目の設定画面に進む。

ご参考

これらの項目については、ネットワーク管理者に確認の上、設定するようにしてください。

9. 「名前」として“e-Signage S 状態監視機能用”と入力し、[完了] をクリックする。
10. 右上の  ボタンをクリックして、ダイアログボックスを順に閉じる。

6. e-Signage S をアンインストールする

- サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアを再インストールする場合、ライセンスコードを再度入手する必要があります。
- サーバーソフトウェアをアンインストールしても、作成した運用グループやユーザーおよびサーバーにアップロードしたデータは削除されません。サーバーソフトウェアをインストールすると再び利用できます。
- クライアントソフトウェアをアンインストールしても、作成した番組やスケジュール、コンテンツファイルは削除されません。クライアントソフトウェアをインストールすると再び利用できます。なお、サーバーにアップロードした番組は、サーバー上に保存されているため、削除されません。

- ライセンスコードは、本製品に付属の「はじめにお読みください」に記載されている手順に従って再入手してください。
- e-Signage S セットアッププログラム (Setup.exe) の入手については、本製品に付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。

- 1 パソコンを起動する。
- 2 すべてのアプリケーションソフトを終了する。
- 3 e-Signage S セットアッププログラム (Setup.exe) を起動する。

- Setup.exe をダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
- インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、[実行] をクリックしてください。
ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「はい」をクリックします。

- 4 「削除」ラジオボタンを選び、[次へ] をクリックする。

ご参考

「変更」ラジオボタンを選択した場合は、ライセンスコードの再入力が必要です。

- 5 [はい] をクリックする。
アンインストールが始まります。

ご参考

配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、WEB サーバーが起動している場合は、メッセージが表示されます。その場合は、[はい] をクリックしてください。配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、WEB サーバーを終了し、アンインストールを続けます。

- 6 [完了] をクリックする。
これで、アンインストールは完了です。

サーバー設定

e-Signage S をインストール後、サーバー設定を行います。設定する項目はインストールしたソフトウェアにより異なります。

1. WEB サーバーの設定（初回設定ウィザード）

WEB サーバー版の例で説明します。設定画面はインストールしたソフトウェアにより異なります。

1 デスクトップのe-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックする。

設定ツールが起動します。初回起動時は設定ウィザードに従って、WEB サーバーの設定を行います。

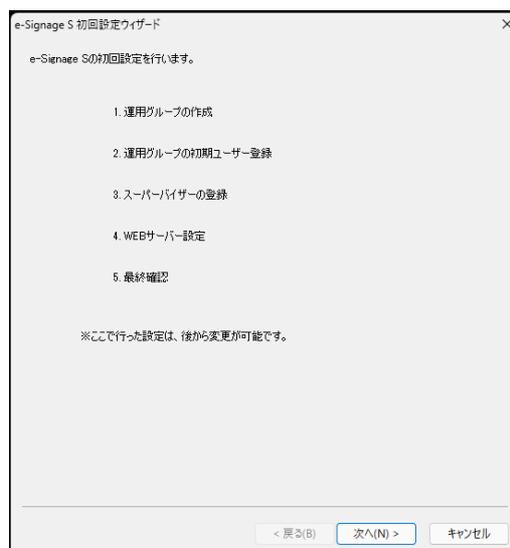
Windows 10 の場合は、タスクバーの [スタート] ボタンから [SHARP e-Signage S] - [サーバー設定ツール] の順にクリックして表示することもできます。

Windows 11 の場合は、タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [SHARP e-Signage S] - [サーバー設定ツール] の順にクリックして表示することもできます。

ご参考

- 運用グループが作成されている場合、WEB サーバー版では、e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックすると、ブラウザが起動しログインページが表示されます。その他のソフトウェアではダッシュボード画面が表示されます。

2 [次へ] をクリックする。



3 運用グループを作成する。

ユーザーやパネル、スケジュールデータを管理する単位である運用グループを作成します。運用グループ名、運用グループID（半角英数30文字以内）を入力します。WEBサーバー版では最大50グループ作成できます。その他は1グループです。

「既定の運用グループデータ格納フォルダー」

ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダーです。変更する場合は「参照」をクリックし、フォルダーを指定してください。

「使用するプレーヤー」

使用するプレーヤーの種類を設定します。「プレーヤー(Windows端末)」、「プレーヤーA1(ePosterを除く)」、「プレーヤーA1 ePoster」を選択します。

選択されなかった種類のプレーヤーは、コンテンツフォルダー/番組/スケジュールの作成や配信などのプレーヤー選択画面で、選択肢が表示されなくなります。選択肢が1通りしかない場合にも選択画面が表示されなくなります。たとえば、「プレーヤー(Windows端末)」を選択せず、「プレーヤーA1(ePosterを除く)」と「プレーヤーA1 ePoster」を選択した場合、「プレーヤー(Windows端末)」の選択肢が表示されなくなります。逆に「プレーヤー(Windows端末)」のみを選択し、「プレーヤーA1(ePosterを除く)」と「プレーヤーA1 ePoster」を選択しなかった場合、選択画面が表示されなくなります。

入力後、「次へ」をクリックします。

4 初期ユーザーを登録する。

運用グループの作成 (1/5)

複数の運用グループを作成し、運用グループ毎にユーザーやパネル、スケジュールデータを管理できます。
ここでは1つの運用グループを作成します。

運用グループ名 (N): 運用グループA1

運用グループID (G): group1

※運用グループIDは半角英数30文字以内で指定してください。複数の運用グループに同一の運用グループIDを設定することはできません。

既定の運用グループデータ格納フォルダー

このフォルダーの下に運用グループ毎のデータ格納フォルダーを作成します。十分な空き容量のあるドライブのフォルダーを指定してください。
運用グループを追加する際に、個別にフォルダーを指定することもできます。

C:\ProgramData\SHARPMW-Signage\GroupData# 参照(S)...

使用するプレーヤー

作成する運用グループで使用するプレーヤーの種類を設定します。

プレーヤー (Windows端末)

プレーヤーA1 (ePosterを除く)

プレーヤーA1 ePoster

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

運用グループの初期ユーザー登録 (2/5)

運用グループの初期ユーザーを登録してください。
このユーザーでログインして、運用グループパネルの登録やユーザーの追加登録を行います。

ユーザー名 (N): 運用グループ管理者

ログインID (L): admin

パスワード (P): ●●●●●

※ログインIDは半角英数30文字以内で指定してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

サーバーにログインするためのユーザー情報です。ユーザー名、ログインID（半角英数30文字以内）、パスワード（半角英数30文字以内）を入力します。
入力後、【次へ】をクリックします。

5 複数の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録する。（WEB サーバー版のみ）

スーパーバイザーの登録 (3/5)

スーパーバイザーを登録してください。
スーパーバイザーはスーパーバイザー用のログイン画面からログインして、すべての運用グループに対して操作を行うことができます。
※複数の運用グループにまたがった操作を行わない場合、スーパーバイザーを登録する必要はありません。

スーパーバイザーを登録する。

ユーザー名 (N): スーパーバイザー

ログインID (L): supervisor

パスワード (P): ●●●●●

※ログインIDは半角英数30文字以内で指定してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。

① 「スーパーバイザーを登録する」チェックボックスチェックして、ユーザー名、ログインID（半角英数30 文字以内）、パスワード（半角英数30 文字以内）を入力します。

設定後、**【次へ】** をクリックします。

6 WEB サーバー設定を行う。

WEBサーバー設定 (4/5)

簡易WEBサーバーはWEBアプリケーションのアプリケーションサーバーとしての他に表示用端末へのPULL型配信サーバーとしても利用されます。

PCの起動時に自動的に簡易WEBサーバーを起動する(M)

HTTP通信設定

ポート番号(P): 80

PULL型配信フォルダ設定

PULL型配信時の配信データは、以下のフォルダを介して表示用端末に配信されます。
十分な空き容量のあるドライブのフォルダを指定してください。

C:\ProgramData\SHARP*-Signage*www*publish 参照(R)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

① 「PC の起動時に自動的にWEB サーバーを起動する」チェックボックス
通常は変更しません。

② HTTP 通信設定

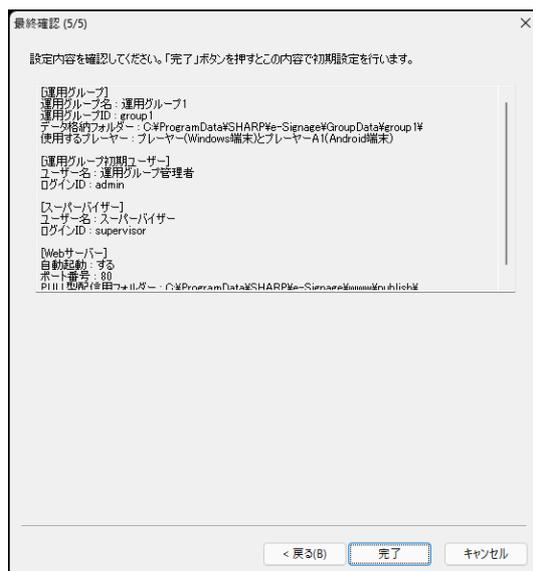
ポート番号を設定します。表示用端末から接続できないときは、ファイアウォールを管理しているネットワーク管理者に設定内容を確認してください。

③ PULL 型配信フォルダ設定

PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダを設定します。変更する場合は、**【参照】** をクリックし、フォルダを指定してください。

設定後、**【次へ】** をクリックします。

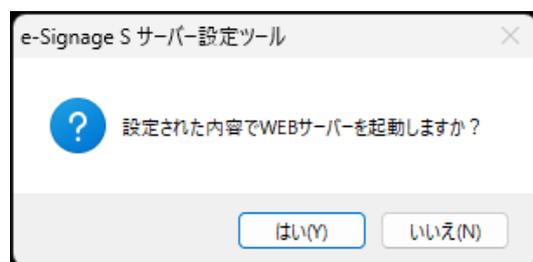
7 設定内容の最終確認を行う。



設定内容が画面に表示されるので、確定する場合は [完了] を、修正する場合は [戻る] をクリックしてください。確定後も、サーバー設定ツールを起動して内容を変更することができます。

設定の確認後、[完了] をクリックします。

サーバー設定ツール画面が表示されます。



8 [はい] をクリックする。



9 [OK] をクリックする。

WEB サーバーが起動します。

運用グループ登録後、運用グループに所属するパネルやユーザーの登録を行います。複数の運用グループが登録できるのはWEB サーバー版のみです。

Windows ファイアウォールの設定

- ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートにWindows ファイアウォールを設定しているときは、e-Signage S が使用するTCP/IP ポートを開放しておいてください。
- なお、Windows のコントロールパネルの「Windows ファイアウォール」でこのポート番号を例外指定して接続を許可することもできますが、代わりに「Windows ファイアウォール」で実行ファイル“C:\Program Files (x86)\sharp\sharp-e-Signage\www\W3D.exe” を例外プログラムに指定して接続を許可することも可能です。

2. WEB サーバーの設定

2.1. 運用グループを追加する

1 Windows 10 の場合は、管理用PC のWindows タスクバーの [スタート] ボタンから [SHARP e-Signage S] - [サーバー 設定ツール] の順にクリックする。

Windows 11 の場合は、管理用PC のWindows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [SHARP e-Signage S] - [サーバー 設定ツール] の順にクリックする。

設定ツールが起動し、e-Signage S サーバー 設定ツール画面が表示されます。

2 [運用グループ] タブをクリックし、「運用グループの管理」の [追加] をクリックする。

WEB サーバー版は最大50 まで、その他は1 つの運用グループを設定できます。

3 画面に従って登録を行う。

運用グループ名：運用グループの名称です。

運用グループID：運用グループのID です。PULL 型配信の表示用端末のネットワーク設定を行う際に設定するID です。既に同じID が登録されている場合は、登録できません。

説明：運用グループの説明です。

「管理者ユーザー」

ユーザー名：管理者ユーザーの名称です。

ログインID：管理者ユーザーのID です。

パスワード：管理者ユーザーがログインするときのパスワードです。

説明：管理者ユーザーの説明です。

「データ格納フォルダー」

ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダーです。変更する場合は [参照] をクリ

ックし、フォルダーを指定してください。

「使用するプレーヤー」

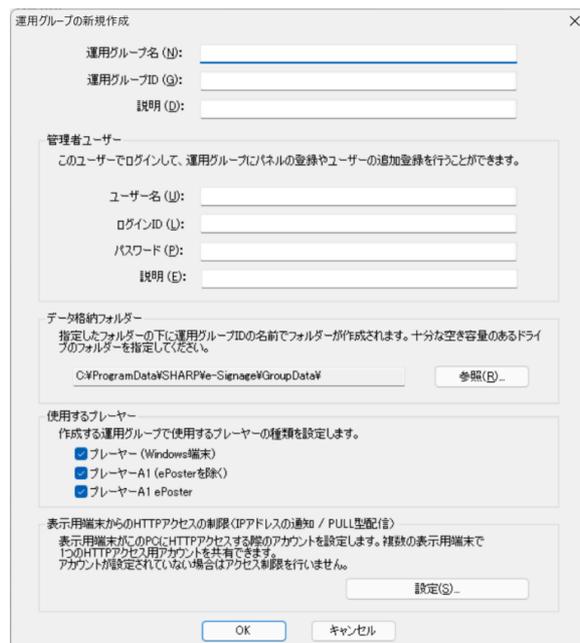
使用するプレーヤーの種類を設定します。

「表示用端末からのHTTP アクセスの制限 (IP アドレスの通知/ PULL 型配信)」

表示用端末から管理用PC へアクセスする際のユーザー名とパスワードを設定します。

表示用端末のネットワーク設定では、ここで設定したユーザー名とパスワードを設定してください。

デフォルトでは次の値に設定されています。ユーザー名 : http、パスワード : http
変更する場合は [設定] をクリックし、設定してください。



4 [OK] をクリックする。

ご参考

- 登録した運用グループを修正するときは、「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして [編集] をクリックします。

- 登録した運用グループを削除するときは「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして [削除] をクリックします。
運用グループを削除すると、所属するユーザー、パネル、スケジュールの情報がすべて削除されますので注意してください。

2.2. WEB サーバーを設定する

1 サーバー設定ツール画面で [WEB サーバー] タブをクリックする。

2 「PC の起動時に自動的にWEB サーバーを起動する」にチェックする。

管理用PC を起動したときに、WEB サーバーも起動します。

3 「HTTP 通信設定」の「ポート番号」を入力する。

競合のないポート番号を設定の初期値として表示しています。(80, 8080, 11080, 11180, 8008 のいずれか)

4 「PULL 型配信用フォルダー設定」の [参照] をクリックし、フォルダーを指定する。

PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダーを設定します。

5 [手動でWEB サーバーを起動] をクリックする。

WEB サーバーが起動します。



ご参考

WEB サーバーのサーバープログラムは、ユーザープロセスとして動作しますので、サービスとしては動作できません。管理者権限を含むユーザーアカウントでWindows にログインし、WEB サーバープログラム (WEBサーバーや配信スケジューラ) がスタートアップから起動されている状態で使用してください。

2.3. 自動ログアウト時間を設定する

ログイン後に一定時間操作が行われなかったときに自動ログアウトする時間を設定します。

デフォルトでは30分に設定されています。

1 サーバー設定ツール画面で【その他】タブをクリックする。

2 プルダウンメニューより、タイムアウト時間を選択する。

自動ログアウトさせない場合は「なし」を選択します。

3 【OK】をクリックする。



2.4. ライセンス登録する

ご参考

- インストール時に正式なライセンスコードを入力している場合は、別途ライセンス登録を行う必要はありません。
- e-Signage S のインストール/ ライセンス登録/ 運用は、管理者権限のある同一アカウントで実施してください。

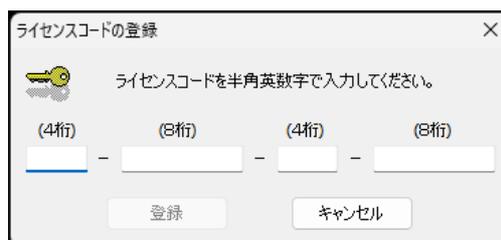
1 サーバー設定ツール画面で【ヘルプ】の【バージョン情報】をクリックする。

バージョン情報画面が表示されます。

2 【登録】をクリックする。

ライセンスコードの登録画面が表示されます。

3 入手したライセンスコードを入力し、【登録】をクリックする。



2.5. 配信スケジューラについて

配信スケジューラは、e-Signage の通信などを管理するためのツールです。配信スケジューラは、Windows ログイン時に「スタートアップ」より自動的に起動します。

起動すると、タスクトレイにアイコン () が表示され、常駐します。

通常は、終了しないでください。

2.6. 配信承認機能を有効にする（WEB サーバー版のみ）

- 1 サーバー設定ツール画面で【その他】タブをクリックする。
- 2 「有効にする」にチェックする。

配信承認機能が有効になります。

配信承認機能を有効にすると、コンテンツを配信しても、配信の承認権限を持つユーザーが配信を承認するまでコンテンツは配信されません。

承認権限は、ユーザーグループ作成画面で設定します。



2.7. スーパーバイザーを登録する（WEB サーバー版のみ）

- 2 つ以上の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録します。（運用グループ管理）
- 1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。

- 1 サーバー設定ツール画面で【その他】タブをクリックする。

- 2 【スーパーバイザーの追加】をクリックする。

スーパーバイザーの追加画面が表示されます。

- 3 スーパーバイザーを登録する。

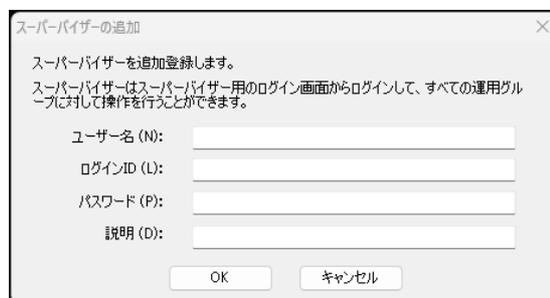
ユーザー名：スーパーバイザーの名称です。

ログインID：スーパーバイザーのID です。

パスワード：スーパーバイザーがログインするときのパスワードです。

説明：スーパーバイザーの説明です。

- 4 【OK】をクリックする。



2.8. スーパーバイザーをすべて削除する

- 1 サーバー設定ツール画面で【その他】タブをクリックする。
- 2 【登録されているスーパーバイザーをすべて削除】をクリックする。
- 3 【はい】をクリックする。
- 4 【OK】をクリックする。

ログイン編

ログイン

1. WEB サーバーにログインする

1.1. 管理用 PC からユーザーとしてログインする場合

1 デスクトップの e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックする。

運用グループが作成されていない場合、サーバー設定が起動します。

2 運用グループを選択し、ログインID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。



1.2. 操作用 PC から

ユーザーとしてログインする場合

1 以下のURL にアクセスする。

[http://\(サーバーのIP アドレス:ポート番号\)/login/](http://(サーバーのIPアドレス:ポート番号)/login/)

2 ログインID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

1.3. スーパーバイザーとしてログインする場合

1 以下のURL にアクセスする。

[http://\(サーバーのIP アドレス:ポート番号\)/supervisor/](http://(サーバーのIPアドレス:ポート番号)/supervisor/)

2 ログインID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

ご参考

- ログイン可能なユーザーは、運用グループ作成時に作成した初期ユーザー、管理者ユーザー、およびユーザー管理にて登録したユーザーです。
- ログイン可能なスーパーバイザーは、初回起動時に設定ウィザードで登録したスーパーバイザー、サーバー設定ツールで登録したスーパーバイザーです。
- スーパーバイザーとしてログインしたときは、各管理画面などで「運用グループの選択」が表示されますので、運用グループを選択します。

- 複数箇所から同じログインID でログインした場合、後からのログインが優先され、先にログインしていたユーザーのセッションは切断されます（ログアウトする）。ログインID は複数ユーザーで共有せず1 人に1 つ付与するようにしてください。

2. 画面の見かた

WEB サーバー版の例で説明します。その他の版では対応していない機能は表示されません。使用するプレーヤーの選択によっても一部機能が表示されない場合があります。

2.1. ツールバー



(1) ホームボタン

各画面からダッシュボード画面へ戻ります。

(2) 機能選択ボタン

各機能を選択して表示できます。

(3) ユーザー

現在ログインしているユーザー名です。

パスワードの変更とデータの使用量を確認することができます。

(4) ログアウトボタン

クリックするとサーバーからログアウトします。

2.2. ダッシュボード画面



2.3. システム管理画面



(5) 機能ボタン

タブ名	内容
ダッシュボード画面	
コンテンツフォルダー管理	コンテンツフォルダーと、コンテンツフォルダーに格納するコンテンツ（映像、音声、テロップ）のリストを作成・管理します。

番組管理	コンテンツをレイアウトして表示するための番組を作成・管理します。	
スケジュール管理	コンテンツフォルダーや番組の再生スケジュールを作成・管理します。  をクリックすることで、次のメニューが表示されます。	
	チャンネルセット管理	事前にコンテンツを登録したチャンネルを作成・管理します。
配信	コンテンツフォルダー、番組、スケジュールを配信します。 配信の予約や配信状況の確認ができます。  をクリックすることで、次のメニューが表示されます。	
	臨時番組配信	臨時にコンテンツを配信することができます。
	緊急テロップ配信	臨時にテロップを配信することができます。
	USBメモリー/SDメモリーカード配信	USBメモリー/SDメモリーカードを利用して配信することができます。
状態監視・制御	表示用端末の状態を表示したり、電源などを制御します。  をクリックすることで、次のメニューが表示されます。	
	パネル側データ確認	表示用端末の状態を確認します。
システム管理画面		
ユーザー管理	ユーザーの登録・管理を行います。	
パネル管理	パネルの登録・管理を行います。	
システムログ	操作・配信の履歴情報を閲覧します。	
プレーヤー更新	プレーヤーソフトウェアのアップデートや、設定変更などを行うことができます。 (将来のアップデートをお約束するものではありません。)	
インポート	他のパソコンでエクスポートしたコンテンツフォルダー/番組/スケジュールを利用するために、読み込みます。 あらかじめ登録されているサンプルデータをインポートすることもできます。  をクリックすることで、次のメニューが表示されます。	
	エクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されているコンテンツフォルダー/番組/スケジュールを書き出します。

(6) 画面切換ボタン

ダッシュボード画面とシステム管理画面を切り換えます。

(7) プルダウンメニュー表示ボタン

e-Signage S の機能一覧がプルダウンメニューで表示され、画面を切り替えることができます。

コンテンツ編

コンテンツフォルダー管理

1. 基本画面について

再生するコンテンツをフォルダー（コンテンツフォルダー）で管理します。

コンテンツフォルダーグループ管理エリアのコンテンツフォルダーグループ名をクリックすると、そのコンテンツフォルダーグループに属するコンテンツフォルダーがコンテンツフォルダー管理エリアに表示されます。

コンテンツフォルダー管理画面では、下記項目の  または  または  をクリックすることで、並び替えが可能です。

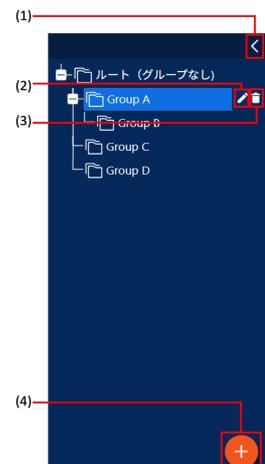


コンテンツフォルダーグループ管理エリア

コンテンツフォルダー管理エリア

2. コンテンツフォルダーグループを管理する

2.1. コンテンツフォルダーグループ管理エリア



(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) 編集ボタン

コンテンツフォルダーグループの登録情報を編集します。

(3) 削除ボタン

コンテンツフォルダーグループを削除します。

(4) 追加ボタン

コンテンツフォルダーグループを追加します。

2.2. コンテンツフォルダグループを作成する

1 コンテンツフォルダグループ管理エリアの  をクリックする。

コンテンツフォルダグループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

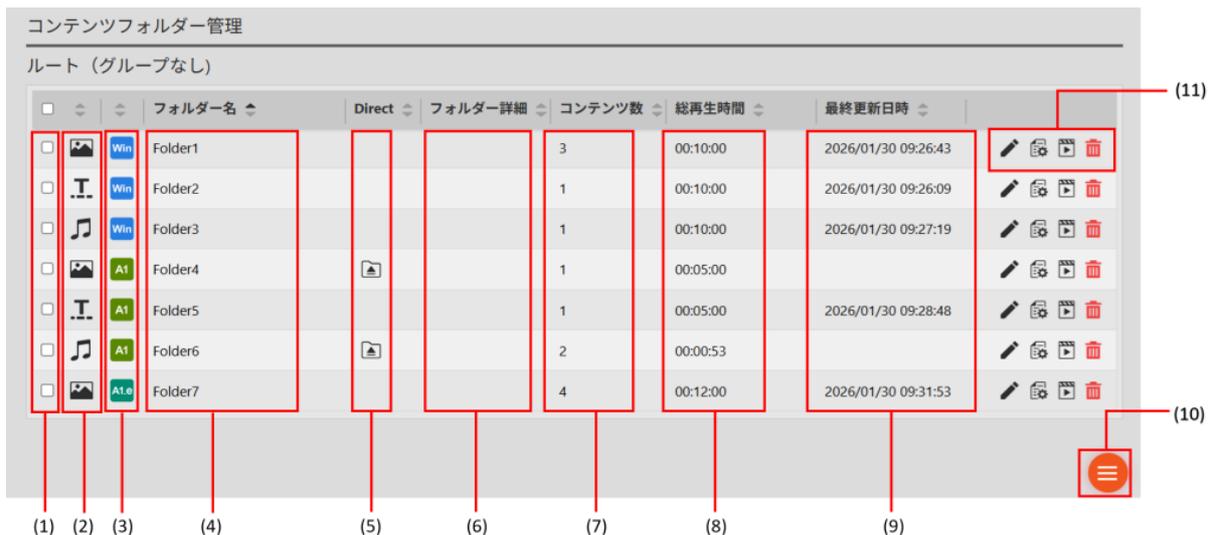


項目名	説明
フォルダグループ名 (必須)	グループの名称です。
親グループ (必須)	属するフォルダを設定します。

3 [追加] をクリックする。

3. コンテンツフォルダを管理する

- コンテンツフォルダ管理エリア



(1) チェックボックス

複数のコンテンツフォルダーを移動 / 削除するときを使用します。

(2) コンテンツフォルダー種別アイコン

コンテンツフォルダー種別を表示します。

(3) プレーヤータイプアイコン

コンテンツフォルダーのプレーヤータイプを表示します。

(4) フォルダー名

コンテンツフォルダー名を表示します。

(5) Direct

フォルダーモードで「Direct モード」を選んだ場合に、 が表示されます。 をクリックすると、Windows のエクスプローラーで対象フォルダーが開きます。 ※ 1,4

(6) フォルダー詳細

コンテンツフォルダー作成時に入力した詳細情報が表示されます。

(7) コンテンツ数

コンテンツフォルダーに格納されているコンテンツファイル数です。添付ファイルは含みません。

(8) 総再生時間

コンテンツフォルダーに格納されているコンテンツの再生時間の合計です。

(9) 最終更新日時

コンテンツフォルダーの更新された日時が表示されます。

(10) メニューボタン

新規コンテンツフォルダーを追加、または コンテンツフォルダーを一括削除するときを使用します。

一括削除は、リストのチェックボックスにチェックを入れて [削除] をクリックします。

(11) 操作アイコン

 をクリックすると、コンテンツフォルダーのプレイリストが表示され、コンテンツの追加や削

除などができます。



をクリックすると、コンテンツフォルダーのプロパティの表示や変更ができます。



をクリックすると、コンテンツフォルダーのプレビューを表示できます。 ※ 2,3,5,6,7,8



をクリックすると、コンテンツフォルダーを削除します。

※ 1 管理用PCでの操作時のみ使用できます。

※ 2 【Esc】キーでプレビューを終了します。

※ 3 プレーヤー A1 データを PC 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。PDFファイルはプレビューできません。また、一部の動画ファイルや音声ファイルでプレビューできない場合があります。

※ 4 フォルダーモードが「Direct モード」のときのみ使用できます。

※ 5 操作用PCでプレビュー表示を行うには、クライアントソフトウェアのインストールが必要です。

※ 6 操作用PCでのプレビュー表示の際は、起動したプレビューアプリケーションの操作指示に従ってデータをダウンロードし、表示してください。

※ 7 プレビューアプリケーションの「キャッシュ設定」で「最大保持サイズ」「最大保持日数」を適切に設定すると、プレビューの繰り返し操作でのデータダウンロード量を削減できます。

※ 8 管理用PCではクライアントソフトウェアのインストールは不要です。プレビューが直接実行されます。

コンテンツフォルダー作成

1. コンテンツフォルダーを作成する流れ

① コンテンツフォルダーを作成する。（次節）

再生するプレーヤーソフトウェアとコンテンツの種類から、コンテンツフォルダー種別を指定します。

② 作成したコンテンツフォルダーにコンテンツファイルをアップロードする。

作成したコンテンツフォルダーは、次の機能で割り当てて使用します。

- 配信
- 番組管理
- スケジュール管理

2. コンテンツフォルダーを作成する

コンテンツを管理するコンテンツフォルダーを作成します。

1 コンテンツフォルダーを追加したいコンテンツフォルダーグループを選択する。

2 コンテンツフォルダー管理エリアの をクリックし、「追加」を選択する。

3 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。

コンテンツフォルダー追加画面が表示されます。

4 各項目を設定する。

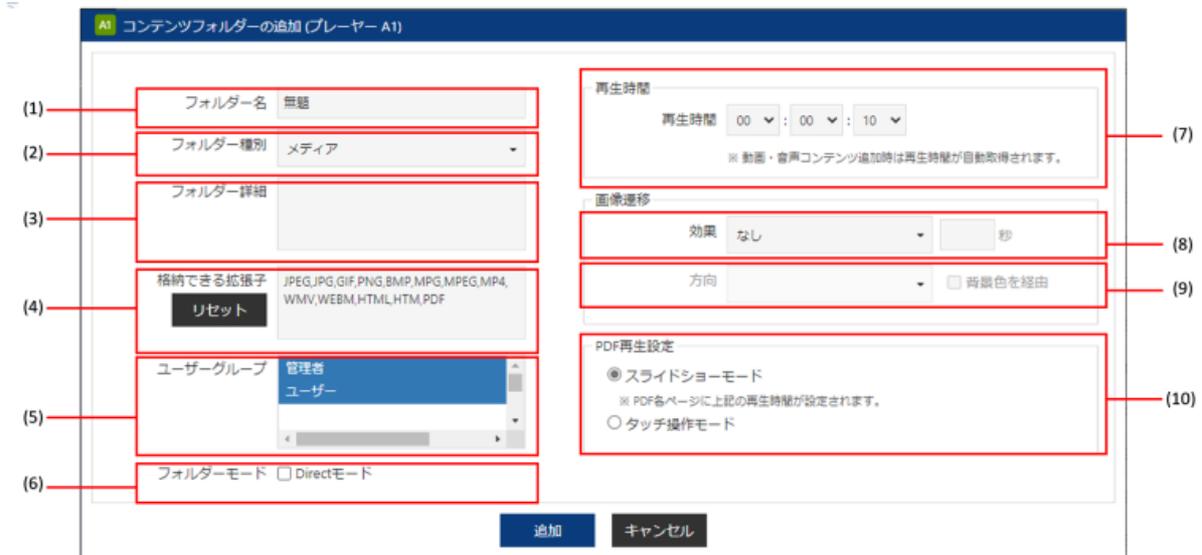


コンテンツフォルダーの追加 (プレーヤー) 画面のスクリーンショット。各項目は番号でラベルされています。

- (1) フォルダー名: 無題
- (2) フォルダー種別: メディア
- (3) フォルダー詳細
- (4) 格納できる拡張子: JPEG, JPG, GIF, PNG, BMP, WMV, MP4, MOV, AVI, SWF, PPT, PPTX, PPS, PPSX, HTM, HTML, MHT, ANI, DGI, ERC, WHR, PDF
- (5) リセット
- (6) ユーザーグループ: 管理者, ユーザー
- (7) フォルダーモード: Directモード
- (8) 再生時間: 再生時間 00 : 00 : 10
- (9) 画像遷移: 効果 なし, 秒
- (10) 方向: 方向, 背景色を經由
- (11) PDF再生設定: スライドショーモード, タッチ操作モード
- (12) HTMLコンテンツ設定: e-Signage WEBブラウザで表示する, Internet Explorerで表示する

追加 キャンセル

※「プレーヤー - メディア」の画面例です。



※「プレーヤーA1 - メディア」の画面例です。



※「プレーヤーA1 ePoster - メディア」の画面例です。

項目名	説明	
(1) フォルダー名	コンテンツフォルダー名を入力します。	
(2) フォルダー種別	配信先のプレーヤーソフトウェアと配信するコンテンツの組み合わせから、コンテンツフォルダーの種類を選択します。	

		メディア	番組作成の背景枠・表示枠1～4、スケジュール、配信で割り当てることができます。
		テロップ	番組作成のテロップ枠に割り当てることができます。
		音声	番組作成の音声枠に割り当てることができます。
(3)	フォルダー 詳細	情報を自由に入力できます。	
(4)	格納できる 拡張子	コンテンツフォルダーにアップロードできるコンテンツの拡張子を入力します。テロップでは入力できません。「リセット」でデフォルトの値に戻ります。	
(5)	ユーザーグ ループ	アクセス権限を設定します。権限を持たないユーザーにはコンテンツフォルダーが表示されません。 ユーザーグループ名をクリックすることで、アクセス権限の有無を切り換えます。	
(6)	フォルダー モード	コンテンツフォルダーのコンテンツをエクスプローラー画面によって直接管理する場合は「Direct モード」をチェックします。 ※「Direct モード」が設定されている場合、コンテンツフォルダー管理画面からコンテンツの編集を行うことはできません。	
(7)	再生時間	コンテンツが追加されたときに設定されるデフォルトの再生時間を入力します。	
(8)	効果	静止画コンテンツ/PDFスライドショーモードのデフォルトの画像遷移を選択します。 また、画像遷移を反映する時間を設定します。 ※「メディア」のみ。プレーヤー種別によって選択肢は異なります。	
(9)	方向	静止画コンテンツの場合のデフォルトの遷移方向を選択します。 画像遷移の種類によって、遷移方向の有無や種類が異なります。 ※「メディア」のみ。	
(10)	PDF再生設 定	PDFファイルのデフォルトの再生方法を設定します。	
		スライドショー モード	PDFファイルの1ページを1枚の静止画コンテンツとしてスライドショー表示します。再生するPDFのページを指定でき、各ページに「(7)再生時間」が設定されます。
		タッチ操作モード	PDFの先頭ページを表示します。タッチ操作でページスクロールや、ピンチ操作でズームなどを行うことができます。(自動でページめくりする機能はありません。) ※プレーヤー・プレーヤーA1の「メディア」のみ。
(11)	HTML コン テンツ設定	コンテンツを表示するデフォルトのブラウザを選択します。	
		e-Signage WEB ブラウザで表示す る	HTML コンテンツを e-Signage WEB ブラウザで表示します。

		Internet Explorer で表示する	HTML コンテンツを Internet Explorer で表示します。
(12)	色調整	PDFファイル、画像ファイル表示の各デフォルトの画質を設定します。 ※プレーヤーA1 ePosterのみ。	
		PDFファイルの画 質	PDFファイル表示の設定を、「自動」「色優先」「文字優先」から 選択します。
		画像ファイルの画 質	静止画像ファイル表示の設定を、「色優先」「文字優先」から選択 します。

5 [追加] をクリックする。

! ご注意

- 「Direct モード」が設定されていないコンテンツフォルダーに対して途中から「Direct モード」を設定した場合、以下の項目がコンテンツフォルダーから削除されます。削除された項目は、復元できません。
コンテンツのコピーによって追加されたコンテンツファイル、非表示部、無音部、URL 指定のコンテンツ、表示用端末側パス指定のコンテンツ、各コンテンツファイルに設定されたプロパティ、コンテンツの再生条件、コンテンツの再生順序

ご参考

- 作成したコンテンツフォルダーは、フォルダー名やフォルダー種別の変更、フォルダーのコピー
—
を行うことはできません。再度コンテンツフォルダーを作成してください。
- コンテンツフォルダー名にはWindows のエクスプローラーで作成できないフォルダー名は使用
できません。（“AUX”、“CON”、“NUL”、“PRN”、“COM0”～“COM9”、“LPT0”～“LPT9” な
ど）

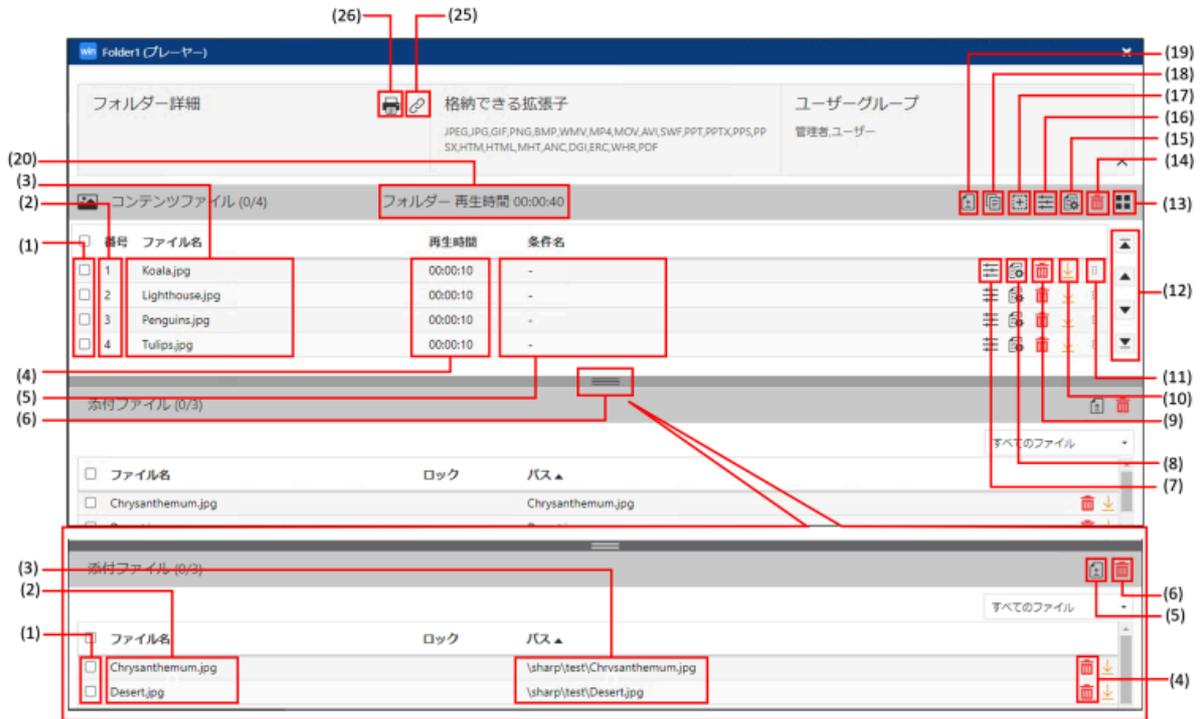
3. コンテンツフォルダーのコンテンツファイルを編集 する

コンテンツフォルダーにコンテンツファイルをアップロードし、再生するプレイリストを作成しま
す。

コンテンツフォルダー管理エリアの  をクリックし、コンテンツフォルダーのコンテンツファイ
ルを編集します。

3.1. コンテンツファイル編集画面

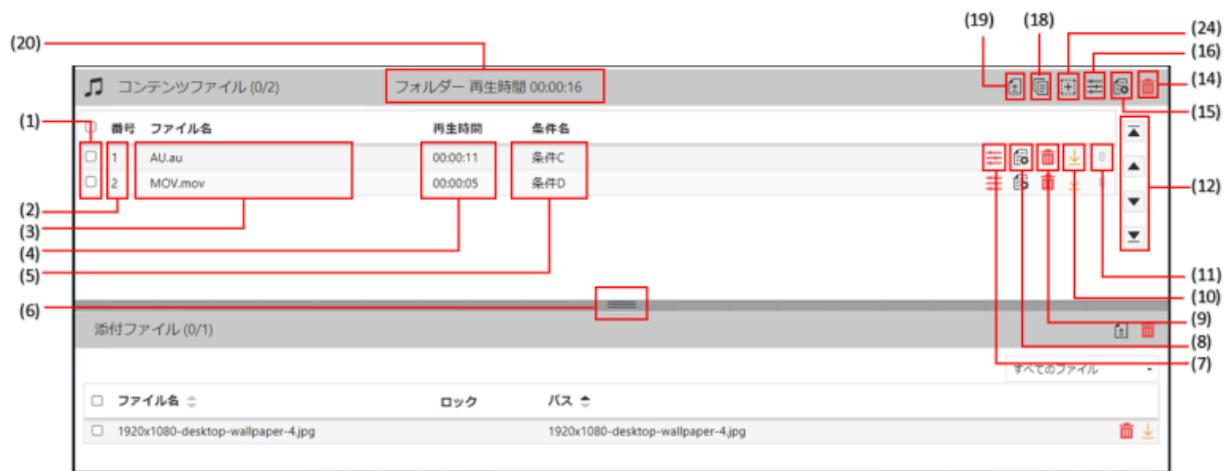
「メディア」フォルダー



「テロップ」フォルダー



「音声」フォルダー



項目名	説明	
(1)	チェックボックス	複数のファイルを移動/削除するときや複数のファイルのプロパティや再生条件をまとめて設定するときを使用します。
(2)	番号	ファイル番号が表示されます。
(3)	ファイル名	ファイル名が表示されます。
(4)	再生時間	ファイルを再生する時間が表示されます。
(5)	条件名	再生条件名が表示されます。
(6)	表示切替ボタン	添付ファイルの詳細を表示します。
(1)	チェックボックス	複数の添付ファイルを削除するときを使用します。
(2)	名前	添付ファイルの名前が表示されます。
(3)	パス	添付ファイルが保存されているパスが表示されます。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ご参考</div> <ul style="list-style-type: none"> HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位の Windows フォルダ位置に置いてください。 添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。
(4)	削除ボタン	添付ファイルを削除します。
(5)	アップロードボタン	指定したコンテンツフォルダに添付ファイルをアップロードします。

	(6)	一括削除ボタン	複数の添付ファイルを削除します。
(7)		再生条件設定ボタン	再生条件を設定します。 ※ フォルダー種別が「プレーヤーA1 ePoster」以外で、フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(8)		編集ボタン	コンテンツのプロパティを編集します。 ※ フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(9)		削除ボタン	ファイルを削除します。
(10)		ダウンロードボタン	ファイルをダウンロードします。
(11)		並べ換えボタン	ドラッグすることで、ファイルの再生順を入れ換えます。 ※フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(12)		移動ボタン	チェックボックス（1）でチェックしたファイルを移動し、再生順を入れ換えます。  /  をクリックすることで、上下に1行ずつ移動します。  /  をクリックすることで、先頭または末尾に移動します。 ※フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(13)		表示切替ボタン	ファイルの表示をサムネイル表示 / リスト表示で切り換えます。 サムネイル表示にすると、全選択ボタンが表示されます。 ※「メディア」フォルダーのみ
(14)		一括削除ボタン	複数のファイルを削除します。
(15)		プロパティボタン	チェックボックス（1）でチェックしたファイルのプロパティを設定できます。 ※ フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(16)		再生条件設定ボタン	チェックボックス（1）でチェックしたファイルの再生条件を設定できます。 ※ フォルダー種別が「プレーヤー - メディア」または「プレーヤーA1- メディア」で、フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(17)		メディア非表示部の追加ボタン	指定した再生時間の間、メディアが非表示になります。表示枠が表示されなくなり、その後ろに配置された表示枠を表示することができます。 ※ フォルダー種別が「プレーヤーA1 ePoster」以外で、フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(18)		コピーボタン	選択したファイルのコピーをプレイリストに追加します。 ※ フォルダー種別が「プレーヤーA1 ePoster」以外で、フォルダーモードに「Directモード」が設定されていないときのみ
(19)		アップロードボタン	ファイルをアップロードします。 ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。

		<p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクスプローラー画面から、使用するコンテンツファイルをコンテンツフォルダー編集画面にドラッグ&ドロップして登録することもできます。
(20)	再生時間	<p>表示しているフォルダーまたはプレイリストの再生時間の合計が表示されます。</p> <p>ご参考</p> <p>表示されるフォルダー再生時間や各枠の再生時間などについては、コンテンツファイルに対して設定した再生条件を考慮せず、再生条件が設定されていない状態での各コンテンツファイルの再生時間を合算した時間が表示されます。</p> <p>そのため、コンテンツファイルに対して再生条件が設定されている場合は、表示されている再生時間と実際の端末上の再生時間が異なります。システム運用時には、事前に配信データを実際に配信 / 表示して、意図した通り表示されるかどうか確認してください。</p>
(21)	テロップ設定ボタン	<p>テロップの内容を編集します。</p> <p>※ 「テロップ」フォルダーのみ</p>
(22)	テロップ作成ボタン	<p>テロップを作成します。</p> <p>※ 「テロップ」フォルダーのみ</p>
(23)	テロップ非表示部の追加ボタン	<p>指定した再生時間の間、テロップが非表示になります。表示枠が表示されなくなり、その後ろに配置された表示枠を表示することができます。</p> <p>※ フォルダーモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ</p>
(24)	無音部の追加ボタン	<p>指定した再生時間の間、音声の再生を行いません。</p> <p>※ フォルダーモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ</p>
(25)	コンテンツフォルダーのリンクボタン	<p>ブラウザでコンテンツフォルダーに直接アクセスするためのURL を表示します。</p>
(26)	プレイリスト印刷ボタン	<p>表示しているコンテンツフォルダーのプレイリストを印刷します。</p>

コンテンツフォルダーの添付ファイルのダウンロード

下図右側の  アイコンをクリックすると、添付ファイルをダウンロードできます。



3.2. コンテンツフォルダーに格納できるファイル

コンテンツとして使用できるファイル形式は次の通りです。

プレーヤー用コンテンツフォルダー

フォルダー種別	ファイル形式
メディア	MPEG、MPEG1、MPEG2、WMV（Windows Media Video（Windows Media Player で再生可能な形式））、MOV、MPEG4（Windows Media Player で再生可能な形式）、PowerPoint、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG、実行ファイル（.exe）、サイネージパーツ、PDF
テロップ	テロップエディタで作成したテロップ
音声	WAVE、MP3、AU、AIFF、WMA（Windows Media Audio（Windows Media Player で再生可能な形式））、MOV、MPEG4（Windows Media Player で再生可能な形式）、MIDI

プレーヤー A1(ePoster以外) 用コンテンツフォルダー

※詳細は各プレーヤーA1補足説明書をご覧ください。

フォルダー種別	ファイル形式
メディア	MPEG2、MPEG4、WMV、WEBM、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG、PDF
テロップ	テロップエディタで作成したテロップ

音声	WAVE、MP3、WMA、MPEG4
----	--------------------

プレーヤー A1 ePoster用コンテンツフォルダー

※詳細は各プレーヤーA1補足説明書をご覧ください。

フォルダー種別	ファイル形式
メディア	JPEG、BMP、PNG、PDF

ご参考

- 音声ファイルは音声枠に割り当てます。番組の表示時に再生される音声および音楽（BGM）として使用されます。
- 表示用端末が Windows OS の場合、MPEG ファイルの再生にはコーデックが必要です。

コンテンツファイルは拡張子によって、タイプを認識します。

表示用端末が Windows OS の場合、タイプに応じて、各ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

拡張子					コンテンツタイプ	表示ソフトウェア
.avi	.mpeg	.mpg	.wmv	.asf	動画	Windows Media Player
.mov	.mp4					
.ppt	.pps	.pptx	.ppsx		PowerPoint	PowerPoint Viewer
.htm	.html				HTML	e-Signage WEB ブラウザ、 Internet Explorer
.tlp					テロップ	なし
.wav	.mp3	.au	.aif	.aiff	音声	Windows Media Player
.wma	.mid	.midi				
.mov	.mp4					
.exe					実行ファイル	なし
.jpeg	.jpg	.gif	.png	.bmp	静止画	なし
.pdf					PDF	Microsoft Edge WebView2 ランタイム※

※ PDFファイルをタッチ操作モードで再生する場合に使用します。

搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。

PDFファイルの再生には、[スライドショーモード] と [タッチ操作モード] の2つのモードがあります。

- [スライドショーモード] では、PDFファイルの1ページを1枚の静止画コンテンツとしてスライドショー表示を行うことができます。
1ページあたりの再生時間を入力して、[すべてのページを表示] または [指定ページを表示] のいずれかを選択してください。再生時の画面遷移効果も設定できます。
- [タッチ操作モード] では、PDFの先頭ページが表示され、タッチ操作でページスクロールや、ピンチ操作でズームなどを行うことができます。
(自動でページめくりする機能はありませんので、再生ページの指定や再生時の画面遷移効果の設定はありません。)

プロパティ (プレイヤー)

コンテンツ

ファイル名 SHARP_e-Signage_S_BRO.pdf

表示名

1ページあたりの再生時間 00:00:10 再生時間: 00:00:40

背景色 #000000 透明にする

一時的に表示位置を変更

座標-X 0 座標-Y 0

幅 480 高さ 900

※ この表示枠は99999 x 99999の中で移動可能です。

PDF再生設定

スライドショーモード

すべてのページを表示 (4ページ)

指定ページを表示 (0ページ)

例: 1,2,3

タッチ操作モード

画面遷移

効果 なし

方向

更新 キャンセル

注意事項

- この機能をご利用される場合は、管理用PC / 表示用PC のいずれもアップデートする必要があります。
- スライドショーモードで再生ページを指定する場合は、[指定ページを表示] を選択して、カンマ区切りでページを指定してください。ページの範囲指定はできません。
- タッチ操作モードでの再生には「Microsoft Edge WebView2 ランタイム」のインストールが必要です。
- パスワードが設定されているPDFファイルは、スライドショーモードでは使用できません。
- パスワードが設定されているPDFファイルは、タッチ操作モードでの再生時にはパスワードの入力

画面が表示されます。

パスワードの入力後、再生が開始されます。

・PDFを作成したソフトや出力設定、アクセス許可設定によっては、意図通りの再生表示が行えない場合があります。

プレビュー機能などで事前に再生動作を確認してください。

・再生できないPDFファイルは、一旦Microsoft Edgeで表示し、Microsoft Edgeの印刷機能からPDFとして保存すると、再生できる場合があります。

ご参考

Ver.1.2.2.3 以降から「e-Signage WEB ブラウザ」で、Microsoft Edge 相当の HTML コンテンツ表示と、e-Signage に内蔵された WEB ブラウザを使用した HTML コンテンツ表示を切り替えることができます。

e-Signage WEB ブラウザで Microsoft Edge 相当の HTML コンテンツ表示を行うには、管理用 PC および表示用 PC に、「Microsoft Edge WebView2 ランタイム」をインストールする必要があります。

Windows 10 の場合

Microsoft の Web サイトから「Microsoft Edge WebView2 ランタイム」のインストーラーをダウンロードし、インストールしてください。

Windows 11 の場合

「Microsoft Edge WebView2 ランタイム」が標準搭載されています。

- ・ Microsoft Edge WebView2 を使って HTML コンテンツを表示する場合は、コンテンツフォルダーの「HTML コンテンツ設定」を「e-Signage WEB ブラウザで表示する」に設定します。表示用 PC の e-Signage クライアントスケジューラの設定で、[コンテンツ表示] タブの「HTML コンテンツ (e-Signage WEB ブラウザ選択時)」を「表示を自動選択」に設定します。

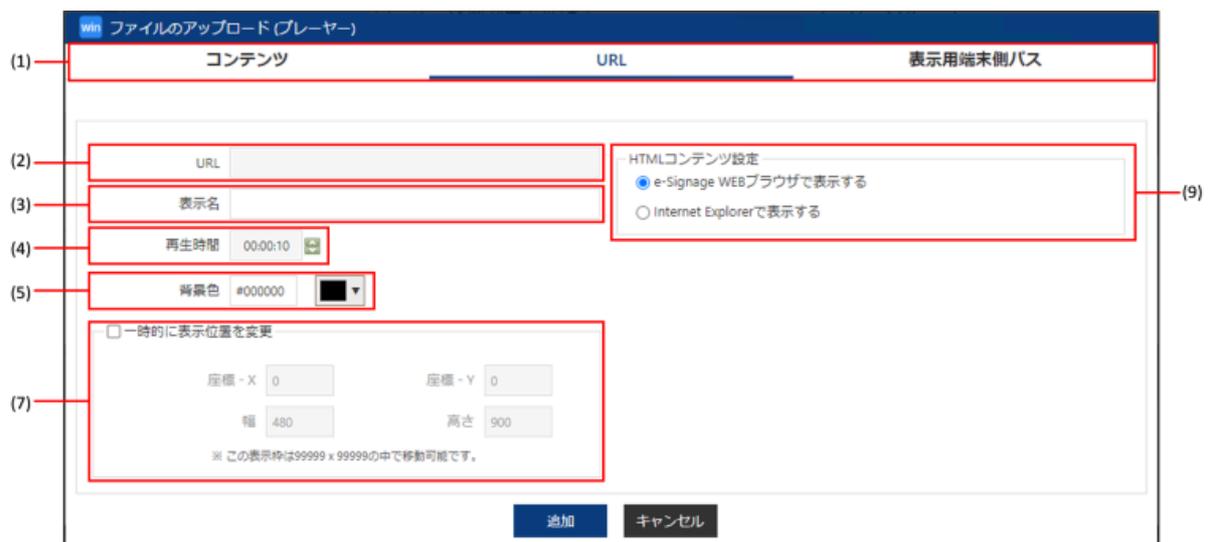
ご参考

- ・ JPEG ファイルは RGB 形式に対応しています。CMYK 形式には対応していません。また、JPEG2000 には対応していません。
- ・ アニメーション GIF には対応していません。
- ・ PowerPoint のコンテンツを同時に 2 つ以上表示することはできません。
- ・ PowerPoint のコンテンツでは、以下のことはできません。

マクロの実行、プログラムの実行、リンクオブジェクトの表示、埋め込みオブジェクトの



「URL」タブ



「表示用端末側パス」タブ（プレーヤーのみ）

The screenshot shows a web interface titled 'ファイルのアップロード (プレイヤー)'. It has three tabs: 'コンテンツ', 'URL', and '表示用端末側パス'. The 'コンテンツ' tab is active. The interface includes several input fields and buttons:

- (1) Points to the 'コンテンツ' tab.
- (2) Points to the '表示用端末側のファイルパス' input field and the '画面更新' button.
- (3) Points to the 'パラメータ' input field.
- (4) Points to the '再生時間' input field, which is set to '00:00:10'.
- (5) Points to the '音景色' input field, which is set to '#000000', and the '透過' checkbox.
- (6) Points to the '座標-X' and '座標-Y' input fields, both set to '0'.
- (7) Points to the '幅' and '高さ' input fields, which are set to '480' and '900' respectively.

At the bottom, there are two buttons: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel).

項目名	説明
(1) ファイル種別	アップロードするファイルの種別を選択します。
	コンテンツ 静止画や動画などのコンテンツをアップロードする場合に選択します。
	URL 指定した URL をコンテンツとして表示する場合に選択します。
	表示用端末側パス プレーヤーに配置したコンテンツファイルや実行ファイル (.exe) を表示する場合に選択します。
(2) ファイル選択	アップロードするファイルを選択します。 ※「コンテンツ」タブのみ
URL	表示するHTML の URL を入力します。 ※「URL」タブのみ 表示用端末から参照できる「URL」を入力してください。 ご参考 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページには著作権がありますので、注意してください。 ・ 表示するページにエラーがある場合は、正しく表示できません。 ・ 表示するページにプラグインなどが必要な場合は、対象のプラグインが表示用端末にインストールされている必要があります。
表示用端末側のファイルパス	表示する実行ファイルのファイルパスを指定します。 ※「表示用端末側パス」タブのみ EXE ファイルを指定することができます。表示用端末から参照できるパスを入力してください。EXE ファイルの場合、「パラメータ」を付加することもできます。

		<p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 頻繁に更新されないファイルサイズの大きなコンテンツファイルを表示する場合には、そのファイルをあらかじめ表示用端末に配置し、それぞれを参照するパスのみを送信することで番組コンテンツ送信にかかる時間を短縮できます。 表示用端末の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダーからの相対パスで指定してください。 EXE ファイルを指定した場合「パラメータ」では、次の引数が利用できます。 <ul style="list-style-type: none"> %L：表示枠の左上 X %T：表示枠の左上 Y %W：表示枠の幅 %H：表示枠の高さ e-Signage S では、指定された実行形式ファイルを指定時間に起動 / 終了するのみで、起動された実行形式ファイルの動作を保証するものではありません。 実行するプログラムの仕様によっては、正常に起動 / 終了できなかったり、正しい位置にウィンドウを表示できない場合があります。 	
(3)	表示名	表示名を入力すると、一覧画面でファイル名の代わりに表示名が表示されます。	
(4)	再生時間	再生時間を設定します。	
		再生時間をファイルから取得する	動画ファイルの場合、ファイルの情報から再生時間を取得します。 ※「コンテンツ」タブのみ
以下はフォルダーモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ設定できます。			
(5)	背景色	背景の色を選択します。 コンテンツの余白部分を指定した色で塗りつぶして表示します。 色が表示されている四角形をクリックすると表示されるダイアログボックスで、背景色を変更できます。	
(6)	透明にする	チェックボックスをチェックすると、コンテンツの余白部分が透明になります。 <p>ご参考</p> コンテンツフォルダーを番組の「背景枠」に割り当てる場合、透過に設定しないでください。	
(7)	レイアウト	コンテンツのレイアウトを設定します。 「コンテンツの縦横比を保持する」 / 「コンテンツの縦横比を保持しない」 / 「原寸で並べて表示」 ラジオボタンは、コンテンツタイプが静止画のとき選択できます。	
		一時的に表示位置を変更	コンテンツフォルダーを番組の表示枠に割り当てた場合にコンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、[位置設定] をクリックしてください。コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定することができます。表示位置は、背景表示枠を超えて設定できません。

(8)	画像遷移	画像の遷移を選択します。 ※「コンテンツ」タブのみ	
		効果	画像遷移を選択します。 また、画像遷移を反映する時間を設定します。
		方向	遷移方向を選択します。 画像遷移の種類によって、遷移方向の有無や種類が異なります。
		背景色を経由	背景色を経由の有無を選択します。
(9)	HTML コンテンツ設定	コンテンツを表示するブラウザを選択します。 ※「URL」タブのみ	
		e-Signage WEB ブラウザで表示する	HTML コンテンツを e-Signage WEB ブラウザで表示します。
		Internet Explorer で表示する	HTML コンテンツを Internet Explorer で表示します。
(10)	色調整	PDFファイル、画像ファイル表示の画質を設定します。 ※プレーヤーA1 ePosterのみ。	
		PDFファイルの画質	PDFファイル表示の設定を、「自動」「色優先」「文字優先」から選択します。
		画像ファイルの画質	静止画像ファイル表示の設定を、「色優先」「文字優先」から選択します。

3 [追加] をクリックする。

4 必要に応じて手順1～3を繰り返し、プレイリストを作成する。

プレイリストの上から順にコンテンツファイルが再生されます。

コンテンツフォルダーのフォルダーモードが「Direct モード」に設定されている場合、ファイル名の昇順で再生されます。

ご参考

- フォルダーモードが「Direct モード」の場合、ファイル名の末尾に再生時間を追加することで、再生時間を指定することができます。
例) image1_30s.jpg : 30 秒

image2_1m15s.jpg : 1 分15 秒

image3_1h.jpg : 1 時間

5. ファイルの拡張子に応じたプロパティを設定する

コンテンツフォルダー管理画面で表示用端末側パスにコンテンツを追加する際、入力されたファイルパスで指定されているファイルの拡張子に応じて、プロパティ画面を更新できます。

1 表示用端末側のファイルパスを入力し、【画面更新】をクリックする。

The screenshot shows a web interface titled "ファイルのアップロード (プレイヤー)". It has three tabs: "コンテンツ", "URL", and "表示用端末側パス". The "表示用端末側パス" tab is active. The main content area contains the following elements:

- A text input field labeled "表示用端末側のファイルパス".
- A blue button labeled "画面更新" (Update Screen) with a red border.
- A note: "※ コンテンツの種類によって入力項目が異なります。パスを入力後、画面更新ボタンをクリックしてください。"
- A "パラメータ" (Parameters) section with a text input field.
- A "表示名" (Display Name) text input field.
- A "再生時間" (Playback Time) field set to "00:00:10" with a play button icon.
- A "背景色" (Background Color) field set to "#000000" with a color picker and a "透過" (Transparent) checkbox.
- A checkbox labeled "一時的に表示位置を変更" (Temporarily change display position).
- Fields for "座標 - X" (0), "座標 - Y" (0), "幅" (480), and "高さ" (900).
- A note: "※ この表示枠は99999 x 99999の中で移動可能です。"
- At the bottom, there are two buttons: "追加" (Add) and "キャンセル" (Cancel).

2 更新したい内容を設定する。

win ファイルのアップロード (プレーヤー)

コンテンツ URL 表示用端末側パス

表示用端末側のファイルパス
C:\Users\ssdiblr\Downloads\TD\Sample Pictures\Tulips.jpg

画像更新 ※ コンテンツの種類によって入力項目が異なります。パスを入力後、画像更新ボタンをクリックしてください。

表示名

再生時間 00:00:10

背景色 #000000 透過

一時的に表示位置を変更

座標 - X 0 座標 - Y 0

幅 480 高さ 900

※ この表示枠は999999 x 999999の中で移動可能です。

レイアウト

縦横比を保持する

縦横比を保持しない

原寸で並べて表示

画像運移

効果 なし 秒

方向 背景色を經由

追加 キャンセル

入力されたファイルの拡張子に応じてプロパティ画面が更新されます。

3 [追加] をクリックする。

6. テロップを作成する

1 テロップフォルダーのコンテンツファイル編集画面を開き  をクリックする。

テロップファイルの作成画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

テロップファイルの追加

(1) テロップ名

(2) テロップ

(3) テロップの記述にHTMLタグを使用する

(4) 書式

文字方向 横書き 縦書き

フォント Cascadia Code, 72pt フォントの空更

文字色 #000000 ▼

文字装飾 なし 線取り 影付き

(5) 背景

背景色 #ffffff ▼

背景色を透過させる

(6) スクロール

方向 右から左 左から右 下から上 動かない

速度 遅い 5 速い

追加 キャンセル

項目名	説明				
(1) テロップ名	テロップ名を入力します。				
(2) テロップ	<p>テロップに流す文章を入力します。</p> <p>ご参考</p> <p>テロップの1行の文字数が多いほど、メモリーを消費します。文字列長が長くなり過ぎないように、適当な箇所で行改行することをお勧めします。</p>				
(3) テロップの記述にHTMLタグを使用する	<p>チェックを入れると、「テロップ」内で、次のHTMLタグを使用して、フォントの色や大きさなどを指定できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タグ</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>ご参考</p>	タグ	説明		テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。
タグ	説明				
	テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。				

		<ul style="list-style-type: none"> • フォントサイズは、SIZE="数字"でポイント数を指定してください。
		テキストを太字にします。
	<I>	テキストを斜体（イタリック）にします。
	<U>	テキストに下線（アンダーライン）を引きます。
	<S>	打ち消し線を引きます。
	<BIG>	テキストのサイズをひとまわり大きくします。
	<SMALL>	テキストのサイズをひとまわり小さくします。
(4)	書式	書式を設定します。
	文字方向	文字方向の「横書き」または「縦書き」を選択します。
	フォント	<p>フォントを変更します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示用端末にも同じフォントがインストールされている必要があります。 • フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。 • 表示用端末がプレーヤーA1の場合は、フォントを指定することができません。端末側の表示フォント設定に従って表示されます。
	文字色	文字色を設定します。
	文字装飾	文字装飾を「なし」、「縁取り」、「影付き」から選択します。「縁取り」または「影付き」を選択した場合は、装飾色を設定します。
(5)	背景	背景を設定します。
	背景色	背景色を設定します。
	背景色を透過させる	<p>チェックを入れると、背景色を透過させることができます。</p> <p>透過率のスライダーを左右にドラッグして、透過率を設定します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 背景色を透過させない場合は、チェックしないでください。スライダーを右端の非透過にしても、完全に非透過にはなりません。 • チェックすると、背景色に設定されている色自体が透過されますので、「文字色」や「装飾色」が「背景色」と同じ場合は、「文字色」や「装飾色」も透過されます。

		<ul style="list-style-type: none"> • 動画の上に透過 / 透過テロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。
(6) スクロール		スクロール方向と速度を設定します。
	方向	<p>方向を「右から左」、「左から右」、「下から上」または「動かない」から選択します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「書式」で「縦書き」を選択した場合は、「右から左」、「左から右」を選択することはできません。 • 「動かない」を選択した場合は、テロップが指定された範囲の中央に1行ずつ表示されます。（はみ出した部分は表示されません。）
	速度	<p>速度のスライダーを左右にドラッグして、スクロール速度を設定します。</p> <p>※「動かない」を選択した場合は表示されません。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • テロップの速度は、同じ設定でもパソコンの性能によって異なる場合があります。 • 縦書きのテロップを使用する場合、すべての文字を全角にしてください。 • 「背景色を透過させる」チェックボックスをチェックした場合、非透過のテロップと比較してスクロール速度が遅くなる場合があります。運用前にテロップを表示してテストすることをお勧めします。
	表示切替時にフェードイン/フェードアウトする	<p>「動かない」を選択した場合、フェードイン・フェードアウトするかどうかを設定します。</p> <p>テロップの表示が切り換わる時、現在表示されているテロップが徐々に消え、次のテロップが徐々に表示されるようにする場合はチェックボックスをチェックしてください。</p> <p>ご参考</p> <p>動画の上にフェードイン/フェードアウトするテロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。</p>
	1行ごとの表示時間	<p>「動かない」を選択した場合、テロップが1行ずつ表示されます。その表示時間を設定します。</p>

ご参考

- プレーヤーA1用のテロップを作成した場合、プレビューが正しく表示されないことがあります。

正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレーヤーA1 を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。

3 [追加] をクリックする。

6.1. 「テロップ」フォルダー／「音声」フォルダーにファイルをアップロードする

ご参考

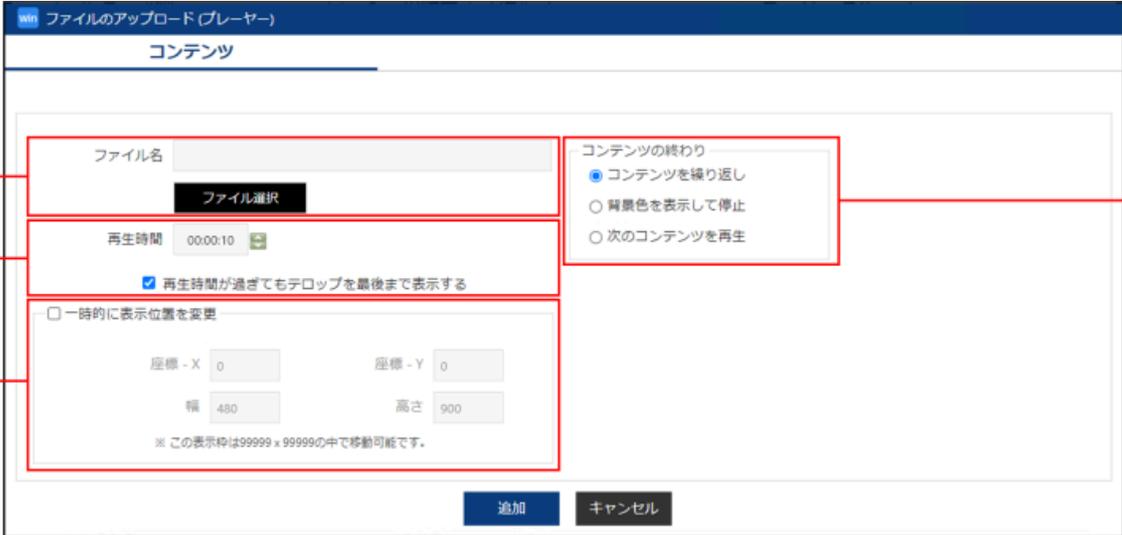
- 「テロップ」フォルダーへのアップロードはプレーヤーのみ。また、アップロードファイルは e-Signage で作成します。

1 コンテンツファイル編集画面の  をクリックする。

コンテンツファイル追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

「テロップ」フォルダー



ファイルのアップロード (プレーヤー)

コンテンツ

(1) ファイル名

(3) 再生時間 00:00:10

再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する

(6) 一時的に表示位置を変更

座標 - X 座標 - Y

幅 高さ

※ この表示枠は99999 x 99999の中で移動可能です。

コンテンツの終わり

コンテンツを繰り返す

背景色を表示して停止

次のコンテンツを再生

(5)

「音声」フォルダー



項目名	説明	
(1) ファイル	アップロードするファイルを選択します。	
(2) 表示名	表示名を入力すると、一覧画面でファイル名の代わりに表示名が表示されます。	
(3) 再生時間	再生時間を設定します。	
	再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する	チェックすると、再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示します。 ※「テロップ」フォルダーのみ
	再生時間をファイルから取得する	ファイルの情報から再生時間を取得します。 ※「音声」フォルダーのみ
(4) 音量	再生音量を選択します。 ※「音声」フォルダーのみ	
(5) コンテンツの終わり	再生終了後の動作を選択します。	
	ご参考	
	設定した再生時間よりも前にコンテンツ再生が終了した場合の動作を設定することができます。下記より所望する動作にチェックを入れてください。	
	コンテンツを繰り返す	このコンテンツを繰り返します。
停止	再生を停止して、背景色を表示します。	
次のコンテンツを再生	次のコンテンツを再生します。	
(6) 一時的に表示位置を変更	コンテンツのレイアウトを設定します。 ※「テロップ」フォルダーのみ	

一時的に表示位置
を変更

コンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定します。表示位置は、背景表示枠を超えて設定できません。

3 [追加] をクリックする。

4 必要に応じて手順1 ~ 3 を繰り返し、プレイリストを作成する。

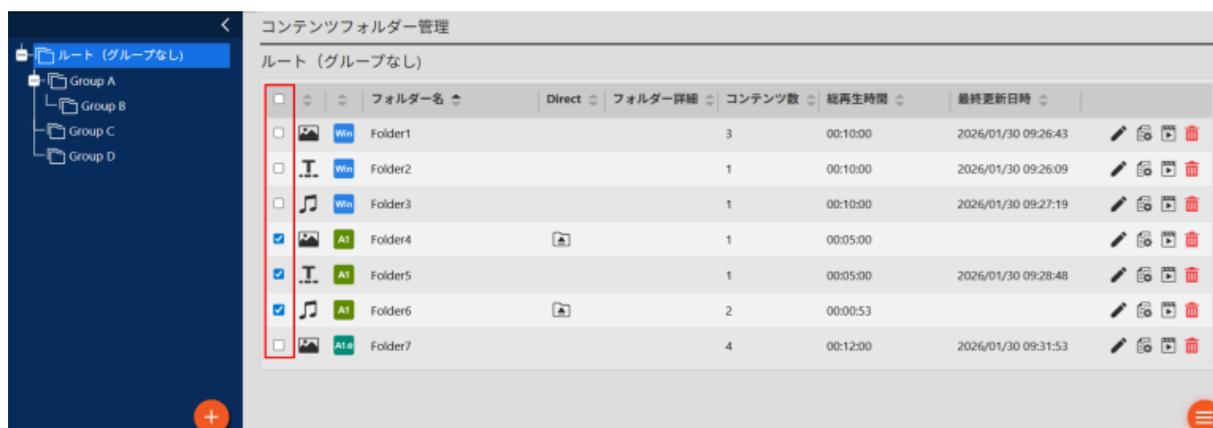
7. コンテンツファイルをダウンロードする

コンテンツフォルダーのファイルをダウンロードします。

1 コンテンツファイル編集画面でダウンロードするファイルの  をクリックする。

8. コンテンツフォルダーを他のグループに移動する

1 移動したいコンテンツフォルダーのチェックボックスにチェックを入れる。



2 移動したいコンテンツフォルダーを、移動先のコンテンツフォルダーグループヘドラッグ& ドロップする。



3 [OK] ボタンを押す。



ご参考

- 番組やスケジュール、チャンネルセット、パネルについても、同様の操作で他のグループに移動することができます。

9. コンテンツフォルダー管理画面からプレイリストを印刷する

コンテンツフォルダー管理画面からプレイリストを、印刷専用のレイアウトで印刷できます。

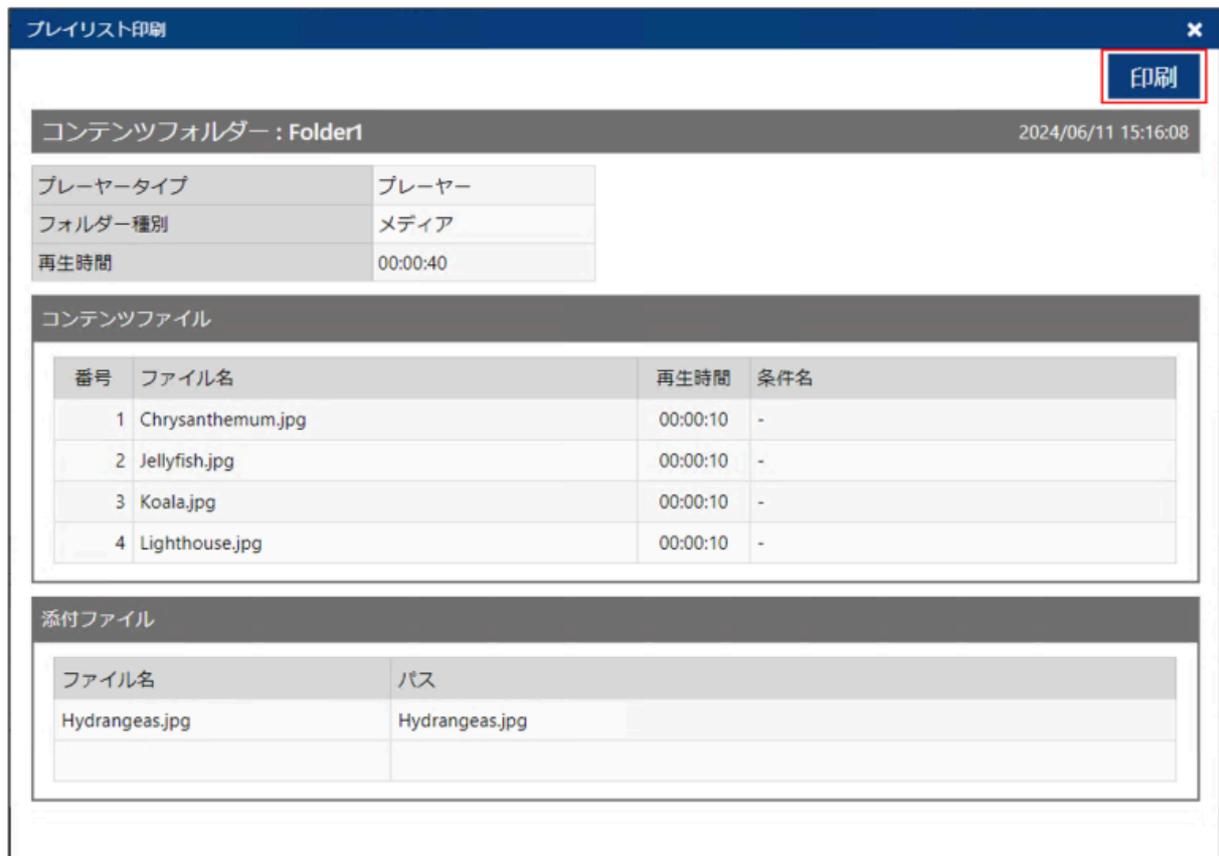
1 印刷したい画面から印刷ボタンをクリックする。

印刷したいコンテンツフォルダーを開き  アイコンをクリックします。



2 画面右上の【印刷】 ボタンをクリックする。

印刷設定画面が開きますので指示に従って印刷を行います。



10. コンテンツフォルダーにアクセスするURL をコピーする

各コンテンツフォルダーにアクセスするためのURL をコピーし、WEB ブラウザ画面のURL 入力部に貼付/アクセスすることで、ダッシュボード画面やコンテンツフォルダー管理画面を経由することなく、各コンテンツフォルダーを確認/ 編集することができます。

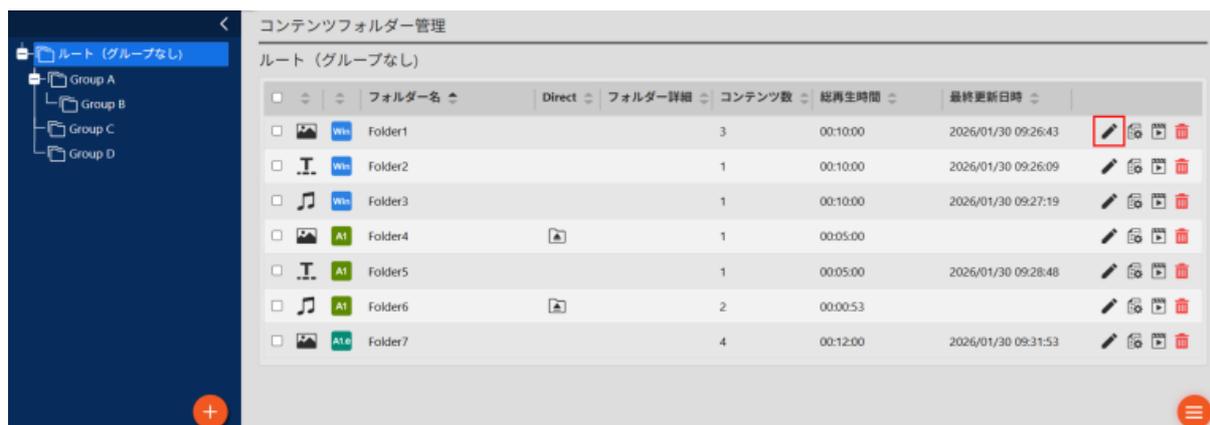
1 ダッシュボード画面の「コンテンツフォルダー管理」をクリックする。

コンテンツフォルダー管理画面を表示します。



2 URL を表示するコンテンツフォルダーの アイコンをクリックする。

コンテンツフォルダーのコンテンツファイル管理画面を表示します。



3 フォルダー詳細セクションの右上にある アイコンをクリックする。

コンテンツフォルダーのリンクを表示します。



4 [クリップボードにコピー] ボタンをクリックする。

表示されているURL がクリップボードにコピーされます。



コピーしたURL をWEB ブラウザのURL 入力部に貼り付けしてアクセスすることで、ダッシュボード画面やコンテンツフォルダー管理画面を経由することなく、コンテンツフォルダーを確認/ 編集することができます。

再生条件設定

コンテンツファイルに再生する条件を設定することができます。
複数の条件を設定した場合、すべての条件に一致した時に再生を行います。

1. 再生条件を設定する

1 コンテンツファイル編集画面で設定するファイルの  をクリックする。

2 各項目を設定する。

設定する項目のチェックボックスにチェックを入れて設定します。



再生条件

(1) 条件名

再生開始時刻

期間 2024/06/11  00:00:00  から 2024/06/11  00:00:00 

時刻 00:00:00  から 00:00:00 

(2) 日付

※ 日、又は月/日を'/'で区切って入力してください。例'1,15,10/5'はそれぞれ毎月1日、毎月15日、10月5日を表します。

曜日: 日 月 火 水 木 金 土

週: 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週

プレイヤーのパネル属性

(3) パネル名 含む 含まない

グループ 含む 含まない

コメント1 含む 含まない

コメント2 含む 含まない

コメント3 含む 含まない

OK キャンセル

項目名	説明
(1) 条件名	再生条件に名前を付けることができます。
(2) 再生条件	再生条件の期間を設定できます。

		期間	開始日と終了日を設定できます。
		時刻	開始時間と終了時間を設定できます。
		日付	再生する日を設定できます。
		曜日	再生する曜日を設定できます。(複数選択可)
		週	毎月の何週目に再生するかを設定できます。(複数選択可)
(3)	プレーヤーのパ ネル属性		パネルに設定されている属性で再生条件を設定します。
		パネル名	入力した文字を含むパネル名で再生する、または含まれないパネルで再生する、を設定できます。
		グループ	入力した文字を含むグループで再生する、または含まれないグループで再生する、を設定できます。
		コメント1 ～ 3	入力した文字を含むコメントが設定されたパネルで再生する、または含まれないパネルで再生するを設定できます。

3 [OK] をクリックする。

ご参考

- 再生条件設定のうち、パネル名、グループ、コメントの条件は、再生時に表示用端末側に設定されているパネル属性情報が参照されます。
- あらかじめ表示用端末にパネル属性情報を設定しておくことで、複数の表示用端末に同一のコンテンツを配信して表示用端末毎にコンテンツを再生させることができます。
- 表示用端末にパネル属性情報を設定する方法は、「[パネル属性を設定]」を参照ください。

2. 再生条件をまとめて設定する

コンテンツフォルダー内から複数のファイルを選択して、プロパティや再生条件を変更できます。

1 設定を変更したいファイルのチェックボックスをクリックしてチェックを入れる。

win Folder1 (プレーヤー)

フォルダー詳細   格納できる拡張子
 JPEG,JPG,GIF,PNG,BMP,WMV,MP4,MOV,AVI,SWF,PPT,P
 PTX,PPS,PPSX,HTM,HTML,MHT,ANC,DGI,ERC,WHR,PDF

ユーザーグループ
 管理者,ユーザー

コンテンツファイル (2/4) フォルダー 再生時間 00:00:40

<input type="checkbox"/>	番号	ファイル名	再生時間	条件名	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Chrysanthemum.jpg	00:00:10	-	    
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Jellyfish.jpg	00:00:10	-	    
<input type="checkbox"/>	3	Koala.jpg	00:00:10	-	    
<input type="checkbox"/>	4	Lighthouse.jpg	00:00:10	-	    

2 プロパティを設定する場合は  をクリックする。

再生条件を設定する場合は、 をクリックする。

win Folder1 (プレーヤー)

フォルダー詳細   格納できる拡張子
 JPEG,JPG,GIF,PNG,BMP,WMV,MP4,MOV,AVI,SWF,PPT,P
 PTX,PPS,PPSX,HTM,HTML,MHT,ANC,DGI,ERC,WHR,PDF

ユーザーグループ
 管理者,ユーザー

コンテンツファイル (2/4) フォルダー 再生時間 00:00:40

<input type="checkbox"/>	番号	ファイル名	再生時間	条件名	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Chrysanthemum.jpg	00:00:10	-	    
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Jellyfish.jpg	00:00:10	-	    
<input type="checkbox"/>	3	Koala.jpg	00:00:10	-	    
<input type="checkbox"/>	4	Lighthouse.jpg	00:00:10	-	    

番組編

番組管理

1. 基本画面について

パネルに表示する番組を管理します。

番組の枠にコンテンツフォルダーを割り当てることで、画面分割して表示することができます。

番組グループ管理エリアの番組グループフォルダーをクリックすると、その番組グループに属する番組が番組管理エリアに表示されます。

番組管理画面では、下記項目の ▲ または ▼ または ◀ をクリックすることで、並び替えが可能です。

対象：パネル種別、番組名、最終更新日時、番組色

画面を閉じると、デフォルトの並び順に戻ります。



2. 番組グループを管理する

2.1. 番組グループ管理エリア

① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

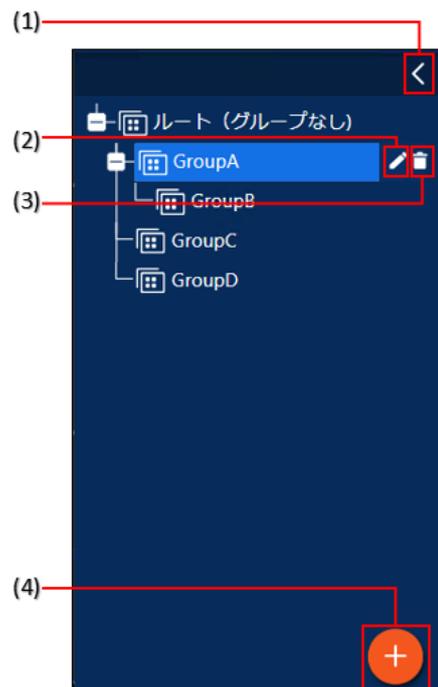
番組グループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

番組グループを削除します。

④ 追加ボタン

番組グループを追加します。



2.2. 番組グループを作成する

1 番組グループ管理エリアの  をクリックする。

番組グループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

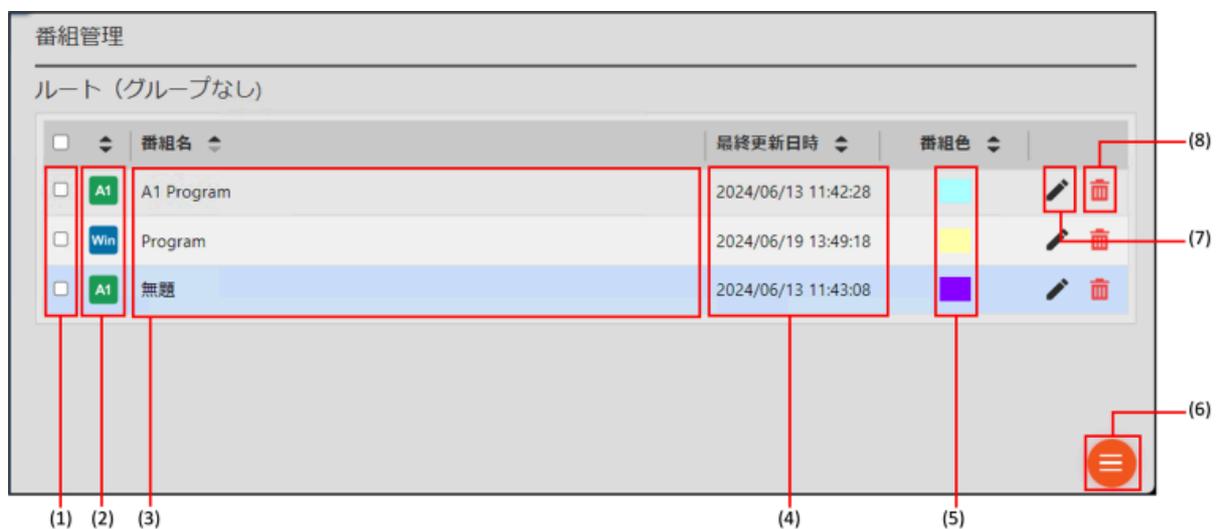
A screenshot of the program group creation form. The form has a title bar '番組グループの追加' (Add Program Group). It contains two input fields: '番組グループ名' (Program Group Name) and '親グループ' (Parent Group). The '親グループ' dropdown menu is open, showing a list of groups: 'ルート (グループなし)' (Root (no group)), 'GroupA', 'GroupC', and 'GroupD'. At the bottom of the form, there are two buttons: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel).

項目名	説明
番組グループ名 (必須)	グループの名称です。(1 ~ 50 文字)
親グループ (必須)	属するフォルダーを設定します。

3 [追加] をクリックする。

3. 番組を管理する

3.1. 番組管理エリア



(1) チェックボックス

複数の番組を移動/ 削除するときを使用します。

(2) プレーヤータイプアイコン

番組のプレーヤータイプを表示します。

(3) 番組名

番組名を表示します。

(4) 最終更新日時

番組が更新された日時を表示します。

(5) 番組色

番組に設定した色を表示します。

(6) メニューボタン

新規に番組を追加、または 番組を一括削除するときを使用します。

一括削除は、リストのチェックボックスにチェックを入れて [削除] をクリックします。

(7) 編集ボタン

番組作成エリアを表示します。

番組作成エリアで番組を編集できます。

(8) 削除ボタン

番組を削除します。

番組作成

1. 基本画面について

パネルに表示する番組を作成します。

番組作成エリアの破線枠（表示枠、テロップ枠、音声枠、背景枠）へフォルダー選択エリアのコンテンツフォルダーをドラッグ&ドロップして割り当てることができます。



コンテンツフォルダー選択エリア

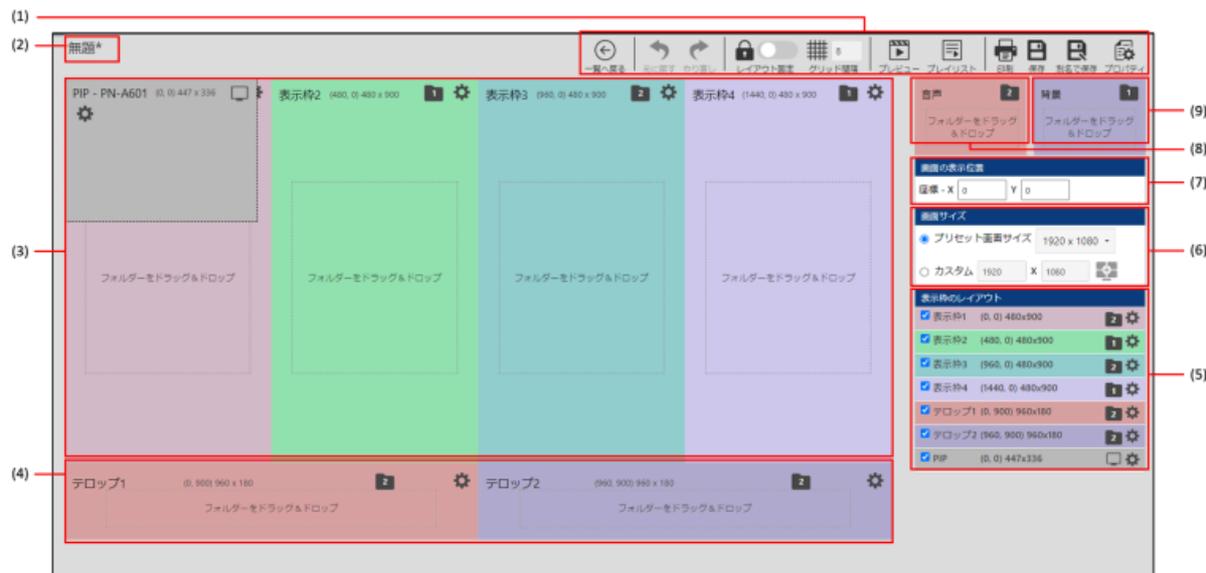
番組作成エリア

2. 番組を作成する

2.1. レイアウトを設定する

画面全体のレイアウトを設定します。

- 1 番組管理エリアの  をクリックし、「追加」を選択する。
- 2 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。
- 3 各項目を設定する。



No	項目名	説明
(1)	一覧へ戻る	番組管理の基本画面に戻ります。
	元に戻す	クリックまたはCtrl+Zキーで、元に戻すことができます。(最大10回)
	やり直し	クリックまたはCtrl+Yキーで、やり直すことができます。(最大10回)
	レイアウト固定	操作ミスによるレイアウトの変更を防ぐときに使用します。
	グリッド間隔	グリッドの単位を設定します。グリッドを利用すると、マウスのドラッグ時にグリッド単位で移動でき、正確に位置を合わせることができます。
	プレビュー	<p>作成した番組をプレビューします。【Esc】キーでプレビューを終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ プレビューの前に【保存】で番組を保存してください。 ※ プレビュー方法（オリジナルサイズ、画面にフィット）を選択します。 ※ 再生条件やマルチモニターの条件を指定してプレビューを表示することができます。 ※ プレーヤー A1 データを PC 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。PDFファイルはプレビューできません。また、一部の動画ファイルや音声ファイルでプレビューできない場合があります。 ※ 操作用PCでプレビュー表示を行うには、クライアントソフトウェアのインストールが必要です。 ※ 操作用PCでのプレビュー表示の際は、起動したプレビューアプリケーションの操作指示に従ってデータをダウンロードし、表示してください。 ※ プレビューアプリケーションの「キャッシュ設定」で「最大保持サイズ」「最大保持日数」を適切に設定すると、プレビューの繰り返し操作でのデータダウンロード量を削減できます。 ※ 管理用PCではクライアントソフトウェアのインストールは不要です。プレビューが直接実行されます。

	プレイリストの表示	各表示枠に割り当てられているコンテンツフォルダの詳細を確認できます。コンテンツフォルダの再生順を入れ換えることができます。 (表示枠1～4、テロップ枠1～2、音声枠、背景枠、PIP 枠)
	番組構成印刷	番組作成エリアからプレイリストを印刷します。
	保存	現在編集中の番組を保存します。
	別名で保存	現在編集中の番組に名前を付けて保存します。
	プロパティ	番組のプロパティ (番組名、番組色) を設定します。
(2)	番組名	番組名が表示されます。開いた番組の内容が変更されると、番組名の後ろに「* (アスタリスク)」が表示されます。
(3)	表示枠1～4	表示枠1～4の表示内容や表示位置を設定します。
	PIP	PIP 枠の表示内容や表示位置を設定します。 ※ PIP 枠は、表示枠のレイアウトにチェックを入れることで表示されます。
(4)	テロップ 1～2	テロップ 1～2 の表示内容や表示位置を設定します。
(5)	表示枠のレイアウト	各枠の表示/非表示を選択します。
(6)	画面サイズ	番組がパネルに表示されるサイズを設定します。
(7)	画面の表示位置	番組がパネルに表示される開始位置を設定します。
(8)	音声枠	番組の表示時に再生される音声および音楽を設定します。
(9)	背景枠	番組の背景を設定します。

4 各枠のサイズや位置を調整する。

設定 - 表示枠1

座標 - X

座標 - Y

幅

高さ

コンテンツを表示していないときの背景色

表示する

表示/ テロップ/PIP 枠は  をクリックして設定を変更し、[OK] をクリックします。

項目	説明
座標 -X	表示する位置を設定します。
座標 -Y	
幅	表示する大きさを設定します。
高さ	
コンテンツを使用していないときの背景色	コンテンツを使用していないときの背景色を設定します。 ※ 表示枠のみ
表示する	表示/非表示を選択します。

5 [別名で保存] をクリックする。

保存画面が表示されます。

項目	説明
番組名	番組名を設定します。
番組色	番組色を設定します。

6 各項目を設定して [保存] をクリックする。

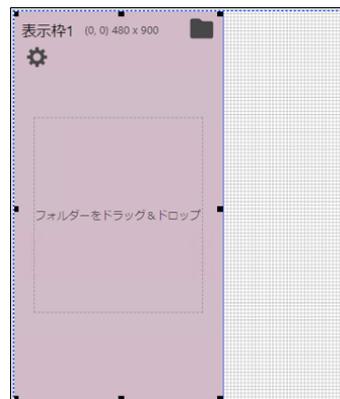


ご参考

- 枠をクリックすると、周りに8箇所のグリップが表示され、選択状態になります。このグリップをマウスでドラッグすることで、枠のサイズ変更を視覚的に操作することができます。
 - また、グリップ以外をマウスでドラッグすることで、枠を移動することができます。
- 【Shift】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したままサイズ変更ができます。
- 「グリッド間隔」を利用して、グリッド単位で正確に操作することができます。
- PIP 枠は 1 ピクセル 単位での移動はできません。利用するインフォメーションディスプレイにより配置可能な位置は異なります。

キーボードを使用して枠の移動/サイズ調整

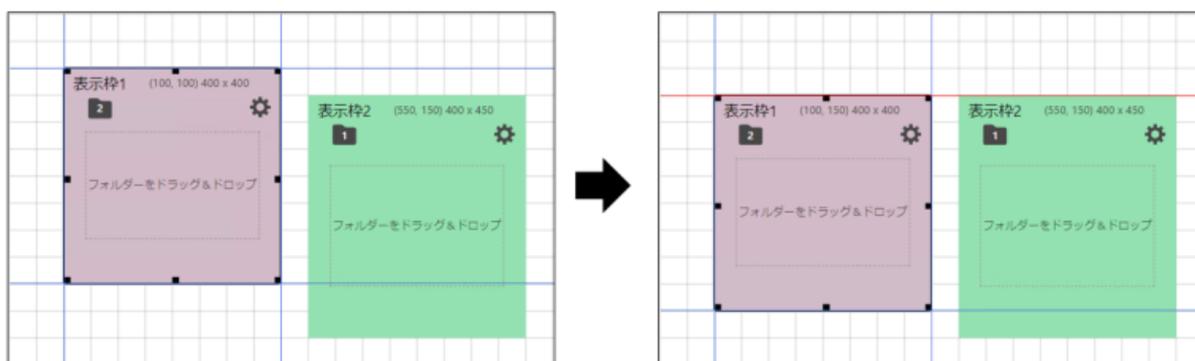
- 枠を選択した状態で上下左右の矢印キーを押すと、枠を移動させることができます。そのまま押すとグリッド単位での移動、【Ctrl】キーを押しながら矢印キーを押すとピクセル単位での移動になります。
- 枠を選択した状態で【Shift】キーを押しながら上下左右の矢印キーを押すと、枠のサイズを変更できます。【Shift】キーを押しながら上下左右の矢印キーを押すとグリッド単位、【Ctrl】キーと【Shift】キーを押しながら上下左右の矢印キーを押すとピクセル単位の変更になります。
- 表示枠を右端または下端へ移動したとき、グリッド線上からずれることがあります。また、PCの画面解像度やブラウザのウィンドウサイズによっては、表示枠を正しい座標に表示できない場合や、正しい座標に移動できない場合があります。このような状態になったときは、設定から正しい数字を入力してください。



補助線について

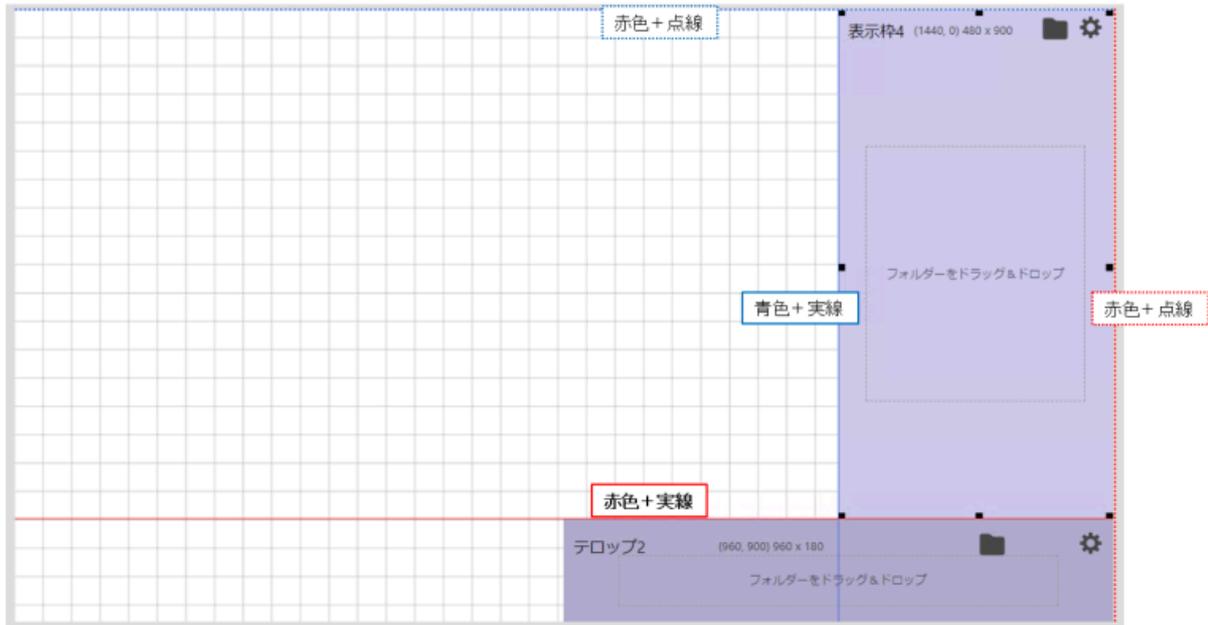
表示枠と背景枠の位置が重なると、補助線の線種が実線から点線に変わります。

表示枠の位置やサイズを調整するとき、補助線の色と線種から表示枠の位置が確認できます。



選択した表示枠1の上下左右に青色の線が表示されます。

表示枠1の上下左右の線が、他の表示枠と一致した場合、一致した線が赤色の線が表示されます。



補助線の色	選択した表示枠の状態
青色	選択した表示枠が、他の表示枠・テロップ枠の位置と一致していません
赤色	選択した表示枠が、他の表示枠・テロップ枠の位置と一致しています

補助線の線種	選択した表示枠の状態
実線	選択した表示枠が、背景枠の位置と一致していません
点線	選択した表示枠が、背景枠の位置と一致しています

2.2. コンテンツフォルダーを割り当てる

1 割り当てる枠に応じて、コンテンツフォルダー選択エリアのメニューからコンテンツフォルダーの種類を選択する。

表示/ 背景枠は「メディアフォルダー」、テロップ枠は「テロップフォルダー」、音声枠は「音声フォルダー」を選択します。



2 フォルダーグループを選び、割り当てるコンテンツフォルダーをドラッグ&ドロップする。

- 使用できるファイル形式は、「■コンテンツフォルダーに格納できるファイル」を参照してください。
- 1つの枠に複数のコンテンツフォルダーを配置できます。配置したコンテンツフォルダー/コンテンツの一覧は、「プレイリストの表示」で確認します。

3 必要に応じて、手順1～2を繰り返し、番組を設定する。

PIP 枠については、「■ PIP 枠を設定する」をご覧ください。

4 [保存] をクリックする。

ご参考

割り当てたコンテンツフォルダーは、「プレイリストの表示」で削除することができます。

2.3. PIP 枠を設定する

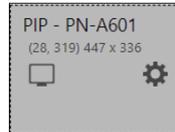
PIP 枠のサイズ、入力ソース、音声ソース等を設定します。インフォメーションディスプレイ (PN シリーズ) のみ使用できます。

プレイヤーのみの機能です。

ご参考

- プレーヤーA1 は、PIP には対応していません。
- PIP の位置、サイズは、映像信号により多少ずれることがあります。

1 [表示枠のレイアウト] で「PIP」のチェックボックスにチェックを入れる。



2 [設定]  をクリックして各項目を設定する。



項目	説明
パネルのモデル名	パネルのモデル名を設定します。 ※ 表示される項目、値は選択されているモデルにより異なります。
サイズ	サイズを選択します。 アスペクト比によってサイズが異なります。
アスペクト比	画面比率を選択します。 ※ 表示する映像に合わせて選択してください。
入力ソース	入力ソースを選択します。
音声ソース	音声ソースを選択します。
方向	パネルの設置方向を選択します。 ※ インフォメーションディスプレイ本体の設定を変更することはできません。ディスプレイの設定に合わせて値を選択してください。

3 [OK] をクリックする。

2.4. 画面の表示位置を設定する

1 「画面の表示位置」を設定する。

背景の左上座標をパネルのどの位置（座標：-99999 ～ 99999）にするかを設定します。
通常は、「座標-X」、「座標-Y」とも「0」を指定します。

2.5. 画面サイズを設定する

1 「画面サイズ」を設定する。

画面サイズが背景のサイズになります。

「プリセット画面サイズ」ラジオボタンを選択し、プルダウンメニューからサイズを選択します。
通常は、パネルのサイズ（解像度）を設定してください。

ご参考

- プルダウンメニューに設定したいサイズがない場合は、「カスタム」ラジオボタンを選択し、サイズを入力します。
- 複数のパネルを組み合わせて、1つのパネルのように表示するときは、「カスタム」ラジオボタンを選択して「マルチモニタの画面サイズを計算」をクリックし、モニター設置方向をそれぞれ設定します。



2.6. 表示優先順位について

番組を表示したときに、各表示枠が重なっている場合は、次の順で前面から背面に表示されます。
「PIP 枠」 → 「テロップ枠」 → 「表示枠4」 → 「表示枠3」 → 「表示枠2」 → 「表示枠1」 → 「背景」

ご参考

- 表示の優先順位を変更することはできません。
- 各枠や背景のコンテンツがPowerPoint やEXE ファイル、サイネージパーツ、e-Signage WEB ブラウザの場合、表示優先順位に関係なく前面に表示されます。
- 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。
動画は背景ではなく、表示枠1～4のいずれかに設定してください。

3. プレイリストから直接コンテンツフォルダーを表示/編集する

番組のプレイリストの表示画面から直接コンテンツフォルダーを表示して、コンテンツファイルの追加/削除などの編集ができます。

1 番組作成エリアの [プレイリストの表示] ボタンをクリックする。

プレイリストの確認画面を表示されます。



2 編集したいコンテンツフォルダーの [編集アイコン] をクリックする。

別のウインドウでコンテンツフォルダーの編集画面が表示されます。



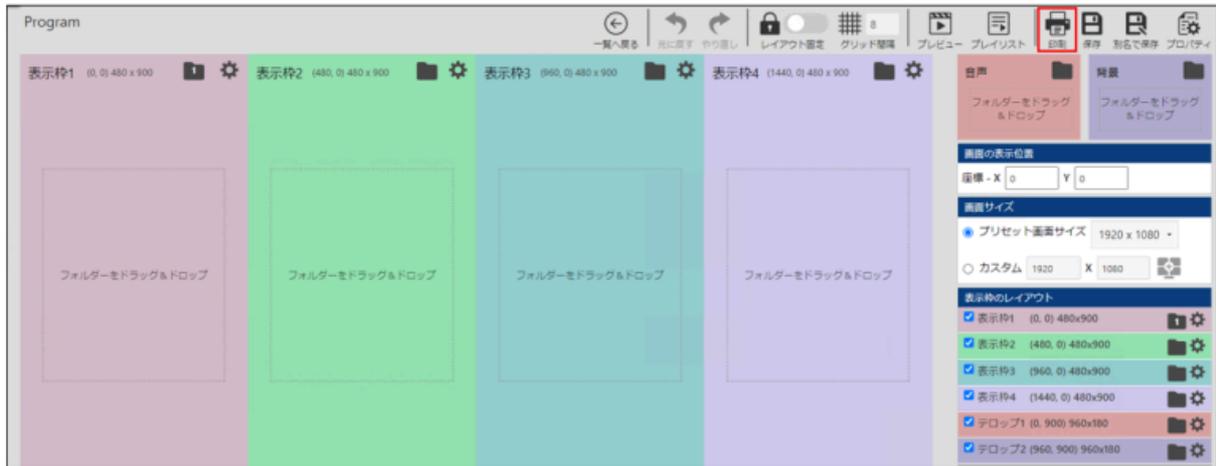
3 コンテンツファイルを編集する。

削除/追加等の編集内容が、番組管理のプレイリストにリアルタイムで反映されます。

4. 番組作成エリアからプレイリストを印刷する

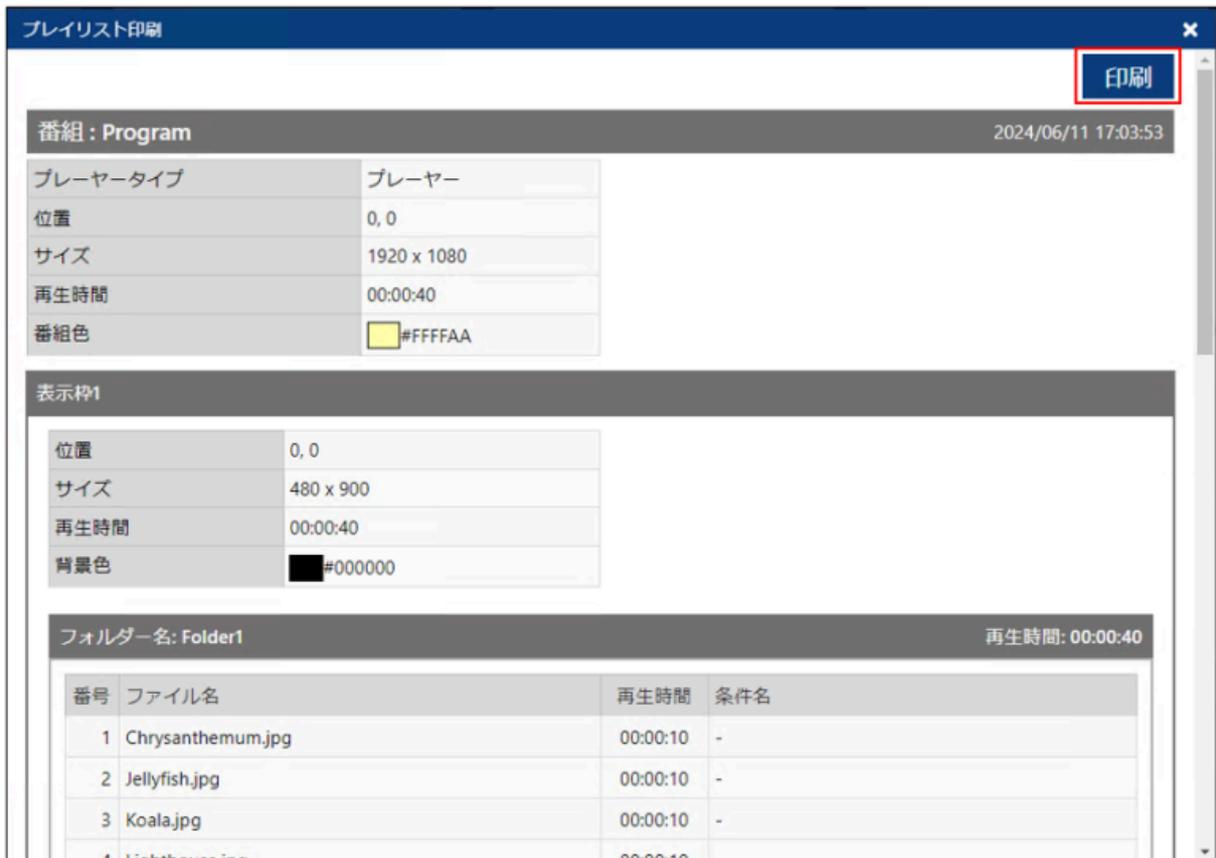
番組作成エリアからプレイリストを、印刷専用のレイアウトで印刷できます。

1 番組管理画面から印刷したい番組の番組作成エリアを開き [番組構成印刷] ボタンをクリックする。



2 画面右上の【印刷】ボタンをクリックする。

印刷設定画面が開きますので指示に従って印刷を行います。



スケジュール編

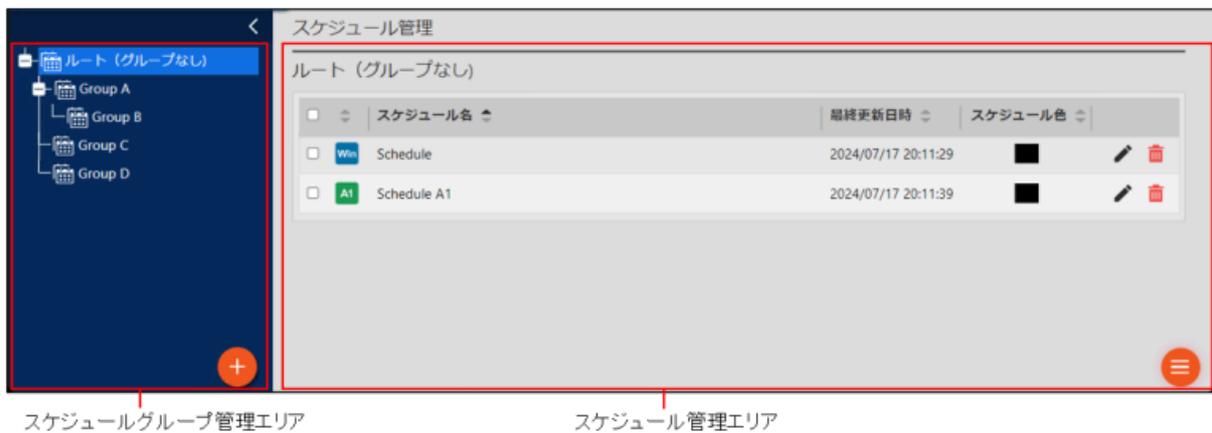
スケジュール管理

1. 基本画面について

パネルにコンテンツフォルダーや番組を表示する「スケジュール」を管理します。

スケジュールグループ管理エリアのスケジュールグループ名をクリックすると、そのスケジュールグループに属するスケジュールがスケジュール管理エリアに表示されます。

スケジュール管理画面では、下記項目の  または  または  をクリックすることで、並び替えが可能です。



スケジュールグループ管理エリア

スケジュール管理エリア

2. スケジュールグループを管理する

2.1. スケジュールグループ管理エリア

(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) 編集ボタン

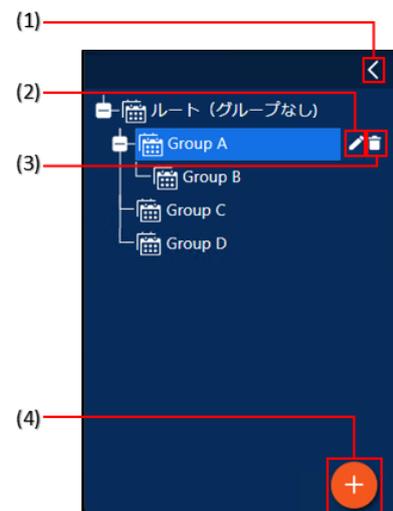
スケジュールグループの登録情報を編集します。

(3) 削除ボタン

スケジュールグループを削除します。

(4) 追加ボタン

スケジュールグループを追加します。



2.2. スケジュールグループを作成する

1 スケジュールグループ管理エリアの  をクリックする。

スケジュールグループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。



項目名	説明
スケジュールグループ名 (必須)	グループの名称です。
親グループ (必須)	属するフォルダーを設定します。

3 [追加] をクリックする。

3. スケジュールを管理する

3.1. スケジュール管理エリア



(1) チェックボックス

複数のスケジュールを移動/ 削除するときを使用します。

(2) スケジュール名

スケジュール名とプレーヤータイプを表示します。

(3) 最終更新日時

スケジュールが更新された日時を表示します。

(4) スケジュール色

スケジュールに設定した色を表示します。

(5) メニューボタン

新規にスケジュールを追加、または スケジュールを一括削除するときを使用します。
一括削除は、リストのチェックボックスにチェックを入れて [削除] をクリックします。

(6) 編集ボタン

スケジュール作成エリアを表示します。
スケジュール作成エリアでスケジュールを編集できます。

(7) 削除ボタン

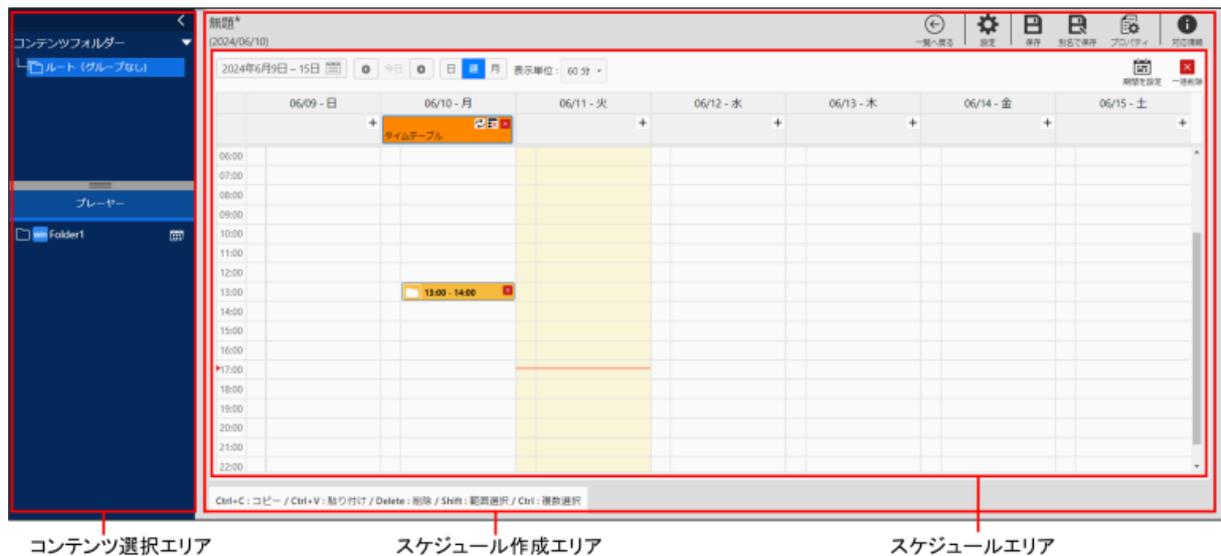
スケジュールを削除します。

スケジュール作成

1. 基本画面について

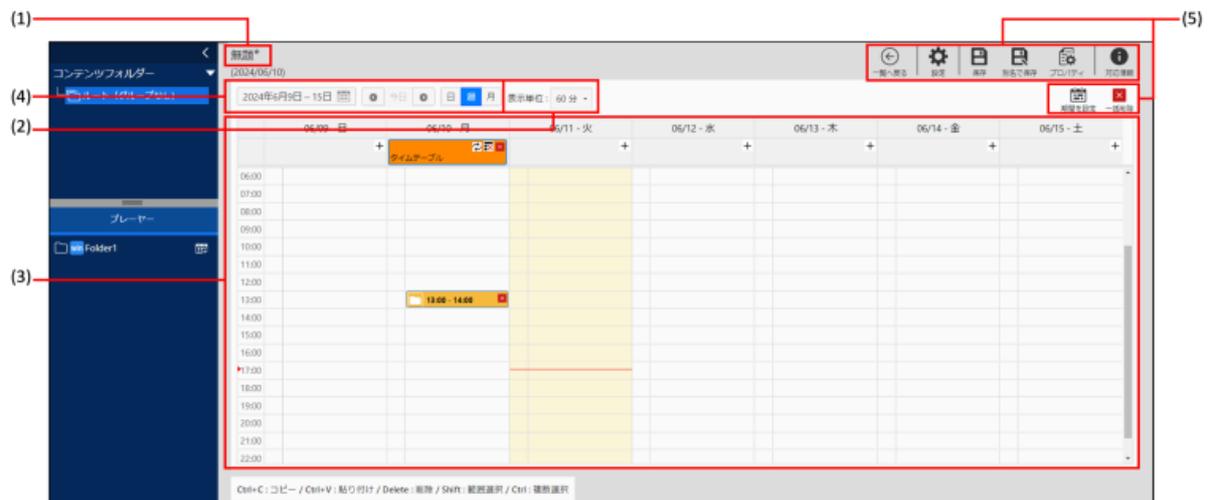
パネルにコンテンツフォルダーや番組を表示する「スケジュール」を作成します。

コンテンツ選択エリアのコンテンツ（コンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンド）をスケジュールエリアへドラッグ&ドロップで配置し、表示 / 制御する時間帯の設定ができます。



番組作成時に指定した色が、タイムテーブルに表示されます。

1.1. スケジュール作成エリア



※「週」表示の画面例です。

項目名	説明	
(1) スケジュール名	スケジュール名が表示されます。開いたスケジュールの内容が変更されると、スケジュール名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。	
(2) 表示単位	スケジュールエリアの表示単位を選択できます。	
(3) スケジュールエリア	再生スケジュールを設定します。	
(4) 表示範囲	スケジュールエリアの表示範囲を設定します。	
	表示範囲を移動します。  : ひとつ前の表示範囲へ移動します。  : 今日の日付が含まれる表示範囲へ移動します。  : ひとつ次の表示範囲へ移動します。	
	 選択した日付が含まれる表示範囲へ移動します。	
	 表示範囲の単位を「日」「週」「月」から選択します。	
(5)	一覧へ戻る	スケジュール管理の基本画面に戻ります。
	設定	過去の古いデータ削除を促すメッセージの表示設定、スケジュール保存時の古いデータ削除の設定ができます。本設定は 運用グループ毎に保存されます。
	保存	現在編集中のスケジュールを保存します。
	別名で保存	現在編集中のスケジュールに名前を付けて保存します。
	プロパティ	スケジュールのプロパティ（スケジュール名、スケジュール色）を設定します。
	対応情報	パネル（インフォメーションディスプレイ）の各モデルが対応している機能や、入力切替時の入力番号を表示します。
	表示時間の設定	スケジュールエリアに表示する時間帯の範囲を設定します。本設定は スケジュール毎に保存されます。
一括削除	割り当てたコンテンツを削除します。削除条件の設定ができます。	

スケジュールエリアのアイコンの説明

	09/01 - 日	09/02 - 月
	 test1   	+
05:00		
06:00	 06:00 - 08:00 	
07:00	sample1	
08:00		

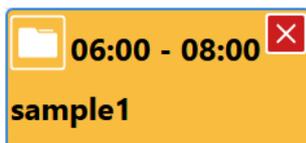
-  : クリックすると、タイムテーブルの作成画面が開きます。
 既存のタイムテーブルのコピー または 新規作成ができます。既存のタイムテーブルをコピーすると、コピー先とコピー元のタイムテーブルは同期します。

タイムテーブル枠内のアイコン



-  : クリックすると、既存のタイムテーブルのコピー画面が開き、コピーできます。コピー先とコピー元のタイムテーブルは同期します。
-  : クリックすると、タイムテーブルの登録データをすべて削除します。
-  : クリックすると、タイムテーブルを削除します。
-  : タイムテーブルが同期中のときに 表示されます。

登録データ欄内のアイコン



-  : クリックすると、登録データを削除します。

2. スケジュールを作成する

1 スケジュール管理エリアの  をクリックし、「追加」を選択する。

2 配信先のプレーヤータイプを選択する。

3 コンテンツ選択エリアで「コンテンツフォルダー」「番組」「パネル制御コマンド」から割り当てるコンテンツを選択する。

「コンテンツフォルダー」「番組」の場合は、グループを選択し、割り当てるコンテンツを表示します。

ご参考

パネル（ディスプレイ）が対応しているコマンドは、「パネル制御の機種別対応表」で確認することができます。「パネル制御の機種別対応表」を表示するには、[対応情報] をクリックします。パネル制御の機種別対応表の内容は以下のとおりです。

項目	説明
RS-232C 接続	RS-232C ケーブルの種類（ストレート、クロスのいずれか）と対応する通信速度を表示します。
LAN 接続	LAN 接続に対応しているかどうかを表示します。
フォーマット	コマンドフォーマットを表示します。コマンドフォーマットにはNフォーマットとSフォーマットがあります。
USB 接続	USB 接続に対応しているかどうかを表示します。
電源 ON	「パネル電源ON」コマンドに対応しているかどうかを表示します。
電源 OFF	「パネル電源 OFF」コマンドに対応しているかどうかを表示します。
状態取得	状態取得 に対応しているかどうかを表示します。
H/W 異常検出	ハード異常の検出に対応しているかどうかを表示します。
時計合わせ	時計合わせ に対応しているかどうかを表示します。
明るさ制御	明るさの制御に対応しているかどうかを表示します。
入力“番号”	パネル（ディスプレイ）の入力端子に対応しているかどうかを表示します。
TV 切換	TV 切換に対応しているかどうかを表示します。

プレーヤーのパネル制御コマンドは、下表の通りです。

制御コマンド	選択項目
パネルの電源、明るさ制御	パネルの電源をON、パネルの電源をOFF、明るさ0%、明るさ10%、明るさ20%、明るさ30%、明るさ40%、明るさ50%、明るさ60%、明るさ70%、明るさ80%、明るさ90%、明るさ100%
パネルの入力切換	入力1、入力2、入力3、入力4、入力5、入力6、入力7、入力8、入力9、入力10、入力11、入力12、入力13、入力14、入力15、入力16、入力17、入力18、入力19、入力20、入力21、入力22、入力23、入力24、入力25、入力26、入力27、入力28、入力29、入力30、TV

4 割り当てるコンテンツをスケジュールエリアにドラッグ&ドロップする。

「月」表示の場合、または、スケジュールエリアのタイムテーブル枠にドラッグすると終日再生となります。

制御コマンドについては「■パネル制御コマンド」を参照してください。

コンテンツ（コンテンツフォルダー / 番組）の繰り返し登録をすることができます。コンテンツ選択エリアの  をクリックし、「繰り返し」タブで表示される画面で繰り返す条件を設定します。

再生開始時刻： 繰り返し登録の開始時刻

再生終了時刻： 繰り返し登録の終了時刻

再生開始間隔： コンテンツの再生が開始される間隔

再生時間： コンテンツの再生時間

ご参考

- 「再生終了時刻」までに1回分の再生を終了できない回は、スケジュールに登録されません。「再生終了時刻」までに終了できる回までが登録されます。
- 非常に短い再生開始間隔と再生時間によって1日に繰り返し登録を行った場合、それらをタイムテーブルとして保存して長期間に割り当てを行おうとすると、ソフトウェアの動作が不安定になることがあります。以下の程度での実施をお勧めします。
例)
 - 再生開始時刻：00:00 再生終了時刻：24:00 再生開始間隔：5分 再生時間：5分
 - タイムテーブルの割り当て期間：再生期間：2022/1/1～2022/12/31（1年間）
- コンテンツを選択して【Ctrl】キーを押しながら【C】を押すことで、そのコンテンツをコピーできます。そのまま【Ctrl】キーを押しながら【V】を押すことで、コピーしたコンテンツを貼り付けることができます。
※タイムテーブルを選択した状態で行うと、選択したタイムテーブルの後に追加されます。タイムテーブルを選択せずに行うと、現在の表示画面の先頭から追加されます。
- コンテンツを選択して【Delete】キーを押すと、そのコンテンツを削除できます。

- 複数のコンテンツを同時に選択するときには、【Ctrl】キーを押しながら選択したい項目をクリックしてください。また、選択した範囲内のコンテンツを選択する場合は、【Shift】キーを押しながら開始位置を選択し、その後終了位置を選択してください。選択したコンテンツと、その範囲内のコンテンツがすべて選択されます。
- カーソルをコンテンツの上にかざすと、イベント内容が表示されます。

5 必要に応じて、時間帯を変更する。

配置した内容をドラッグまたはクリックして変更します。

6 必要に応じて、手順3～5を繰り返し、1日の再生スケジュールを設定する。

7 設定した1日のスケジュールを他の日に使用したい場合、タイムテーブルとして登録する。

8 【別名で保存】をクリックする。

保存画面が表示されます。

項目	説明
スケジュール名	スケジュール名を設定します。
スケジュール色	スケジュール色を設定します。



9 各項目を設定して【保存】をクリックする。

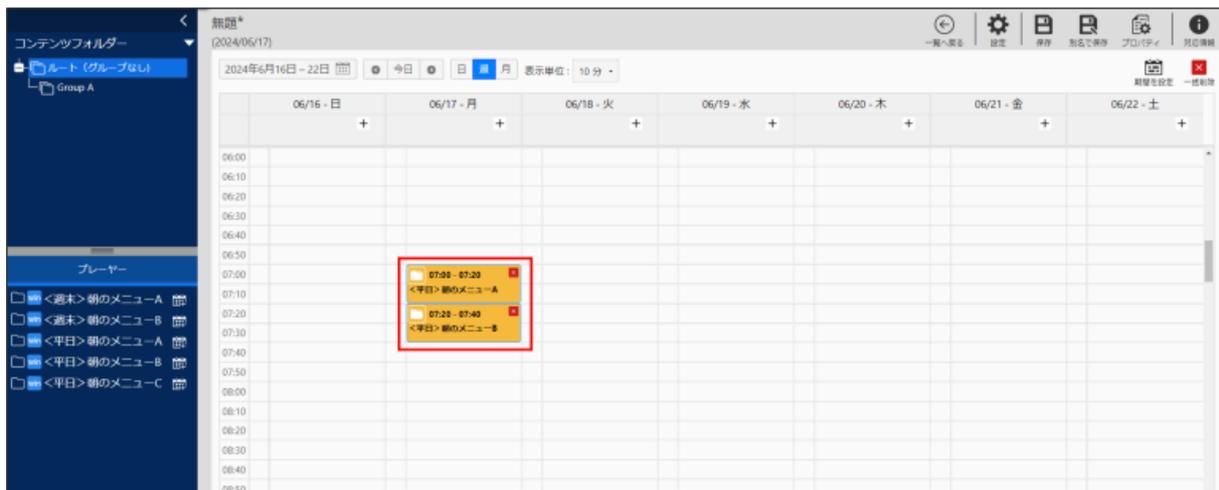
ご参考

状態監視・制御画面の制御メニューのパネル制御でも、パネルの明るさやパネルの入力切換を変更できます。

2.1. スケジュールのコピー方法

週末のタイムテーブルと平日のタイムテーブルを作成し、1週間のスケジュールを次の週にコピーする方法を説明します。

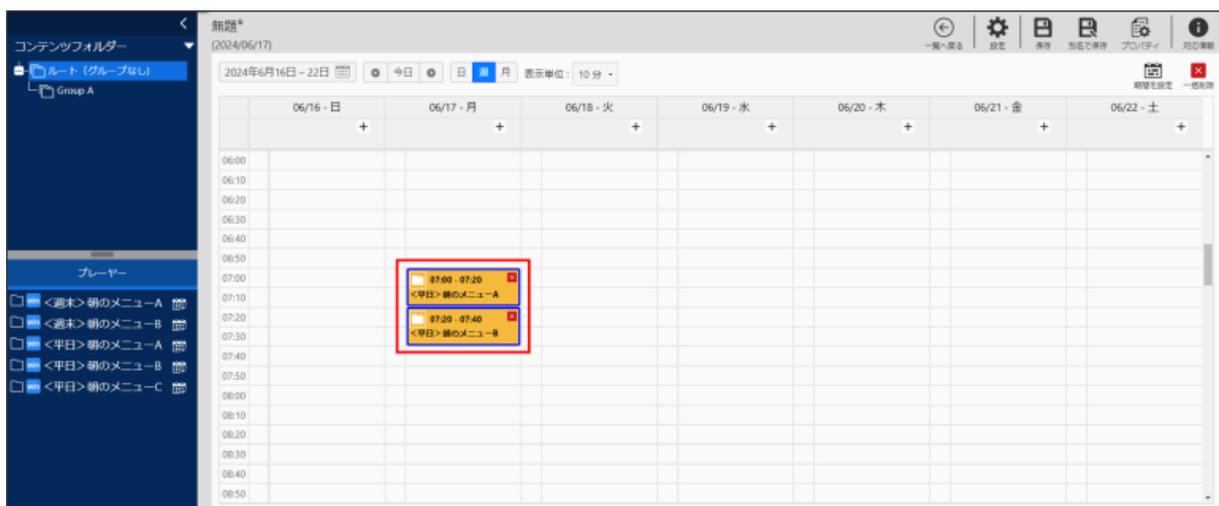
1 月曜日の朝7：00から、2つのコンテンツフォルダーを配置する。



2 2つのコンテンツフォルダーを選択する。

[<平日>朝のメニュー-A] を選択した後、【Shift】キーを押しながら、 [<平日>朝のメニュー-B] を選択します。

2つのコンテンツフォルダーが選択された状態になります。



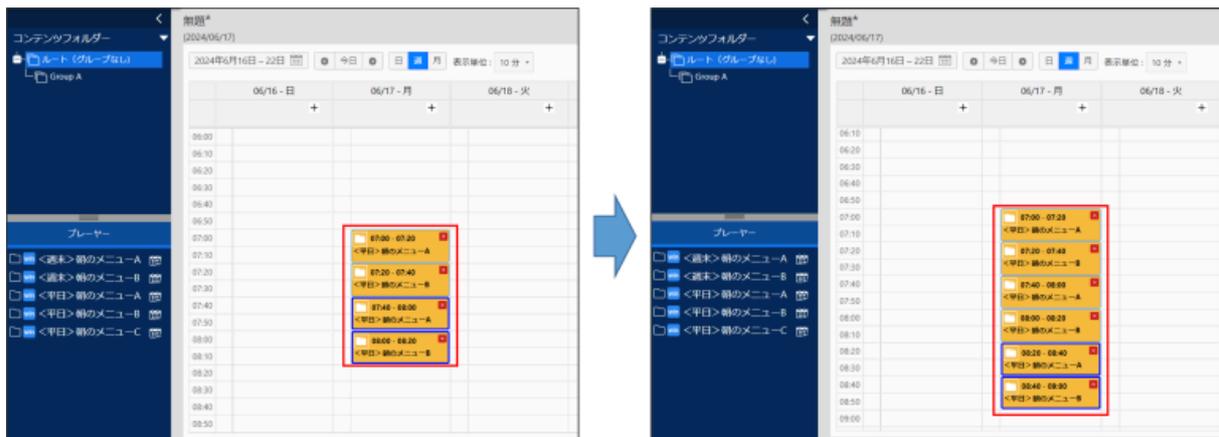
3 選択した2つのコンテンツフォルダーをコピーする。

【Ctrl】キーを押しながら【C】キーを押して、コピーします。

4 2つのコンテンツフォルダーを9：00まで複製する。

【Ctrl】キーを押しながら【V】キーを押します。選択しているコンテンツフォルダーから次の空きスペースに複製されます。

再度、【Ctrl】キーを押しながら【V】キーを押します。次の空きスペースに複製され、9：00までのスケジュールが完成します。



5 月曜日に「平日」のタイムテーブルを作成する。

月曜日のタイムテーブル欄の **+** アイコンをクリックして「タイムテーブルを作成」画面の「新規タイムテーブル」を表示します。タイムテーブル名に「平日」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

タイムテーブルを作成

新規タイムテーブル
既存タイムテーブルをコピー（同期）

タイムテーブル名

タイムテーブル色

追加する期間

上書き

オプション設定

曜日指定:

日
 月
 火
 水
 木
 金
 土

週指定:

第1週
 第2週
 第3週
 第4週
 第5週
 第6週

OK
キャンセル

6 タイムテーブルを火曜日から金曜日まで複製する。

「平日」のタイムテーブルを選択した後、【Ctrl】キーを押しながら【C】キーを押してコピーします。

	08/18 - 日	08/19 - 月	08/20 - 火
		平日	
00:00			
06:10			
06:20			
06:30			
06:40			
06:50			
07:00		07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A	
07:10		07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B	
07:20		07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A	
07:30		08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B	
07:40		08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A	
07:50		08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B	
08:00			
08:10			
08:20			
08:30			
08:40			
08:50			
09:00			

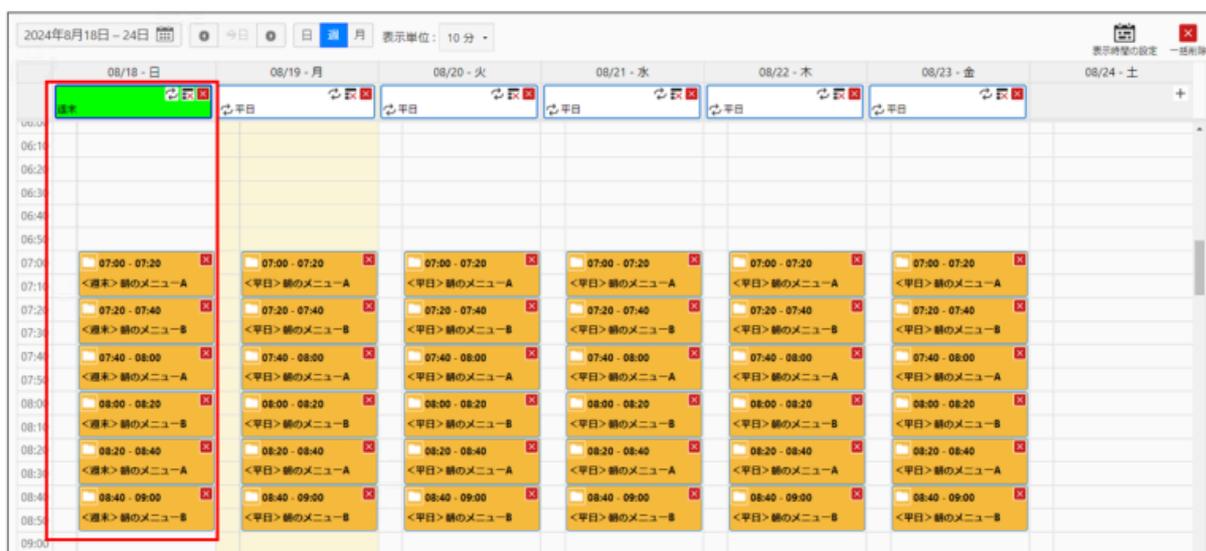
【Ctrl】キーを押しながら【V】キーを押して、空きスペースにペーストします。タイムテーブルを火曜日から金曜日まで複製します。

	08/18 - 日	08/19 - 月	08/20 - 火	08/21 - 水	08/22 - 木	08/23 - 金	08/24 - 土
		平日	平日	平日	平日	平日	
00:00							
06:10							
06:20							
06:30							
06:40							
06:50							
07:00		07:00 - 07:20 <平日> 朝のメニュー-A					
07:10		07:20 - 07:40 <平日> 朝のメニュー-B					
07:20		07:40 - 08:00 <平日> 朝のメニュー-A					
07:30		08:00 - 08:20 <平日> 朝のメニュー-B					
07:40		08:20 - 08:40 <平日> 朝のメニュー-A					
07:50		08:40 - 09:00 <平日> 朝のメニュー-B					
08:00							
08:10							
08:20							
08:30							
08:40							
08:50							
09:00							

7 平日のスケジュール作成と同じ手順で、週末のスケジュールを作成する。

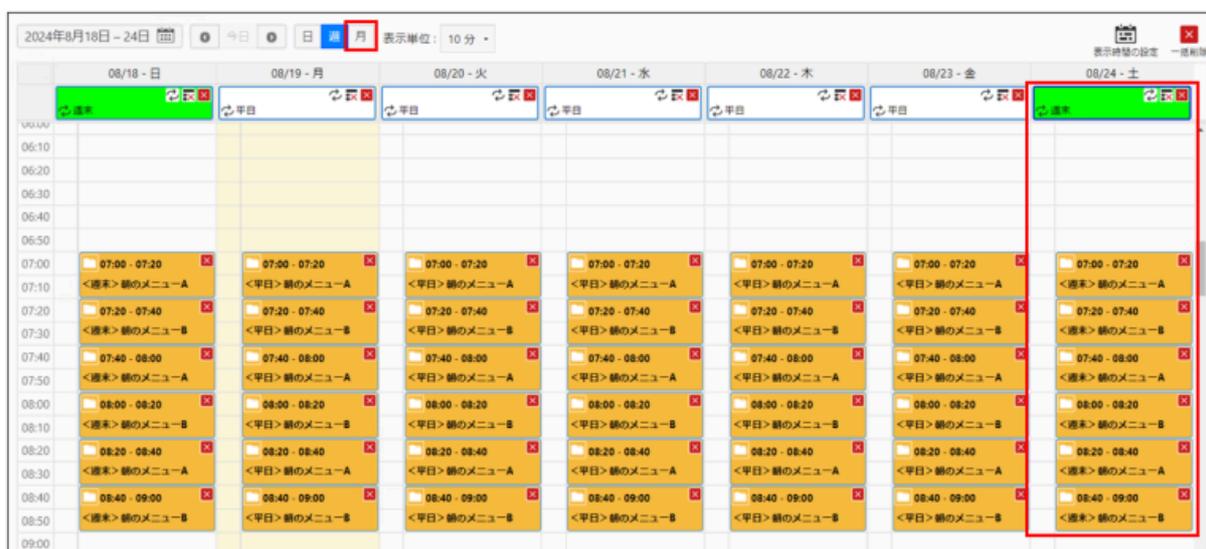
日曜日の7：00から2つのコンテンツフォルダーを配置し、9：00まで複製します。

週末のタイムテーブルを作成し選択します。【Ctrl】キーを押しながら【C】キーを押して、コピーします。



【Ctrl】キーを押しながら【V】キーを押して、土曜日にペーストし1週間分のスケジュールを完成します。

月ボタンを押して、月表示の画面を表示します。



8 一週間分のタイムテーブルを選択する。

日曜日のタイムテーブルを選択します。

日	月	火	水	木	金	土
+ 4日	+ 5日	+ 6日	+ 7日	+ 8日	+ 9日	+ 10日
+ 11日	+ 12日	+ 13日	+ 14日	+ 15日	+ 16日	+ 17日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
6フォルダー						
+ 25日	+ 26日	+ 27日	+ 28日	+ 29日	+ 30日	+ 31日

Ctrl+C: コピー / Ctrl+V: 貼り付け / Delete: 削除 / Shift: 範囲選択 / Ctrl: 複数選択

【Shift】キーを押しながら土曜日のタイムテーブルを選択し、1週間分のタイムテーブルを選択します。

【Ctrl】キーを押しながら【C】キーを押して、コピーします。

日	月	火	水	木	金	土
+ 4日	+ 5日	+ 6日	+ 7日	+ 8日	+ 9日	+ 10日
+ 11日	+ 12日	+ 13日	+ 14日	+ 15日	+ 16日	+ 17日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
6フォルダー						
+ 25日	+ 26日	+ 27日	+ 28日	+ 29日	+ 30日	+ 31日

Ctrl+C: コピー / Ctrl+V: 貼り付け / Delete: 削除 / Shift: 範囲選択 / Ctrl: 複数選択

【Ctrl】キーを押しながら【V】キーを押して、次の週にペーストします。

日	月	火	水	木	金	土
+ 4日	+ 5日	+ 6日	+ 7日	+ 8日	+ 9日	+ 10日
+ 11日	+ 12日	+ 13日	+ 14日	+ 15日	+ 16日	+ 17日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
6フォルダー						
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
6フォルダー						

Ctrl+C:コピー / Ctrl+V:貼り付け / Delete:削除 / Shift:範囲選択 / Ctrl:複数選択

2.2. 割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドを調整する

再生開始時刻を変更する

スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドは、ドラッグして移動できます。週表示、月表示の場合は、ドラッグして別の日付に変更することもできます。

再生終了時刻を変更する

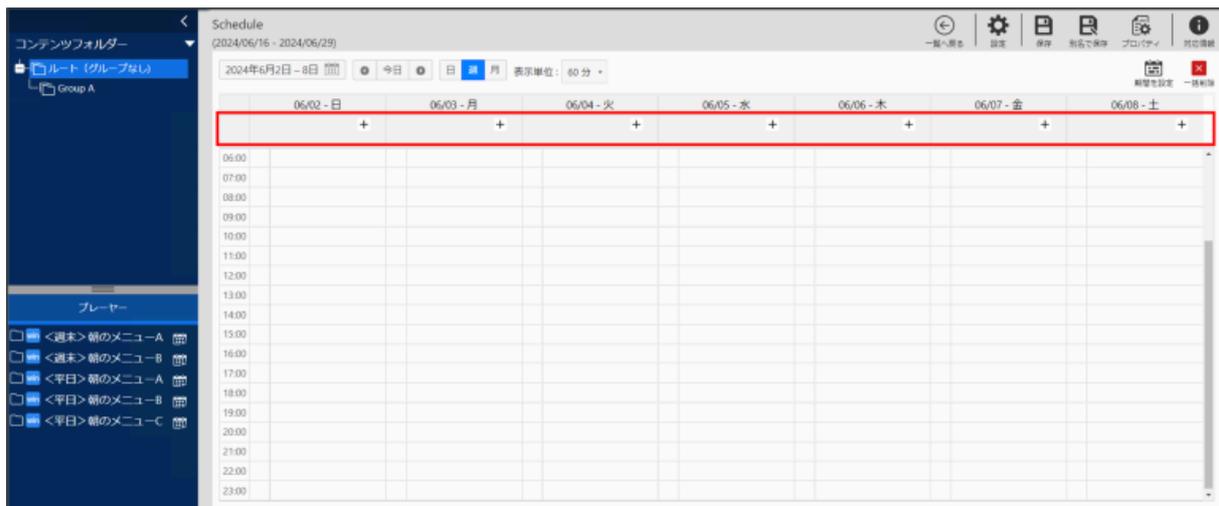
スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組にマウスマウスカーソルを重ねると、マウスポインターの形状が上下両方向の矢印に変わります。マウスでドラッグすることで、コンテンツフォルダー / 番組の再生終了時刻を視覚的に操作することができます。

再生時間を変更する / 削除する

スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドをダブルクリックし、表示された画面で変更できます。表示された画面で削除することもできます。

2.3. タイムテーブルを登録する

1日の再生スケジュールをタイムテーブルとして登録することで、別の日付のスケジュールとして使用（同期）できます。



1 保存したいタイムテーブルの日付の時間帯枠上のタイムテーブル枠内の「+」アイコンをクリックする。

「タイムテーブルを作成」の「新規タイムテーブル」画面が表示されます。

タイムテーブルを作成

新規タイムテーブル
既存タイムテーブルをコピー（同期）

タイムテーブル名

タイムテーブル色 ▼

追加する期間

上書き

オプション設定

曜日指定:

日
 月
 火
 水
 木
 金
 土

週指定:

第1週
 第2週
 第3週
 第4週
 第5週
 第6週

OK
キャンセル

項目	説明
タイムテーブル名	タイムテーブル名を設定します。
タイムテーブル色	タイムテーブル色を設定します。
追加する期間	タイムテーブルを追加する期間を指定します。
上書き	チェックを入れると、すでに設定されているスケジュールを上書きします。

オプション設定	同期するタイムテーブルを、繰り返して登録することができます。 曜日、週を指定します。
---------	-----------------------------------------------

2 各項目を設定して [OK] をクリックする。

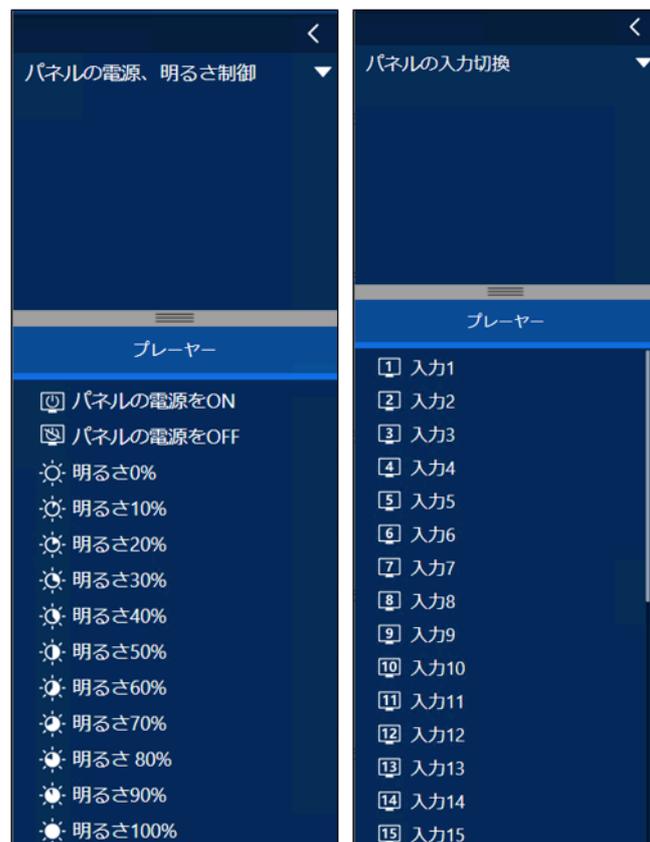
ご参考

タイムテーブルが既に登録されている場合は、「既存タイムテーブルをコピー（同期）」の画面から、タイムテーブルを登録できます。

2.4. パネル制御コマンド

パネル制御コマンド一覧

コマンド名	内容
パネルの電源を ON	パネル（ディスプレイ）の電源を ON にします。
パネルの電源を OFF	パネル（ディスプレイ）をスタンバイ状態にします。
明るさ 0% ~100%	パネルの明るさを設定します。
入力“番号”	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを切り換えます。
TV	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを「TV 入力」に切り換えます。 TV に切り換えたときのチャンネル指定はできません。 TV で直前まで選択されていたチャンネルが表示されます。



チャンネルセット

1. チャンネルセット

あらかじめチャンネルセットを表示端末側に配信してキーに登録しておく、通常配信コンテンツの表示中でも表示端末側のキー操作により、チャンネル登録したコンテンツフォルダーや番組に切り替えることができます。

チャンネルセットは複数のチャンネルの集まりで、各チャンネル番号には1つのコンテンツフォルダーまたは番組が登録されています。

ご参考

WEB サーバー版、Pro 版のみの機能です。

e-Signage Ver4.7 のプリセット番組と同じ用途ご利用いただけますが、e-Signage S のチャンネルセット機能では、番組だけでなく、コンテンツフォルダーも登録でき、また配信画面から配信できます。

1 ダッシュボード画面の【スケジュール管理】の右上にある  ボタンをクリックする。

【スケジュール管理】が【チャンネルセット管理】に変わります。



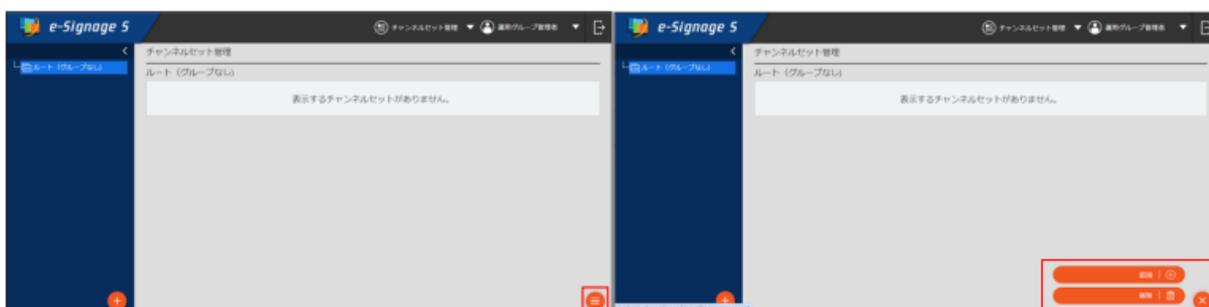
2 【チャンネルセット管理】をクリックする。

チャンネルセット管理画面が表示されます。



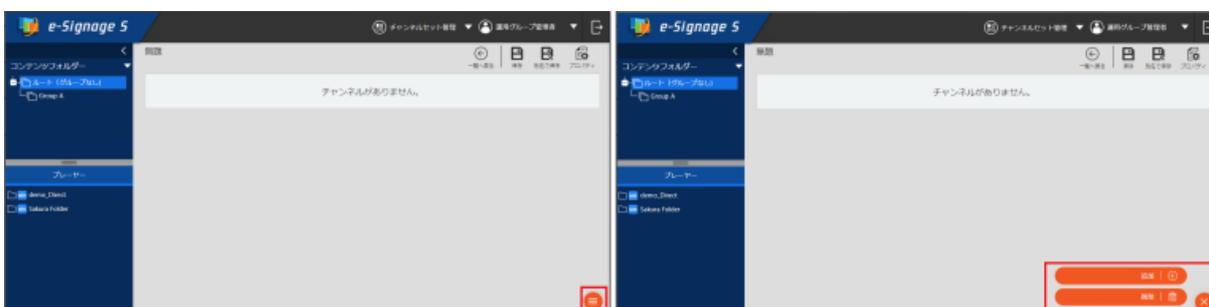
3 画面右下の  ボタンをクリックして、追加を選択する。

チャンネルセット編集画面が表示されます。



4 画面右下の  ボタンをクリックして、追加を選択する。

チャンネルの追加画面が表示されます。



5 [チャンネル番号] を入力し、OK をクリックする。

チャンネルが登録されます。



6 登録したいコンテンツフォルダーや番組をドラッグ&ドロップする。
コンテンツフォルダーや番組がチャンネルに割り当てられます。



7 [保存] をクリックする。
チャンネルセットの保存画面が表示されます。



8 [チャンネルセット名] を入力して、チャンネルセットを保存する。

チャンネルセットの保存

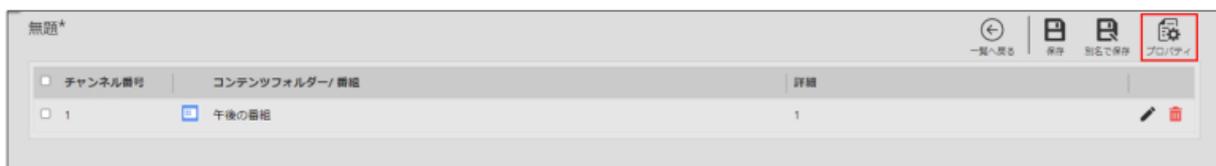
チャンネルセット名 1

チャンネルセット色 #FFFFFFAA

保存 キャンセル

ご参考

チャンネルセット編集画面のプロパティボタンより、「チャンネルセット名」と「チャンネルセット色」を編集することが出来ます。



チャンネルセットのプロパティ

チャンネルセット名 チャンネル1

チャンネルセット色 #FFFFFFAA

OK キャンセル

9 配信画面の左のエリアの カテゴリ選択ボタンをクリックして、「チャンネルセット」を選択する。

登録されているチャンネルセットのリストが表示されます。

e-Signage 5

配信 2024/06/26 2024/06/25 配信状況

すべてのパネル

すべてのパネル: 0 / 2 パネル 選択中

パネル名	配信データ	6/26 (水)	6/27 (木)	6/28 (金)	6/29 (土)	6/30 (日)	7/1 (月)	7/2 (火)	7/3 (水)	7/4 (木)
1	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ZP35	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-

チャンネルセット

ルート (グループなし)

プレイヤー プレイヤー A1

1

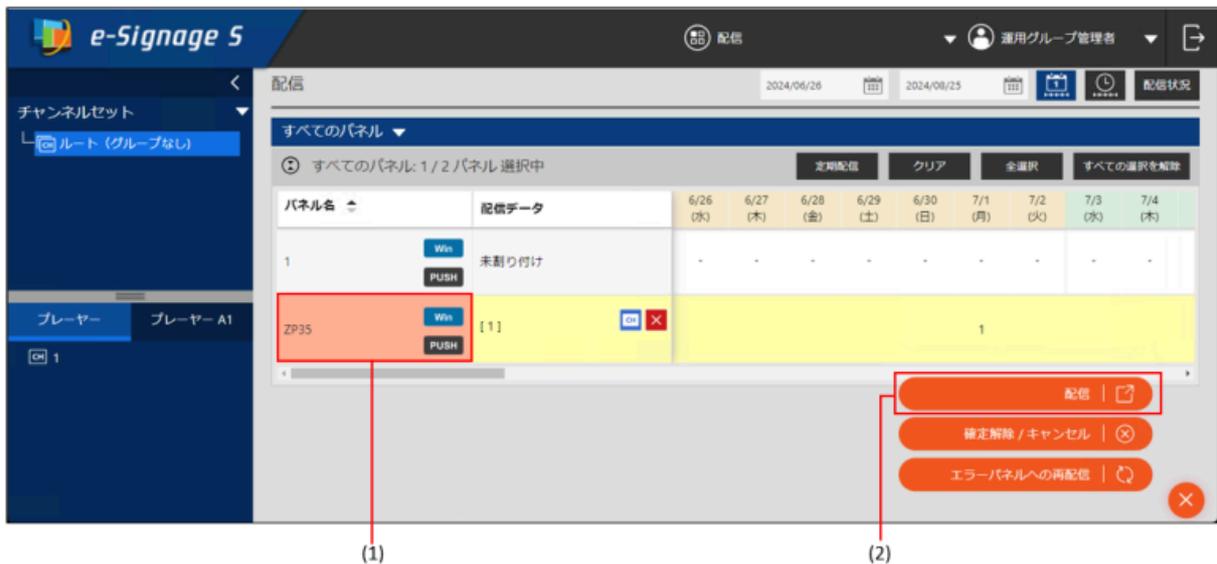
10 配信したいパネルにチャンネルセットをドラッグ&ドロップする。

パネルにチャンネルセットが割り付けられます。



11 パネルをクリックして選択状態にした上で、画面右下の ボタンをクリックして、「配信」を選択する。

プレーヤーにチャンネルセットが配信されます。



(1) パネルをクリックして選択状態にする。

(2) 「配信」をクリックする。

以降は、「表示用PC」での操作手順になります。

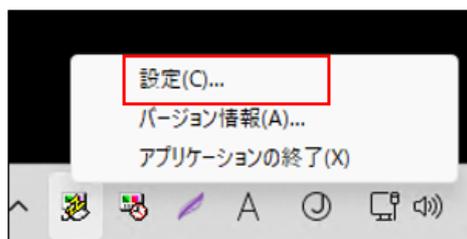
12 [SHARP e-Signage S 各種ツール] から [キー/ マウス連携ツール] を選択する。

タスクバーに  アイコンが表示されます。（常駐アプリとして起動します。）



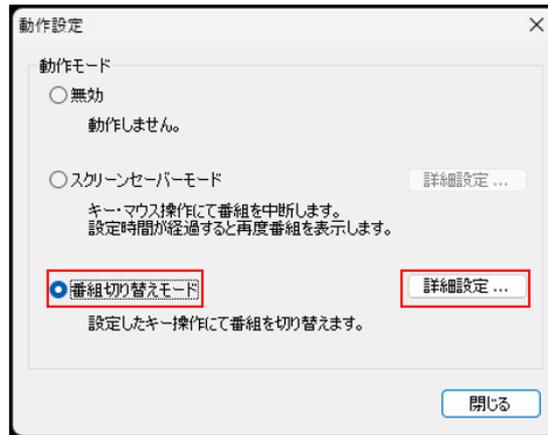
13 タスクバーのアイコンを右クリックして [設定] を選びます。

動作設定の画面が表示されます。



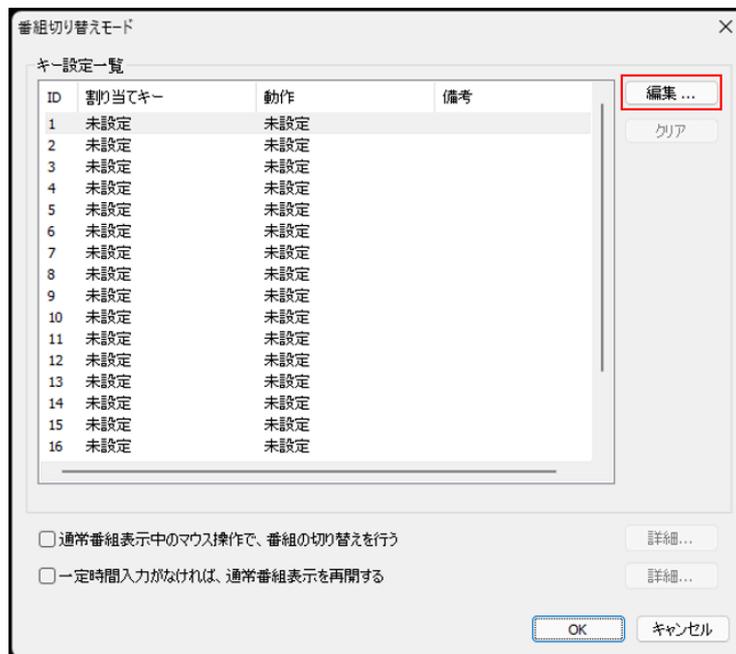
14 [番組切り替えモード] にチェックを入れて、[詳細設定] をクリックする。

番組切り替えモードの一覧画面が表示されます。



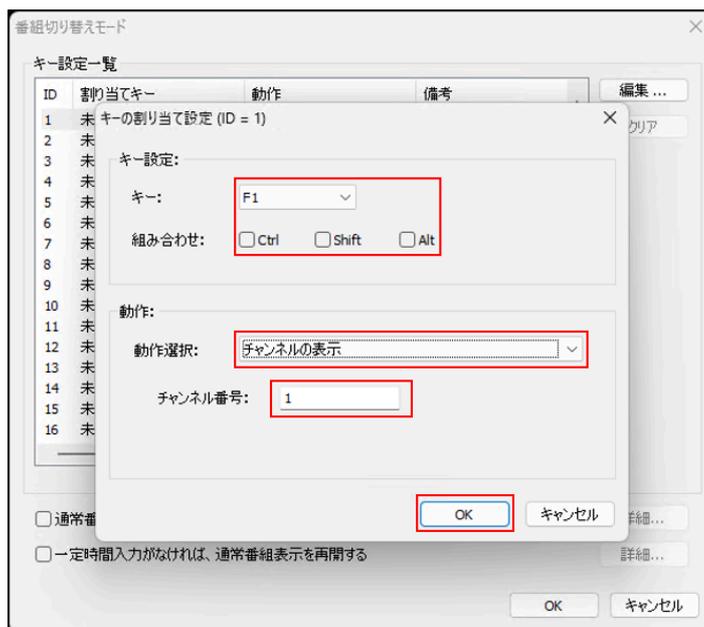
15 任意のID を選択して、[編集] ボタンをクリックする。

キーの割り当て設定画面が表示されます。



16 割り当てるキーを選択して、[動作選択] から [チャンネルの表示] を選び、[チャンネル番号] を入力して、OK をクリックする。

配信したチャンネルセットがキーに割り当てられました。



17 任意のタイミングで割り当てたキーを押して再生する。

注意事項

- プレーヤー-A1 /プレーヤー-A1 ePosterでは、この機能をご利用いただくことができません。

配信編

配信

登録しているパネルに配信データを割り付けて配信します。

パネルごとに今すぐ/日時指定配信、パネルグループごとに定期配信することができます。

1. 基本画面について

パネルグループごとの配信情報を確認することができます。

配信データ選択エリアのコンテンツフォルダグループ名をクリックすると、そのコンテンツフォルダグループに属するコンテンツフォルダが下側に表示されます。

パネル名	配信データ	6/26 (水)	6/27 (木)	6/28 (金)	6/29 (土)	6/30 (日)	7/1 (月)	7/2 (火)	7/3 (水)	7/4 (木)
1	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ZP35 SubPanelGroup	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ZP35-PULL SubPanelGroup	Win PULL 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 SubPanelGroup > Sub2	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 SubPanelGroup > Sub2 > ...	Win PUSH 未割り付け	-	-	-	-	-	-	-	-	-

配信データ選択エリア

パネル表示エリア

1.1. 配信データ選択エリア

(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) カテゴリ選択ボタン

コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、e-Signage 形式スケジュール、チャンネルセットから、割り付ける配信データのカテゴリを選択します。

(3) グループ選択エリア

カテゴリの選択に応じたグループが表示されますので、グループを選択します。

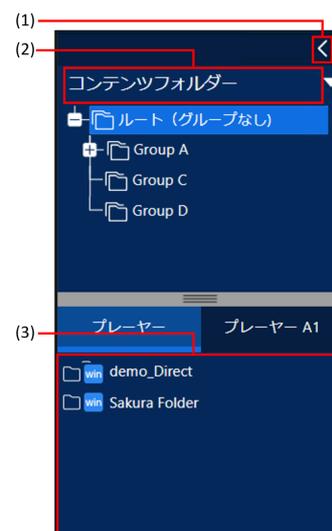
(例：コンテンツフォルダーが選択されている場合には コンテンツフォルダグループが表示されます。番組が選択されている場合には 番組グループが表示されます。)

(4) プレーヤータイプ選択ボタン

割り付ける配信データのプレーヤータイプを選択します。

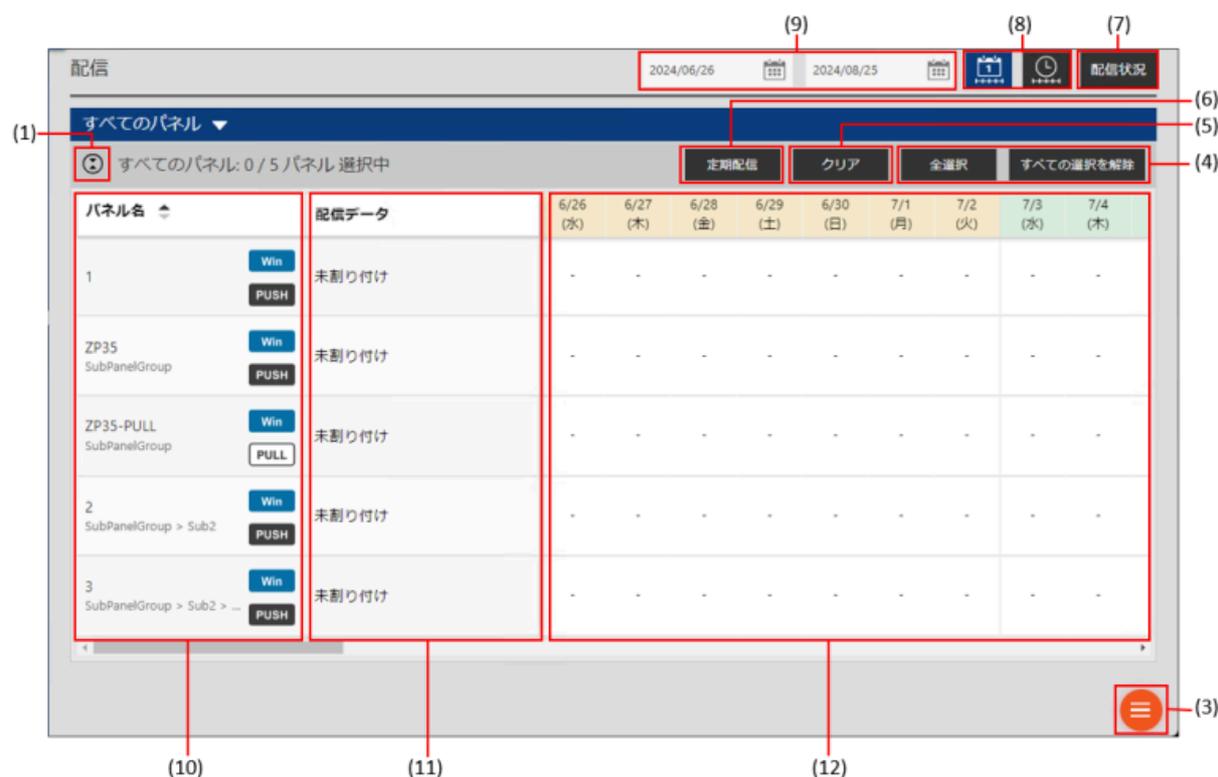
(5) データ選択エリア

選択したカテゴリ、グループ、プレーヤータイプに応じたデータが表示されますので、割り付ける配信データを選択します。



1.2. パネル表示エリア

パネル表示画面

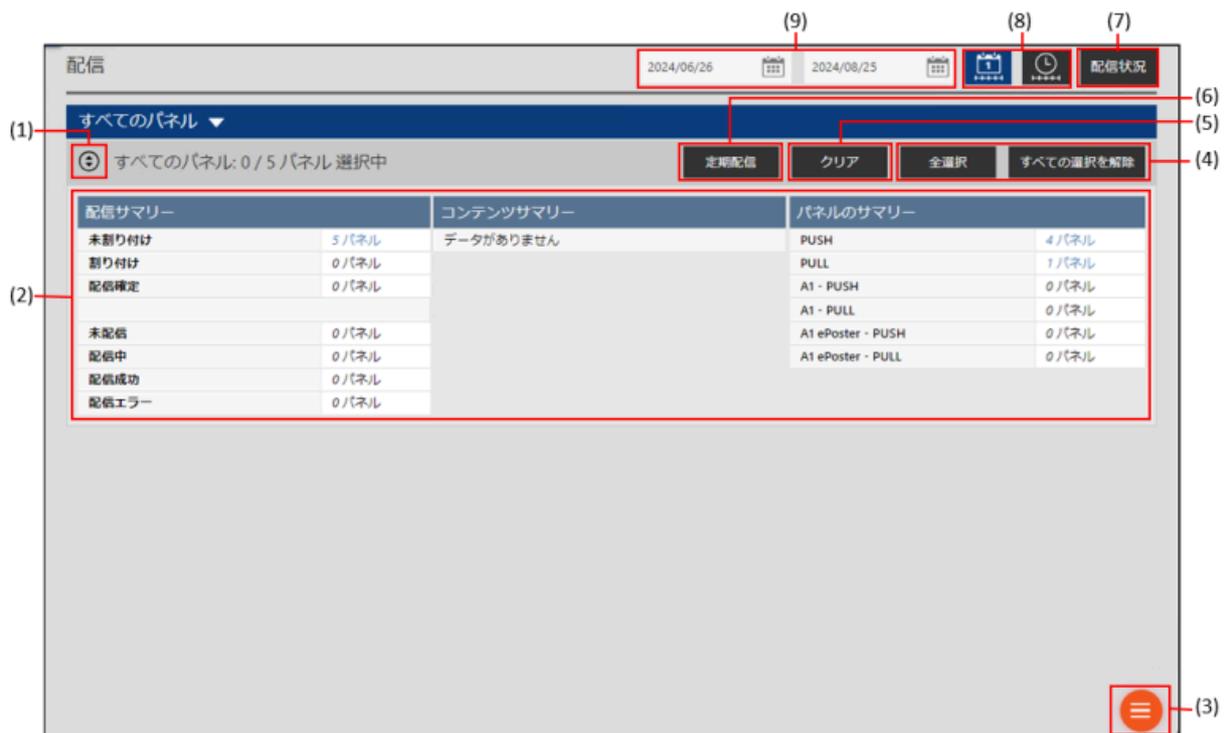


※ 日単位表示の画面例です。

パネル表示画面では、パネル名の ▲ または ▼ または ▲ をクリックすることで、並び替えが可能です。

画面を閉じると、デフォルトの並び順に戻ります。

サマリー表示画面



(1) 表示切換ボタン（サマリー表示/ パネル表示）

サマリー表示画面とパネル表示画面を切り換えます。

(2) サマリー表示エリア

「(1) 表示切換ボタン」をクリックすることで表示が切り換わります。

サマリー表示画面では、配信状況（配信サマリー）の他、コンテンツやパネルの情報を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだパネル表示画面が表示されます。

パネル表示画面で、各パネルに配信データを割り付けます。

(3) メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。

	スケジュールを確定し、配信を予約します。 スケジュールを確定するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルに割り付けられ確定したスケジュールの確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。

ご参考

配信待ち・配信中のスケジュールを解除するときは、 でキャンセルしてください。

(4) すべてを選択/ すべての選択を解除ボタン

表示しているすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

(5) クリアボタン

スケジュールを割り付ける前の状態に戻します。

割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。配信が確定しているスケジュールは、解除してから操作してください。

(6) 定期配信ボタン

クリックすると、定期配信設定画面が表示され、各パネルグループの定期配信設定の追加や削除、設定の確認ができます。

配信承認機能を有効にしている場合は表示されません。

日	月	火	水	木	金	土	
	06:00	06:00	06:00	06:00			X
15:00					15:00	15:00	X

定期配信設定画面の左エリアで、設定を追加したいパネルグループを選択すると、設定が右上のエリアに表示されます。新規配信時刻と曜日を設定して「追加」をクリックすると、設定を追加できます。

右上エリアの  ボタンをクリックすると、設定を削除できます。

「他のパネルにも追加」「他のパネルグループの配信設定も一括削除」チェックボックスにチェックすると、複数のパネルグループの設定をまとめて追加・削除できます。

(7) 表示切替ボタン（配信画面／配信状況画面）

配信画面と配信状況画面を切り換えます。

(8) 表示単位

パネル表示画面の日単位表示 () と時間単位表示 () を切り換えます。

(9) 表示範囲

配信スケジュールを表示する範囲を選択します。

<p>日単位表示</p> <p>2024/06/26  2024/08/25 </p>	<p>表示する日 (開始日と終了日) を指定します。</p> <p>クリックして表示されるダイアログボックスから選択してください。</p>
<p>時間単位表示</p> <p>2024/06/26  0:00 ~ 24:00</p>	<p>表示する日時を指定します。</p> <p>クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックし、開始時刻と終了時刻をプルダウンメニューから選択してください。</p>

(10) パネル名

パネル名が表示されます。

パネル名の横にパネル種別と配信方式がアイコンで表示され、パネル名の下にパネルグループ名が表示されます。

(11) 配信データ

割り付けられている配信データの情報が表示されます。

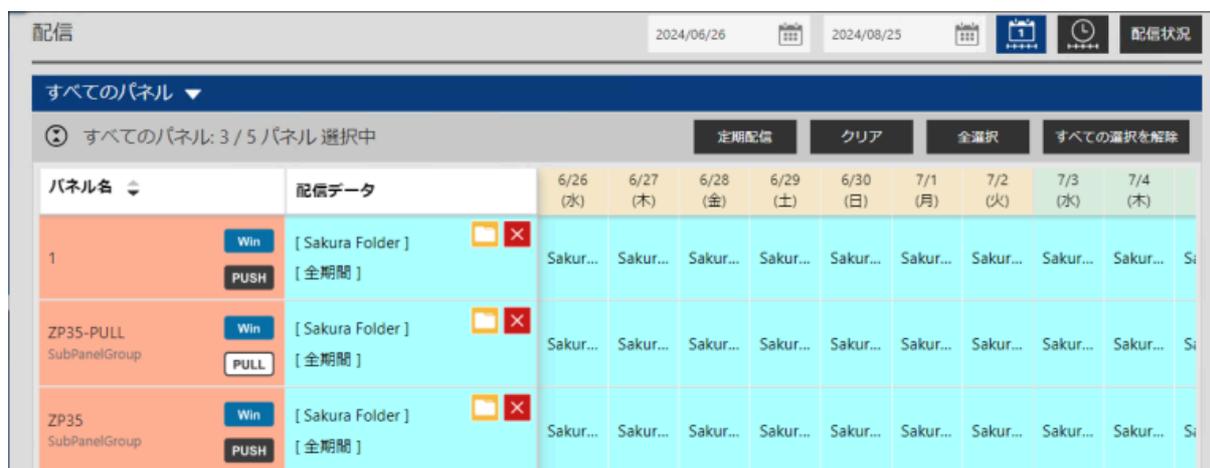
(12) 配信スケジュール

パネルに割り付けられている配信スケジュールの情報が表示されます。

2. 配信する／配信を予約する

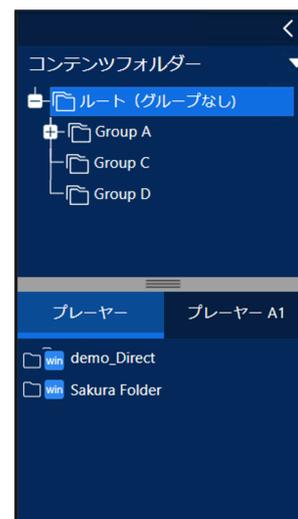
配信データをパネルに割り付けて配信したり、配信を予約したりします。

1 パネル表示画面に切り換え、配信データを割り付けたいパネルを表示する。



配信		2024/06/26	2024/08/25			配信状況								
すべてのパネル ▼		すべてのパネル: 3 / 5 パネル 選択中								定期配信	クリア	全選択	すべての選択を解除	
パネル名	配信データ	6/26 (水)	6/27 (木)	6/28 (金)	6/29 (土)	6/30 (日)	7/1 (月)	7/2 (火)	7/3 (水)	7/4 (木)				
1	[Sakura Folder] [全期間]	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...				
ZP35-PULL SubPanelGroup	[Sakura Folder] [全期間]	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...				
ZP35 SubPanelGroup	[Sakura Folder] [全期間]	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...	Sakur...				

2 配信データ選択エリアで割り付けたい配信データを表示する。



ご参考

e-Signage 形式のスケジュールをアップロードしておくことで、割り付けることができます。

3 配信対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。

4 配信データをパネル表示エリアの配信するパネル名にドラッグ& ドロップする。

5  →  の順にクリックする。

設定画面が表示されます。

6 すぐに配信する場合は、「今すぐ配信する」を選択する。

配信を予約する場合は、「指定した日時に配信する」を選択し、日時を指定する。

7 必要に応じて配信オプションにチェックをつける。

項目名	説明
配信開始前に表示用端末の電源を ON する	表示用端末が起動していないとき、表示用端末の電源を入れた後で配信します。 PULL 型配信では選択できません。
配信終了後に表示用端末の電源を OFF する	配信を終了した後で、表示用端末の電源を切ります。

配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する	未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済みコンテンツは配信しません。
-------------------------	-----------------------------------------------------------------

8 [OK] をクリックする。

配信が確定し、割り当てられたコンテンツに確定マーク（）が表示されます。

ご参考

- 配信が正しく行われたかどうか、配信状況画面で確認してください。
 - 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。
 - 過去の配信データは配信されません。本日以降の配信データが配信されます。
 - 配信できるスケジュール（番組やコンテンツを含みます）の最大合計サイズは16GB、個々のコンテンツの最大サイズは4GBです。それを超えるデータは配信できません。
- プレーヤーA1の場合、配信先に（配信ファイルサイズ）× 3+200MBの空き容量が必要です。

※詳細は各プレーヤーA1補足説明書をご覧ください。

3. 配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。

1 パネル表示エリアで (7)表示切換ボタン（配信画面／配信状況画面）をクリックする。

配信		更新	配信画面
すべてのパネル ▼			
すべてのパネル: 3 / 5 パネル 選択中		定期配信	クリア
		全選択	すべての選択を解除
パネル名	配信データ	フェイズ1 (配信確定)	フェイズ2 (配信スケジュール)
1	Win [Sakura Folder] PUSH [全期間]	[Sakura Folder] 配信確定: 2024/06/26 20:12	配信予定: 2024/06/26 20:12
ZP35-PULL SubPanelGroup	Win [Sakura Folder] PULL [全期間]	[Sakura Folder] 配信確定: 2024/06/26 20:12	配信予定: 2024/06/26 20:12
ZP35 SubPanelGroup	Win [Sakura Folder] PUSH [全期間]	[Sakura Folder] 配信確定: 2024/06/26 20:12	配信予定: 2024/06/26 20:12
			フェイズ3 (配信開始)
			開始: 2024/06/26 20:13
			開始: 2024/06/26 20:13
			開始: 2024/06/26 20:13

2 配信状況を確認する。

フェイズ 1 (配信確定)	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ2 (配信 スケジュール)	配信が予約されている日時が表示されます。
フェイズ 3 (配信開始)	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 4 (配信完了)	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

3 必要に応じて をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない配信データの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

USB メモリー/SD メモリーカード配信

1. USB メモリー/SD メモリーカードを用いた配信

- 1 左のエリアの カテゴリ選択ボタンをクリックして、配信するデータのカテゴリ（「コンテンツフォルダー」「番組」「スケジュール」または「チャンネルセット」）を選択する。
- 2 配信するデータが保存されている グループを選択する。
- 3 「プレーヤー」または「プレーヤー A1」を選択し、配信するデータを表示する。
- 4 配信するデータを右のエリアの破線枠内に ドラッグ&ドロップする。
- 5 右上の [更新] ボタンをクリックする。
- 6 「ユーティリティの起動」に表示されたアイコンをクリックする。

配信データによってはパッケージ（書庫）ファイルの作成に時間がかかり、すぐにアイコンが表示されない場合があります。その場合は、再度 [更新] ボタンをクリックしてみてください。

- 7 書き出し先のドライブを選択し、[OK] をクリックする。
- 8 デバイスの停止を確認する画面が表示されるため、[はい] をクリックし、デバイスを取り出す。
- 9 配信する表示用端末に、書き込みを行った外部記憶装置を挿入する。

自動的にデータが配信され、完了するとUSB メモリーなどの外部記憶装置は自動的に停止します。メッセージを確認し、取り外してください。

ご参考

- 転送が完了するまで、USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外さないでください。
- USB メモリーなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。
- 「通常モード」に設定してください。「コンテンツ直接配信モード」に設定していると配信できません。
- プレーヤーA1 の場合、他のアプリケーションの画面が表示されていると、表示用端末にUSB メモリー/SD カードを挿入しても配信が行われません。プレーヤーA1 を起動し、プレーヤーA1 の設定画面やサインージ再生画面を表示させてから、USB メモリー/SD カードを挿入してください。
- 1 つの外部メモリーに対して、プレーヤーとプレーヤーA1 向けのデータを同時に格納することはできません。既にプレーヤー向けのデータが格納されている外部メモリーに対してプレーヤーA1 向けのデータを配信すると、プレーヤー向けのデータは外部メモリーから削除されます。

1.1. WEB クライアント使用時の配信

1 左のエリアの カテゴリ選択ボタンをクリックして、配信するデータのカテゴリ（「コンテンツフォルダー」「番組」「スケジュール」または「チャンネルセット」）を選択する。

2 配信するデータが保存されている グループを選択する。

3 「プレーヤー」または「プレーヤー A1」を選択し、配信するデータを表示する。

4 配信するデータを右のエリアの破線枠内に ドラッグ&ドロップする。

5 右上の [更新] ボタンをクリックする。

6 「ダウンロード」に表示されたアイコンをクリックする。

書庫ファイル（拡張子.cab）をダウンロードします。ダウンロード先は、使用しているブラウザの設定を確認してください。

7 SHARP e-Signage S 各種ツールから外部メモリー書き出しツールを起動します。

8 表示されたダイアログからダウンロードした書庫ファイルを開きます。

9 書き出し先のドライブを選択し、[OK] をクリックする。

10 デバイスの停止を確認する画面が表示されるため、[はい] をクリックし、デバイスを取り出す。

11 配信する表示用端末に、書き込みを行った外部記憶装置を挿入する。

自動的にデータが配信され、完了するとUSB メモリーなどの外部記憶装置は自動的に停止します。メッセージを確認し、取り外してください。

緊急配信

1. 臨時番組

臨時に番組を配信したり、その配信状況を確認したりすることができます。
番組停止コマンドを配信し、臨時番組を途中で止めることもできます。

ご参考

- 画面と操作方法は、「配信」と共通です。
- WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

1.1. 臨時番組を配信する

臨時番組をパネルに割り付けて配信します。

1 臨時番組配信画面で、「配信する／配信を予約する」手順1～5と同様に操作を行う。

設定画面が表示されます。

2 臨時番組の表示開始方法を選択する。

臨時番組の表示時刻と表示時間の指定

臨時番組の表示時刻

配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する

指定時刻に臨時番組の表示を開始する

20 : 40

再生時間 00 時間 01 分

配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する

配信データ再生前後にパネル制御を行う

OK キャンセル

項目名	説明
配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する	配信終了後、すぐに番組を表示します。
指定時刻に臨時番組の表示を開始する	設定した時刻に番組を表示します。
再生時間	再生時間を設定します。

3 必要に応じて配信オプションにチェックをつける。

項目名	説明
配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する	未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済みコンテンツは配信しません。

配信データ再生前後にパネル制御を行う	チェックを入れると、下記の項目が表示されます。	
	配信データ再生前にパネルの電源を ON する	パネルの電源を入れた後、臨時番組を再生します。
	配信データ再生前にパネルの入力を以下に切り換える	指定の入力に変えた後で、臨時番組を再生します。
	配信データ再生後にパネルの電源を OFF する	臨時番組の再生が終了した後、パネルの電源を切ります。
	配信データ再生後にパネルの入力を以下に切り換える	臨時番組の再生が終了した後、指定の入力に変えます。

4 [OK] をクリックする。

配信が確定し、割り付けデータに確定マーク () が表示されます。

ご参考

- 既に時刻が過ぎていた場合、臨時番組は表示されません。
- 臨時番組の表示終了後、通常番組の表示に変わります。臨時番組が終了した時刻に本来表示されているはずの番組が始めから表示されます。
- 臨時番組の終了は、毎分丁度(00 秒) に確認されます。臨時番組の表示が終わり本来の番組が始まるのは、臨時番組終了後の最初の00 秒時点となります。
- 臨時番組は、1 パネルにつき1 つしか割り付けできません。
- 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。

1.2. 配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。

1 配信状況を確認する。

フェイズ 1 (配信確定)	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2 (配信開始)	配信を開始した日時が表示されます。

フェイズ 3 (配信完了)	配信が完了した日時が表示されます。配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。
-----------------	------------------------------------------------

2 必要に応じて  をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない配信データの配信を中止し、確定を解除します。配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

1.3. 臨時番組を停止する

表示用端末で再生されている臨時番組を停止することができます。

- 1 対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。
- 2 確定を解除する
- 3 配信データ選択エリアから、[停止コマンド] をパネル表示エリアへドラッグ&ドロップする。
- 4 配信する。



2. 緊急テロップ

臨時にテロップを配信したり、その配信状況を確認したりすることができます。

ご参考

WEB サーバー版、Pro 版のみの機能です。

- 1 配信データ選択エリア (左側) で、 →  の順に選択する。

テロップファイル追加の画面が表示されます。

- 2 緊急テロップ用ファイルを作成する。

作成手順は、「テロップを作成する」と同様です。

- 3 配信データをパネル表示エリア (右側) の配信するパネル名にドラッグ&ドロップする。

- 4 パネル表示エリアで、 →  の順に選択する。

配信が確定し、割り付けデータに確定マーク () が表示されます。

ご参考

- 緊急テロップの表示位置は、表示用端末のe-Signage クライアントスケジューラで指定します。
- 緊急テロップ表示中は、もとの番組で表示されていたテロップは表示されません。
- 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。
- 配信データ選択エリア（左側）で、 →  の順に選択して、e-Signage 形式の緊急テロップをアップロードすることができます。

2.1. 配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。

1 配信状況を確認する。

フェイズ 1 (配信確定)	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2 (配信開始)	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 3 (配信完了)	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

2 必要に応じて をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない緊急テロップの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに緊急テロップを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

2.2. 緊急テロップを停止する

表示用端末で再生されている緊急テロップを停止することができます。

- 1 対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。
- 2 確定を解除する
- 3 配信データ選択エリアから、[停止コマンド] をパネル表示エリアへドラッグ&ドロップする。
- 4 配信する。



状態管理・制御編

監視・制御

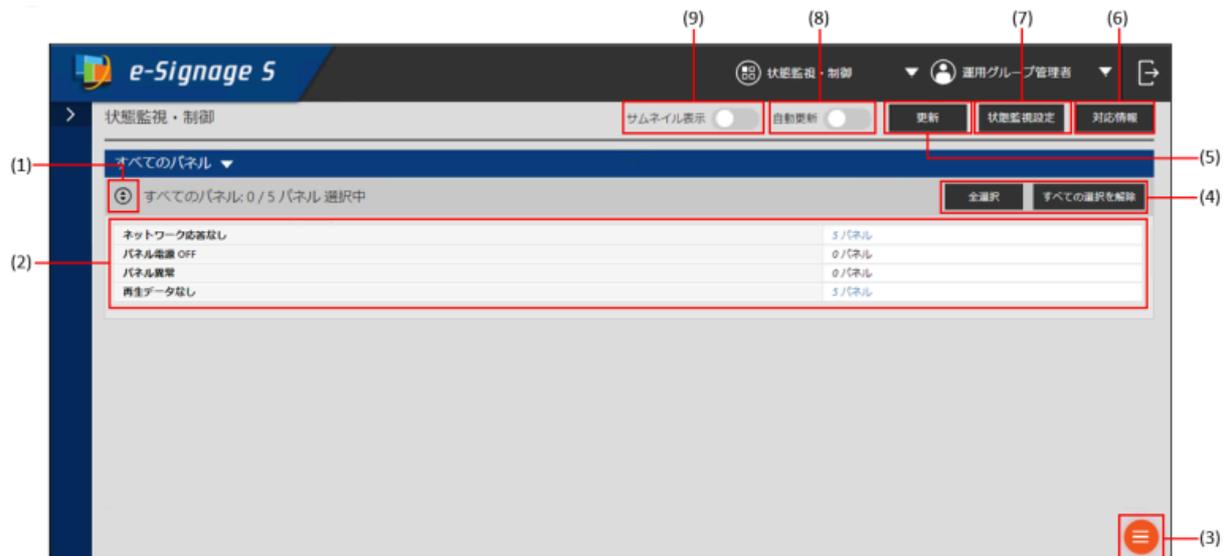
パネルの状態を取得し、確認することができます。

また、表示用端末やパネルの電源などを制御することができます。

ご参考

- パネルの状態監視（ディスプレイ状態監視）は、インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）、タッチディスプレイで利用できます。
- WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

1. 基本画面について



(1) 表示切替ボタン

クリックすると、サマリー表示とパネル表示画面を切替えます。

状態監視・制御						
		サムネイル表示 <input type="checkbox"/>	自動更新 <input type="checkbox"/>	更新	状態監視設定	対応情報
すべてのパネル ▼						
すべてのパネル: 0 / 5 パネル 選択中					全選択	すべての選択を解除
パネル名 ▲	プレーヤーID ホスト名またはIPアドレス	状態監視の取得設定	通信状態	ネットワーク応答	パネル状態	
1 Win PUSH	1	自動更新しない ▼ 画面をキャプチャーしない	監視- 制御-	不明	取得する設定になってい	
ZP35 SubPanelGroup Win PUSH	ZP35	自動更新しない ▼ 画面をキャプチャーしない	監視- 制御-	不明	取得する設定になってい	
ZP35-PULL SubPanelGroup A1 PULL	@ZP35-PULL (未通知)	自動更新しない ▼ 画面をキャプチャーしない	監視- 制御-	不明	取得する設定になってい	

状態監視・制御画面では、パネル名の ▲ または ▼ をクリックすることで、並び替えが可能です。

画面を閉じると、デフォルトの並び順に戻ります。

次の項目が表示されます。

パネル名	パネル名が表示されます。 パネル名の横にパネル種別と 配信方式がアイコンで表示され、パネル名の下にパネルグループ名が表示されます。	
プレーヤー ID	パネルのホスト名または IP アドレスと更新日時が表示されます。	
状態監視設定	パネルごとに状態監視の取得設定の内容が表示されます。設定の変更は、クリックで表示されるメニューで行います。	
	自動更新する	パネルの自動監視を行う際、自動更新をするかしないかを設定します。
	自動更新しない	
	画面キャプチャする	パネルの状態を取得する際、表示用端末が表示している内容を画像として取得するかしないかを設定します。 取得した画像はサムネイル表示の際に表示されます。
画面キャプチャしない		
通信状態	状態監視と制御の通信状態が表示されます。	
ネットワーク応答	通信の結果、応答の有無が表示されます。	
パネル状態	取得したパネルの状態が表示されます。	
現在表示中のデータ	現在表示中のデータ名が表示されます。	

ファイルバージョン、ソフトウェアライセンス情報	表示用端末にインストールされている e-Signage S プレーヤーのバージョンおよびソフトウェアライセンス情報が表示されます。
PC システム情報	表示用端末のシステム情報が表示されます。
システムファイル、最終取得日時	表示用端末からシステムファイルを取得した日時を表示します。

(2) サマリー表示エリア

パネルの状態（ネットワーク応答なし、パネル電源OFF、パネル異常、再生データなし）ごとのパネル数を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだ状態表示の画面が表示されます。

(3) メニューボタン

制御メニューが表示されます。

状態監視の取得設定	パネルを選択して、複数パネルの状態監視の取得設定をまとめて行うことができます。
システムファイルを取得	表示用端末のシステムファイルを取得することができます。
端末制御	表示用端末の制御を行います。
パネル制御	パネルの制御を行います。
手動で状態を取得	監視通信を手動で実行します。
キャンセル	状態監視または制御を一時中断します。

(4) すべてを選択/ すべての選択を解除ボタン

表示しているすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

(5) 更新ボタン

状態の表示を更新します。

(6) 対応情報ボタン

パネル（インフォメーションディスプレイ）の各モデルが対応している機能や、入力切替時の入力番号を表示します。

(7) 状態監視設定ボタン

状態監視設定を行います。

(8) 自動更新ON/OFF ボタン

自動更新のON/OFF を切り換えます。

【自動更新する】に設定されているパネルの情報を定期的を取得し、表示します。
 情報を取得する間隔は、状態監視設定で変更することができます。

(9) サムネイル表示ON/OFF ボタン

サムネイル表示とリスト表示を切り換えます。

サムネイル表示では、画面をキャプチャする設定の場合、状態の表示画面で取得したパネルの画面がアイコンやサムネイルで表示されます。

1.1. 表示用端末 / パネルを制御する

1 制御したいパネルを選択する。

2  → [端末制御] または [パネル制御] の順に選択し、メニューを選んでクリックする。

制御メニュー	メニュー名	内容	プレーヤー	プレーヤーA1	プレーヤーA1 ePoster
端末制御	表示用端末の電源をON	選択したパネルの表示用端末の電源を ON します。PULL 型配信では行えません。	○	×	×
	表示用端末の電源をOFF	選択したパネルの表示用端末の電源を OFF します。	○	×	×
	表示用端末の再起動	選択したパネルの表示用端末を再起動します。	○	○	○
	表示用端末の時計合わせ	表示用端末の時計を管理用 PC の時刻に合わせます。	○	△*1	△*1
	再生を一時中断	選択したパネルの再生を一時中断します。	○	×	×
	再生を再開	選択したパネルで一時中断されている再生を再開します。	○	×	×
	チャンネル表示	選択したパネルに指定したチャンネルを表示します。	○	×	×
パネル制御	パネルの電源をON	選択したパネルの電源を ON します。	○	○	×
	パネルの電源をOFF	選択したパネルの電源を OFF します。	○	○	×
	パネルの明るさを変更	選択したパネルの明るさを変更します。	○	×	×
	パネルの入力切替	選択したパネルの入力を切り換えます。	○	○	×

パネルの入力をTVに切り換	選択したパネルの入力をTVに切り換えま	○	×	×
---------------	---------------------	---	---	---

*1: 機種によって対応が異なります。補足説明書をご覧ください。

確認メッセージが表示されます。

3 [OK] をクリックする。

処理が実行されます。

1.2. システムファイルを取得する

表示用端末のシステムファイルを取得することができます。（システムファイルはサービス技術者が使用します。）

1 システムファイルを取得したいパネルを選択する。

2 → [システムファイルを取得] の順に選択し、メニューを選んでクリックする。

メニュー名	内容
ログファイルの取得	ログファイルを取得します。
設定ファイルを取得	設定ファイルを取得します。
マイコンテンツリストを取得	マイコンテンツリストを取得します。
ネットワーク情報を取得	ネットワーク情報を取得します。
DirectX 情報を取得	DirectX 情報を取得します。
すべて取得	すべてのシステムファイルを取得します。

処理が実行されます。

ご参考

- 最新のシステムファイルのみ取得することができます。
- 表示用端末の状態、取得するファイルによっては、取得に時間がかかる場合があります。
- パネル状態の取得中は、システムファイルを取得することはできません。パネルの自動監視を行っている場合は、自動監視を停止してください。

1.3. 状態監視設定を行う

1 [状態監視設定] をクリックする。

状態監視設定画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

状態監視の取得設定

使用する状態取得機能

- パネル(PNシリーズ)の状態取得
- 現在表示中のデータ
- ライセンス情報とファイルバージョンの取得
- PCシステム情報の取得

自動更新時の状態取得間隔

取得間隔 5 分

OK キャンセル

メニュー名	内容
使用する状態取得機能	
パネル (PN シリーズ) の状態取得	チェックすると、表示用端末からパネルの情報を取得します。
現在表示中のデータ	チェックすると、表示用端末から現在表示している番組の情報を取得します。
ライセンス情報とファイルバージョンの取得	チェックすると、ライセンスコードとe-Signage S プレーヤーのファイルバージョンを取得します。
PC システム情報の取得	チェックすると、表示用端末から PC システム情報を取得します。
自動更新時の状態取得間隔	
取得間隔	自動更新時に状態取得する間隔を選びます。

ご参考

パネルの登録台数が多い場合、取得間隔内に状態の取得が行えない場合があります。その場合は、取得間隔をより広く設定してください。

パネル側データ確認

パネルに割り付けられた配信データの状況を取得し、確認することができます。

1. 基本画面について

ダッシュボード画面で [状態監視・制御] の  をクリックし、[パネル側データ確認] を選択します。



(1) 表示切替ボタン

クリックすると、サマリー表示と配信データ確認画面を切替えます。

(2) サマリー表示エリア

種別や配信方式ごとのパネル数を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだ配信データ確認画面が表示されます。

(3) メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。

	選択したパネルの配信データ状況を取得します。
	選択したパネルの配信データ状況の取得を中止します。

(4) すべてを選択/ すべての選択を解除ボタン

表示しているすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

(5) 表示単位

確認画面の日単位表示 () と時間単位表示 () を切り換えます。

<p>日単位表示</p> 	<p>確認画面に表示する日（開始日と終了日）を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから開始日（終了日）をクリックしてください。</p>
<p>時間単位</p> 	<p>確認画面に表示する日時を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックし、開始時刻と終了時刻をプルダウンメニューから選択してください。</p>

(6) 更新ボタン

配信データ確認画面の状態表示を更新します。

- 配信データの状況を確認する

1 確認したいパネルを選択する。

2  →  の順に選択する。

ユーザー管理編

ユーザー管理

ご参考

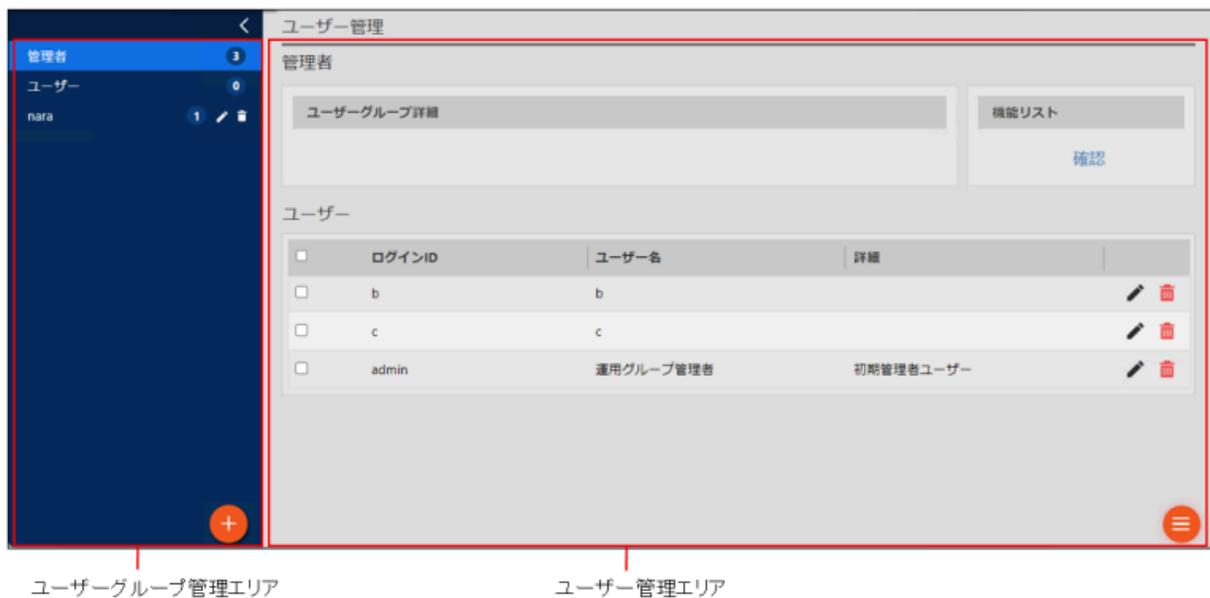
WEB サーバー版のみの機能です。

1. 基本画面について

管理用PC にログインするユーザー情報を管理します。

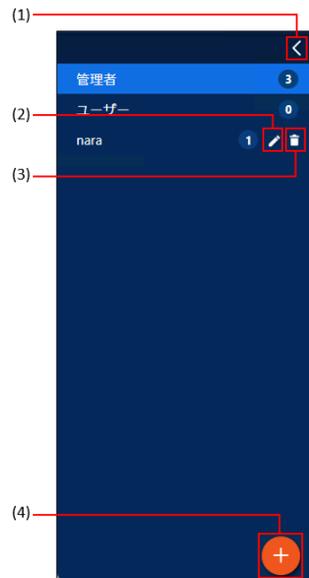
ユーザーグループを作成し、ユーザーを管理することができます。（マルチユーザー管理）

ユーザーグループ管理エリアのユーザーグループ名をクリックすると、そのユーザーグループに属するユーザーがユーザー管理エリアに表示されます。



2. ユーザーグループを管理する

2.1. ユーザーグループ管理エリア



(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) 編集ボタン

ユーザーグループの登録情報を編集します。

(3) 削除ボタン

ユーザーグループを削除します。

(4) 追加ボタン

ユーザーグループを追加します。

3. ユーザーグループを作成する

ユーザーグループごとに操作権限を設定することができます。

1 ユーザーグループ管理エリアの  をクリックする。

ユーザーグループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

ユーザーグループ作成

ユーザーグループ名

詳細

全機能

- 配信 [詳細](#)
- 即時番組配信 [詳細](#)
- 緊急テロップ配信 [詳細](#)
- コンテンツフォルダー管理 [詳細](#)
- 番組管理 [詳細](#)
- スケジュール管理 [詳細](#)
- チャンネルセット管理 [詳細](#)
- 状態監視・制御 [詳細](#)
- パネル側データ確認 [詳細](#)
- USBメモリー/SDメモリーカード配信 [詳細](#)
- ユーザー管理 [詳細](#)
- パネル管理 [詳細](#)
- システムログ [詳細](#)
- プレーヤー更新 [詳細](#)
- インポート [詳細](#)
- エクスポート [詳細](#)

項目名	説明
ユーザーグループ名 (必須)	グループの名称です。
詳細	ユーザーグループに関するコメントです。
全機能	チェックすると以下のすべての操作権限がチェックされます。
機能	チェックすると各項目を管理する権限が設定されます。(ユーザー権限管理)
配信	「詳細」をクリックすることで各項目の詳細を設定できます。
臨時番組配信	
緊急テロップ配信	
コンテンツフォルダー管理	
番組管理	
スケジュール管理	
チャンネルセット管理	
状態監視・制御	
パネル側データ確認	
USBメモリー / SDメモリーカード配信	
ユーザー管理	
パネル管理	

システムログ	
プレーヤー更新	
インポート	
エクスポート	

3 [追加] をクリックする。

4. ユーザーを管理する

4.1. ユーザー管理エリア

The screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) interface. At the top, there is a '管理者' (Administrator) section with 'ユーザーグループ詳細' (User Group Details) and '機能リスト' (Feature List) buttons. Below this is the 'ユーザー' (Users) section, which contains a table of users. The table has columns for 'ログインID' (Login ID), 'ユーザー名' (User Name), and '詳細' (Details). The 'admin' user is highlighted in blue. To the right of the table are edit and delete icons for each user. A menu button is located at the bottom right of the interface.

Callouts (1) through (9) point to the following elements:

- (1) Checkboxes in the 'ユーザー' table.
- (2) 'ログインID' column in the 'ユーザー' table.
- (3) 'ユーザー名' column in the 'ユーザー' table.
- (4) '詳細' column in the 'ユーザー' table.
- (5) Menu button at the bottom right.
- (6) Edit and delete icons for the 'admin' user.
- (7) Edit and delete icons for the '初期管理者ユーザー' (Initial Administrator User).
- (8) '確認' (Confirm) button in the '機能リスト' section.
- (9) 'ユーザーグループ詳細' (User Group Details) button.

(1) チェックボックス

複数のユーザーを削除するときに使用します。

(2) ログインID

ログインID を表示します。

(3) ユーザー名

ログイン時に表示されるユーザー名です。

(4) 詳細

登録した詳細情報が表示されます。

(5) メニューボタン

ユーザーの追加と、選択したユーザーの一括削除ができます。

(6) 編集ボタン

ユーザーの登録情報を編集します。

(7) 削除ボタン

ユーザーを削除します。

(8) ユーザーグループ詳細

ユーザーグループで設定した詳細が表示されます。

(9) 機能リスト

「確認」をクリックすると、ユーザーグループで設定した操作権限が確認できます。

5. ユーザーを作成する

1 ユーザーを追加したいユーザーグループを選択する。

2 ユーザー管理エリアの  をクリックする。

3 「追加」をクリックする。

ユーザー追加画面が表示されます。

4 各項目を入力する。

ユーザーの追加

ログインID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
ユーザーグループ	管理者
詳細	<input type="text"/>

項目名	説明
ログイン ID (必須)	ログイン時に入力するID です。
パスワード (必須)	ログイン時に入力するパスワードです。
ユーザー名 (必須)	ログイン時に表示されるユーザー名です。
ユーザーグループ (必須)	所属するグループ名を選択します。

詳細	ユーザーに関するコメントです。
----	-----------------

5 [追加] をクリックする。

パネル管理編

パネル管理

1. 基本画面について

パネルを管理します。

WEB サーバー版、Pro 版では、登録したパネルをグループごとに管理します。（パネルグループ管理）

パネルグループ管理エリアのパネルグループ名をクリックすると、そのパネルグループに属するパネルがパネル管理エリアに表示されます。

パネル管理画面では、下記項目の ▲ または ▼ または ⇅ をクリックすることで、並び替えが可能です。

対象項目：パネル種別、パネル名、配信方式、IP アドレスまたはプレーヤーID、MACアドレス

画面を閉じると、デフォルトの並び順に戻ります。



2. パネルグループを管理する

2.1. パネルグループ管理エリア

(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) 編集ボタン

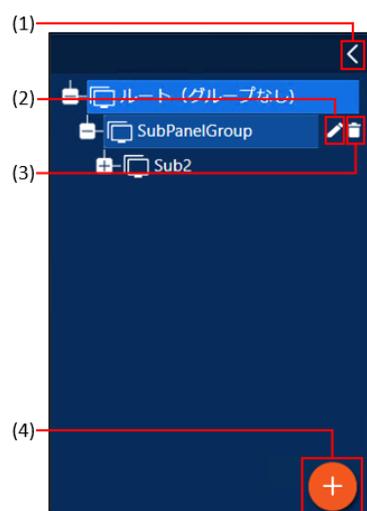
パネルグループの登録情報を編集します。

(3) 削除ボタン

パネルグループを削除します。

(4) 追加ボタン

パネルグループを追加します。



2.2. パネルグループを作成する

1 パネルグループ管理エリアの  をクリックする。

パネルグループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

項目名	説明
グループ名 (必須)	グループの名称です。
親グループ (必須)	属するグループを設定します。
アクセス権限 (必須)	アクセス権限を設定します。 ユーザーグループ名をクリックすることで、アクセス権限の有無を切り換えます。

アクセス権をすべての子グループに設定

チェックすると、下位層のすべての子グループに共通のアクセス権を設定します。

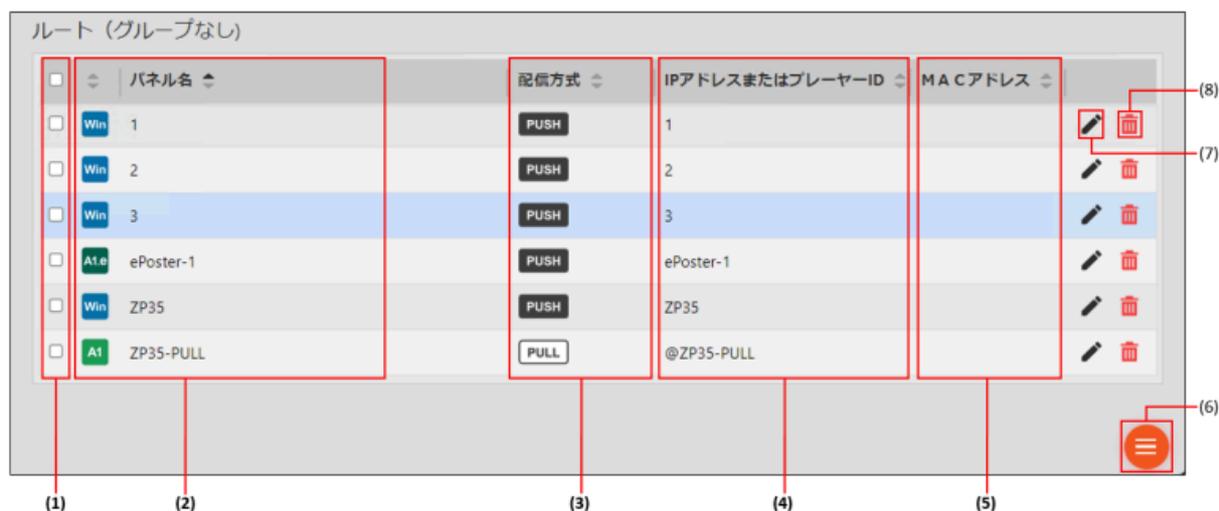
3 [追加] をクリックする。

3. パネルを管理する

3.1. パネル管理エリア

ご参考

管理できるパネルの数は、WEB サーバー版/Pro 版は最大1,000 台、ネットワーク版 は最大100 台です。



(1) チェックボックス

複数のパネルを削除するときに使用します。

(2) パネル名

パネル名とパネル種別を表示します。

(3) 配信方式

配信方式 (PUSH 型配信 / PULL 型配信) を表示します。

(4) IP アドレスまたはプレーヤーID

表示用端末のIP アドレスまたはプレーヤーIDを表示します。

(5) MAC アドレス

表示用端末のMAC アドレスを表示します。

(6) メニューボタン

パネルを追加するときに使用します。

複数のチェックボックスにチェックを入れて選択すると、一括削除のメニューが表示されます。

(7) 編集ボタン

パネルの登録情報を編集します。

(8) 削除ボタン

パネルを削除します。

パネル登録

1. パネルを登録する

1 パネルを追加したいパネルグループを選択する。

2 パネル管理エリアの  をクリックする。

3 「追加」をクリックする。

4 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。

パネル追加画面が表示されます。

5 各項目を設定する。

「プレーヤー」の画面例



「プレーヤー」の画面例。画面は「パネル追加 (プレーヤー)」と表示されています。各項目は番号で示されています。

- (1) パネル名
- (2) グループ + ルート (グループなし)
- (3) ホスト名またはIPアドレス
- (4) MACアドレス (※表示用端末の起動にはMACアドレスが必要です。)
- (5) 配信方式 (PUSH型配信 / PULL型配信)
- (6) FTP設定 (ユーザー: ftp, パスワード, ポート番号: 21)
- (7) 電源制御 (指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する。起動時刻, 終了時刻)
- (8) 時計合わせ (表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる。同期時刻)
- (9) 属性 (コメント1, コメント2, コメント3)

画面下部には「追加」および「キャンセル」ボタンがあります。

「プレーヤーA1」の画面例

パネル追加 (プレーヤー A1)

パネル名

グループ +

ホスト名またはIPアドレス

MACアドレス - - - - -

※ 表示用端末の起動にはMACアドレスが必要です。

属性

コメント1

コメント2

コメント3

ePoster (10)

配信方式

PUSH型配信

PULL型配信

FTP設定

ユーザー

パスワード

ポート番号

時計合わせ

表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる

同期時刻 00 : 00

項目名	説明
(1) パネル名 (必須)	パネルに識別しやすい名称を付けます。
(2) グループ	属するグループを選択します。
(3) ホスト名または IP アドレス / プレーヤー ID (必須)	<p>ホスト名または IP アドレス (PUSH 型配信)、プレーヤー ID (PULL 型配信) を入力します。</p> <p>PUSH 型配信 [固定 IP アドレス] : サーバーからアクセス可能な表示用端末のホスト名または IP アドレスを設定します。</p> <p>PULL 型配信 : "@”で始まるプレーヤー ID を設定します。</p>
(4) MAC アドレス	管理用 PC から表示用端末の電源を ON する場合は、表示用端末の MAC アドレスを入力します。
(5) 配信方式	配信方式を選択します。
	<p>PUSH 型配信 表示用端末へデータを送る場合に選択します。</p> <p>PULL 型配信 表示用端末が管理用 PC から定期的にデータを取得する場合に選択します。</p>
(6) FTP 設定 (PUSH 型配信のみ)	表示用端末の FTP サーバー設定で設定した「ユーザー名 (半角英数字 30 文字以内)」、「パスワード (半角英数字 30 文字以内)」、「ポート番号 (1 ~ 65535)」を入力します。

(7)	電源制御 ※ プレーヤーのみ	指定した時刻に表示用端末の電源を ON/OFF したい場合はチェックし、「起動時刻」と「終了時刻」を設定します。
(8)	時計合わせ	管理用 PC と表示用端末の時刻を合わせたい場合はチェックし、同期時刻を設定します。
(9)	属性	表示用端末のコメントを入力します。
(10)	ePoster ※プレーヤーA1のみ	チェックボックスにチェックを入れると「プレーヤーA1 ePoster」として登録されます。 チェックを外すと「プレーヤーA1」として登録されます。

6 [追加] をクリックする。

1.1. 承認待ちパネル（表示用端末）を登録する

PULL 型配信のパネルでは、表示用端末から送信された設定情報を元にパネルを登録（承認）することができます。

表示用端末での設定情報の送信は、e-Signage クライアントスケジューラの設定ダイアログボックスの [ネットワーク] タブで行います。

1 「登録要求」グループに表示されているパネル一覧から、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れ、[1 台ずつ登録] をクリックする。

パネルの登録画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

設定項目は「パネルを登録する」と同じです。

3 [登録] ボタンをクリックする。

ご参考

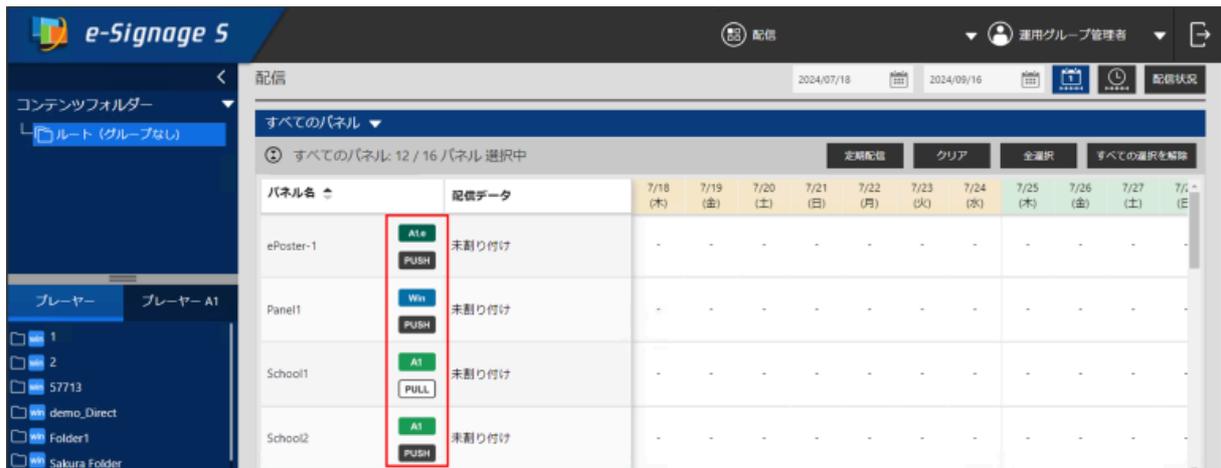
- パネルを一括登録したいときは、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れて [一括登録] をクリックし、パネルグループをプルダウンメニューから選択して「登録」をクリックします。
- プレーヤータイプのアイコン

プレーヤー（Windows端末）	
プレーヤーA1 (ePosterを除く組み込み端末)	
プレーヤーA1 ePoster	

- 配信方式のアイコン



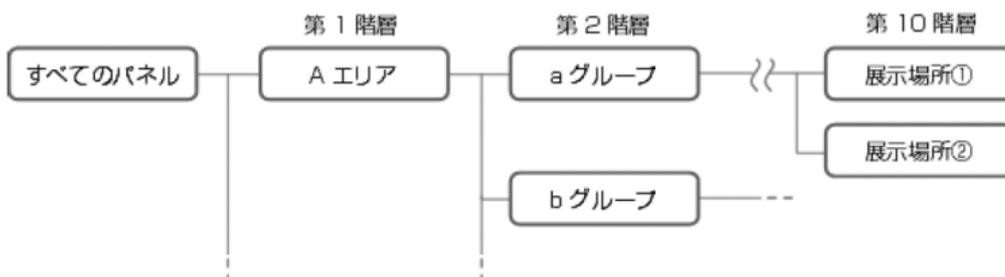
- 配信画面のプレーヤータイプアイコンと配信方式アイコンの表示例



2. パネルグループを階層管理する（WEB サーバー版/Pro 版）

WEB サーバー版およびPro 版で、登録したパネルをグループごとに管理する場合、階層化したパネルグループを作成できます。

- パネルグループの階層は、第10 階層まで作成できます。
- WEB サーバー版は、パネルグループごとにアクセス権限を設定できます。



ご参考

- パネルグループの[アクセス権限] に登録されたユーザーグループは、パネルグループを選択することで、そのパネルグループに属するパネルを閲覧できます。
[アクセス権限] に登録されていないユーザーグループは、パネルグループを選択しようとした場合に禁止アイコン  が表示され、そのパネルグループを選択したり、パネルグループに登録されているパネルを閲覧することができません。
- [アクセス権限] に登録されていないユーザーグループでも、階層化されたパネルグループの構成やパネルグループ名は確認することができます。アクセス権限が無いユーザーグループに、階層化されたパネルグループの構成やすべてのパネルグループ名を見せたくない場合は、別の運用グループを作成し、パネルグループを別で管理してください。
- パネルを選択した後で、パネルグループの階層を移動すると（パネルを選択したパネルグループとは異なるパネルグループを選ぶと）パネルの選択状態がリセットされ、パネルは非選択状態になります。

1 パネルグループ管理画面で をクリックする。

パネルグループの追加画面が表示されます。



2 追加するパネルグループを入力する。

パネルグループ名を入力し、親パネルグループ、アクセス権限を指定します。

下位層のすべての子パネルグループに共通のアクセス権限を設定する場合は、[アクセス権をすべての子グループに設定] をチェックします。



3 パネル管理エリアの  をクリックし、[追加] ボタンをクリックする。

プレーヤータイプの選択画面が表示されます。



4 [プレーヤー] を選択する。

サーバー設定ツールの「使用するプレーヤー」での設定によって、表示される選択肢が異なったり、選択画面が表示されない場合があります。



5 [パネル名]、[ホスト名またはIP アドレス] を入力し、パネルグループを選択して、[追加] をクリックする。

選択したパネルグループにパネルが追加されます。

パネル追加 (プレーヤー)

パネル名

グループ

- ルート (グループなし)
- A店舗
- 食品
 - パン**
 - 惣菜

ホスト名またはIPアドレス

MACアドレス - - - -

※ 表示用端末の起動にはMACアドレスが必要です。

属性

コメント1

コメント2

コメント3

配信方式

PUSH型配信

PULL型配信

FTP設定

ユーザー

パスワード

ポート番号

電源制御

指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する

起動時刻 :

終了時刻 :

時計合わせ

表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる

同期時刻 :

e-Signage 5

パネル管理

運用グループ管理者

パネル管理

インポート エクスポート デフォルトFTP設定

パン

パネル名	配信方式	IPアドレスまたはプレーヤーID	MACアドレス
ディスプレイ-30	PUSH	display-30	

以下は、パネルグループが所属する [親グループ] を変更する際の操作手順です。

1 親グループを変更したいパネルグループにマウスカーソルを重ねて、表示された  ボタンをクリックする。



2 パネルグループが所属する[親グループ] を変更し、[更新] ボタンをクリックする。



手順2 で指定した親グループの所属に、パネルグループが移動します。



以下は、パネルが所属するパネルグループを変更する際の操作手順です。

1 所属するパネルグループを変更したいパネルの  ボタンをクリックする。



2 パネルが所属する[パネルグループ]を変更し、[更新]ボタンをクリックする。



手順2 で指定した親グループの所属に、パネルグループが移動します。



以下は、階層管理機能が追加されたパネルグループを使用して配信する際の操作手順です。

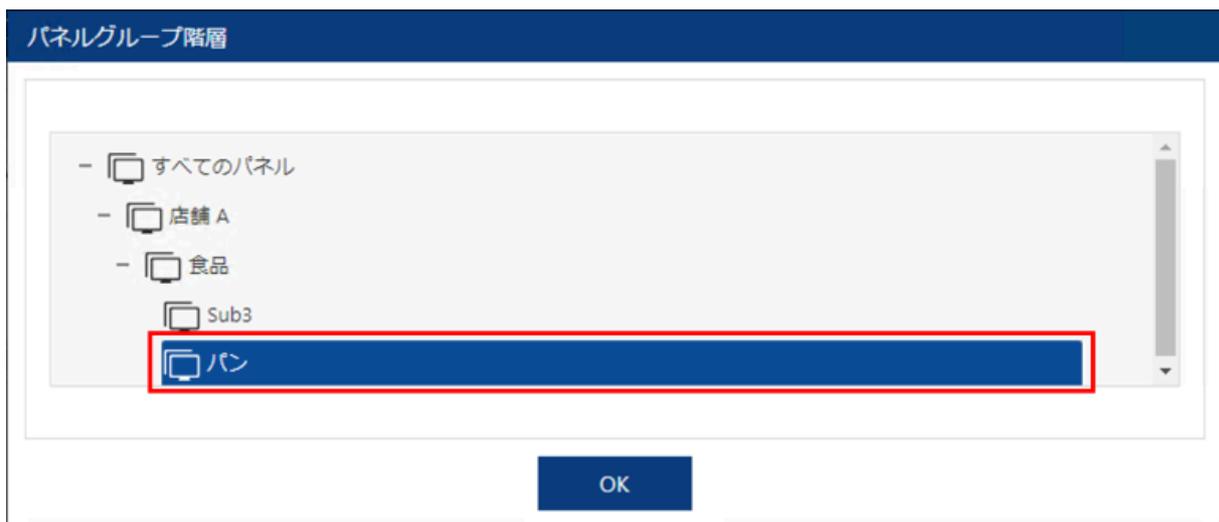
臨時番組配信、緊急テロップ配信、状態監視・制御、パネル側データ確認、プレーヤー更新についても配信と同じ操作で、階層管理されたパネルグループを表示できます。

1 [すべてのパネル] の ▼ をクリックする。

パネルグループ階層選択が表示されます。



2 パネルグループを選択した後、[OK] をクリックする。
そのパネルグループ階層に移動します。



パネル名の欄には、パネル名とそのパネルが登録されているパネルグループ階層を表示します。



パネルグループ階層は、子パネルグループを [>] マークで階層的に表示します。下の画面では、[食品] のパネルグループを選択していますので、その子パネルグループの [パン] に登録しているディスプレイ-30 の表示は、下図のようになります。



パネルのインポート／エクスポート機能

1. パネルデータのインポート／エクスポート

パネル管理に登録されているパネルのデータをCSV ファイル形式でインポート／エクスポートできます。この機能を利用することで、管理用PC を置き換える場合など、既存PCから 新規PCへ パネル管理に登録されているパネルのデータをコピーできます。

また、複数のパネルを一括して追加／編集する際、パネル管理に登録されているパネルのデータをCSV ファイル形式でエクスポートして、テキストエディタやExcel などの編集ソフトを使って効率的に追加／編集してインポートできます。



1.1. 既存PCから 新規PCへ パネル管理のデータを移動したい場合

既存の管理用PC に登録されているすべてのパネルをエクスポートして、新規の管理用PC にインポートします。

詳細な手順については、「既存PCから 新規PCへ パネル管理のデータを移す」を参照してください。

1.2. 複数のパネルを一括して追加・編集したい場合

パネル管理に登録されているすべてのパネルをエクスポートして、CSV ファイルとして保存、テキストエディタやExcel などの編集ソフトを使ってCSV ファイルを編集してから、エクスポート元の管理用PC へインポートします。

詳細な手順については、「複数のパネルを一括して追加する」を参照してください。

ご参考

- 新規の管理用PC または エクスポート元以外の管理用PC へのインポートは行わないでください。
- パネルのデータをエクスポートしてからインポートするまでの間、パネル管理の変更を行わないでください。パネルグループの構成（階層や名前）を変更すると、変更があったパネルグループに登録されていたパネルは、元のグループにインポートされず、[すべてのパネル] に登録されます。
- バックアップを取る目的でエクスポートしたファイルから、パネルのデータを復元させる場合は、あらかじめ、パネル管理に登録されているパネルとグループをすべて削除してから インポートしてください。
- インポートでは パネルの追加と登録パネルの変更のみ行うことができます、パネルの削除はできません。CSV ファイルからパネルを削除してインポートしても、パネルは削除されません。
- パネル管理画面で「作成」の権限がないユーザーは [インポート] ボタンが表示されません。
- インポートする時は、エクスポートしたユーザーと同じ権限でインポートしてください。

2. 既存PCから 新規PCへ パネル管理のデータを移す

既存の管理用PC から、パネル管理のデータをエクスポートする。

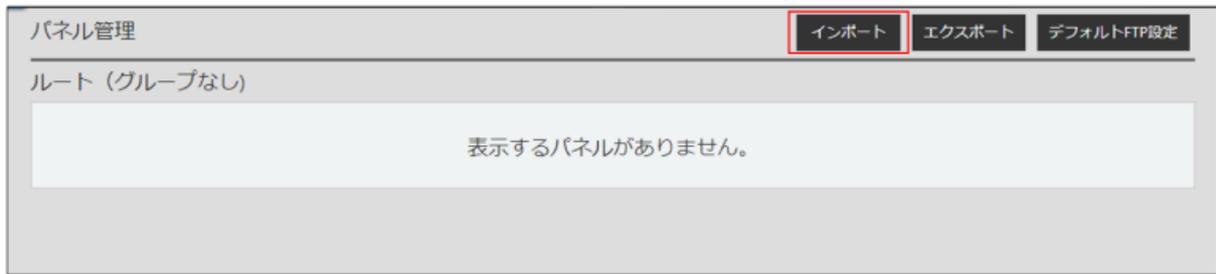
- 1 既存の管理用PC で、パネル管理画面を開く。
- 2 パネル管理画面の[エクスポート] をクリックする。



- 3 任意の保存先に CSVファイルを保存する。

既存の管理用PCからエクスポートしたCSVファイルを、新規の管理用PCへインポートします。

- 4 新規の管理用PCで、パネル管理画面を開く。
- 5 新規の管理用PCにパネルやグループが登録されている場合は、すべて削除して、空の状態にする。
- 6 パネル管理画面の[インポート] をクリックする。



7 手順3 で保存したCSV ファイルを選択し、インポートする。

パネルのデータがインポートされます。

ご参考

FTP パスワードについては、インポート後にデフォルトFTP パスワードに初期化されますので再設定する必要があります。

3. 複数のパネルを一括して追加する

インポート/エクスポート機能を利用して複数のパネルを追加する場合は、コピー&ペーストを活用する方法が便利です。

あらかじめ、コピー元となる見本のパネル（以降、見本パネル）を登録しておき、それを複製することで簡単に多くのパネルを追加することができます。

！ご注意

- エクスポートしたCSV ファイルをExcel で開く場合は、必ず「Excel を使用してエクスポートデータを開く」に従ってください。手順に従わないと、Excel の自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合があります。

1 見本パネルを1台以上登録する。

プレイヤータイプや配信方式、その他設定については、追加したいパネルの情報を設定します。

例では、次の2つの見本パネルを登録しています。

- （プレイヤータイプ：プレイヤー A1）×（配信方式：PULL）
- （プレイヤータイプ：プレイヤー）×（配信方式：PUSH）



2 パネルグループにパネルを登録する場合は、あらかじめ必要な数だけパネルグループを作成する。例では、「京都支部」「大阪支部」「奈良支部」「兵庫支部」の4 グループを作成しています。



3 [エクスポート] ボタンをクリックして、任意のフォルダーにCSV ファイルを保存する。



4 保存したCSV ファイルを編集ソフトで開く。

以下は、テキストエディタ（メモ帳）でCSV ファイルを開いた場合の例です。

- [Version Information] セクションは、CSV ファイルのデータフォーマットのバージョンです。
- [Panel Information] セクションは、パネルのデータです。
- [Group Information] セクションは、パネルグループのデータです。
- [User Information] セクションは、ユーザーグループのデータです。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0,"PN-B401(会議室用)",@conferenceroom,,,,,0,00:00:00,00:00:00,,,,SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING,,,0,00:00:00
0,"PN-ZP35(正面玄関用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
[Group Information]
1,大阪支部,0,0,0|1|2
2,京都支部,0,0,0|1|2
3,兵庫支部,0,0,0|1|2
4,奈良支部,0,0,0|1|2
[User Information]
0,スーパーバイザー
1,管理者
2,ユーザー
```

5 パネルを追加します。

以下の例では、5 行目の見本パネルをコピーして、6 行目にペーストしています。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0,"PN-B401(会議室用)",@conferenceroom,,,,,0,00:00:00,00:00:00,,,,SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING,,,0,00:00:00
0,"PN-ZP35(正面玄関用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
0,"PN-ZP35(正面玄関用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
[Group Information]
```



6 パネルの設定を変更する。

以下の例では、6 行目にペーストしたパネルを、「大阪支部」グループに変更するためにパネルグループID を「1」に変更しています。また、パネル名を「PN-ZP35(大阪用)」に、ホスト名またはIP アドレスまたはプレーヤーID を「192.168.150.70」に変更しています。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0,"PN-B401(会議室用)",@conferenceroom,,,,,0,00:00:00,00:00:00,,,,SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING,,,0,00:00:00
0,"PN-ZP35(正面玄関用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
1,"PN-ZP35(大阪用)",192.168.150.70,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
[Group Information]
```

※ 見本パネルから複製した行の3列目（ホスト名またはIP アドレスまたはプレーヤーID）は必ず変更してください。

パネルの設定方法は下記のとおりです。

その他の列と制限事項については、「CSV ファイルのデータフォーマットについて」を参照ください。

項目名	説明
1 ID	パネルを登録するパネルグループの ID を入力します。 「0」の場合は [すべてのパネル] に登録されます。Group Information の1列目の値を入れると2列目のグループ名のパネルグループに登録されます。

2	パネル名	プレーヤーを識別するためのパネル名を入力します。
3	ホスト名または IP アドレス またはプレーヤー ID	PUSH の場合はホスト名、IP アドレスを入力します。PULL の場合は1文字目が @ から始まるプレーヤー ID を入力します。ファイル内に重複がある場合はインポートできませんので、ご注意ください。特にパネル追加のため見本パネルから複製した行であれば必ず変更してください。

7 パネル管理画面で[インポート]をクリックして編集した CSV ファイルをインポートする。右のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックする。



以上の手順により、「大阪支部」グループにパネルが追加されます。



! ご注意

- エクスポートした CSV ファイルの [Group Information] セクションの編集は行わないでください。
[Group Information] のセクションが編集されると正しくインポートできなくなる場合があります。
- 個別の FTP パスワードが設定されているパネルをエクスポートすると、FTP パスワードが空の状態でもエクスポートされます。また、FTP パスワードが空の状態の CSV ファイルをインポートすると、デフォルト FTP パスワードが設定されます。

4. 複数のパネルを一括して編集する

インポート/エクスポート機能を利用して、複数のパネルを編集できます。

! ご注意

- エクスポートしたCSV ファイルをExcel で開く場合は、必ず「Excel を使用してエクスポートデータを開く」に従ってください。手順に従わないと、Excel の自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合があります。

1 [エクスポート] ボタンをクリックして、任意のフォルダーにCSV ファイルを保存する。



2 保存したCSV ファイルを編集ソフトで開く。

以下は、テキストエディタ（メモ帳）でCSV ファイルを開いた場合の例です。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
0,"PN-B401(会議室用)",@conferenceroom,,,,,0,00:00:00,00:00:00,,,SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING,,,0,00:00:00
0,"PN-ZP35(正面玄関用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
1,"PN-ZP35(大阪用)",192.168.150.70,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
[Group Information]
1,大阪支部,0,0,0|1|2
2,京都支部,0,0,0|1|2
3,兵庫支部,0,0,0|1|2
4,奈良支部,0,0,0|1|2
[User Information]
0,スーパーバイザー
1,管理者
2,ユーザー
```

3 必要に応じてパネルの設定を変更する。

例では、4行目のパネルと5行目のパネルを、「すべてのパネル」グループから「京都支部」グループに変更するためにパネルグループIDを「0」から「2」に変更しています。また、パネル名をそれぞれ「PN-B401(京都用)」、「PN-ZP35(京都用)」に変更しています。

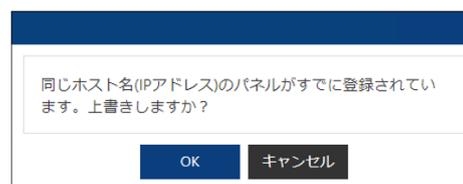
※ 3列目（ホスト名またはIP アドレスまたはプレーヤーID）は、変更しないでください。

```
[Version Information]
1.1
[Panel Information]
2,"PN-B401(京都用)",@conferenceroom,,,,,0,00:00:00,00:00:00,,,SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING,,,0,00:00:00
2,"PN-ZP35(京都用)",host001,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
1,"PN-ZP35(大阪用)",192.168.150.70,,ftp,,21,false,0,00:00:00,00:00:00,,,,,0,00:00:00
[Group Information]
1,大阪支部,0,0,0|1|2
2,京都支部,0,0,0|1|2
3,兵庫支部,0,0,0|1|2
4,奈良支部,0,0,0|1|2
[User Information]
```

パネルの設定方法については、「複数のパネルを一括して追加する」の手順6を参照ください。

4 パネル管理画面で[インポート]をクリックして編集したCSV ファイルをインポートする。

右のメッセージが表示された場合は、[OK]をクリックする。



以上の手順により、「すべてのパネル」グループに登録されていた2台のパネルが「京都支部」グループに移動します。



! ご注意

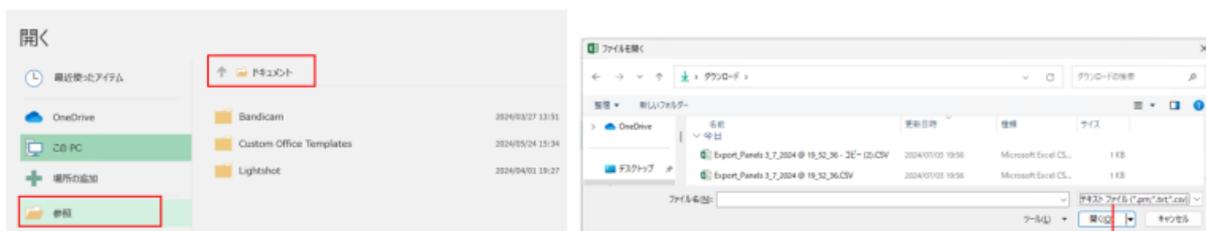
- エクスポートしたCSV ファイルの [Group Information] セクションの編集は行わないでください。
[Group Information] のセクションが編集されると正しくインポートできなくなる場合があります。
- 個別のFTP パスワードが設定されているパネルをエクスポートすると、FTP パスワードが空の状態でもエクスポートされます。また、FTP パスワードが空の状態のCSV ファイルをインポートすると、デフォルトFTP パスワードが設定されます。

5. Excel を使用してエクスポートデータを開く

エクスポートしたCSV ファイルをExcel で開くことができます。下記の手順に従わない場合は、Excel の自動変換機能によりフォーマットが崩れ、パネルデータをインポートできなくなる場合がありますので、ご注意ください。

※ Excel のバージョンによって、画面デザインや機能名、ボタン名などが異なる場合があります。下記手順を参考に、お使いのExcel に合わせた操作を行ってください。

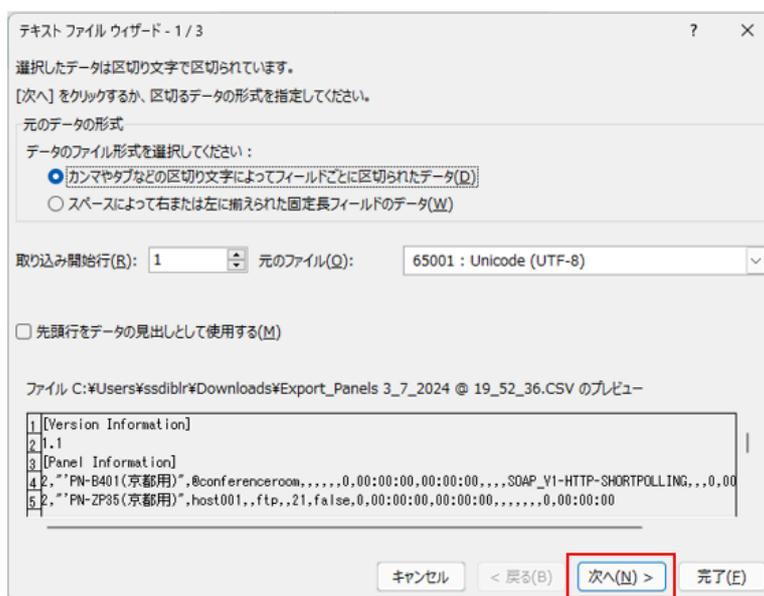
1 Excel を起動して「ファイル」メニューから「参照」を選び、「ファイルを開く」ダイアログからCSV ファイルを選択する。



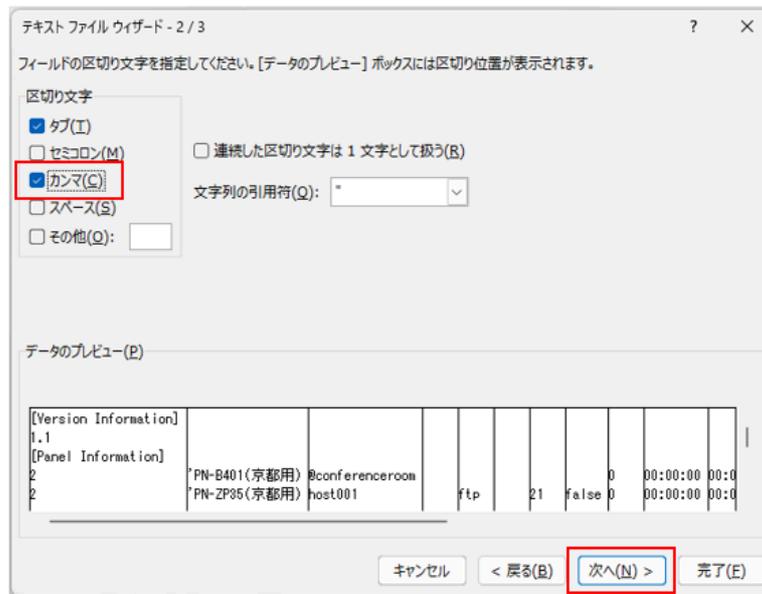
ファイルタイプは「すべてのファイル」または「テキストファイル」を選択します。

2 「テキストファイルウィザード - 1/3」が開いたら、そのまま「次へ」をクリックする

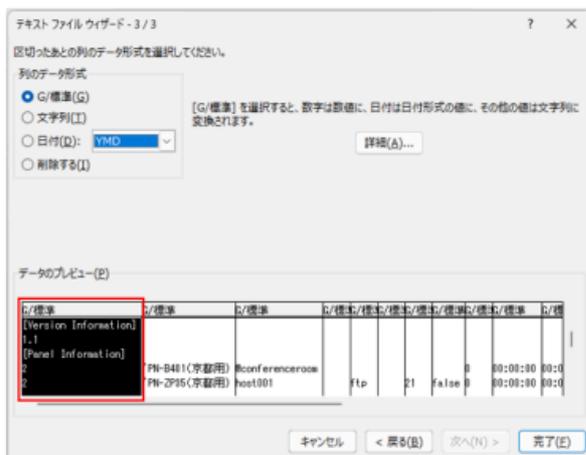
以下は、テキストエディタ（メモ帳）でCSV ファイルを開いた場合の例です。



3 「テキストファイルウィザード - 2/3」が開いたら、「カンマ」にチェックして「次へ」をクリックする。



4 「テキストファイルウィザード - 3/3」が開いたら、「データのプレビュー」の一番左の列を選択したあと、「データのプレビュー」の水平スクロールバーを一番右に移動して、【SHIFT】キーを押しながら一番右の列をクリックする。

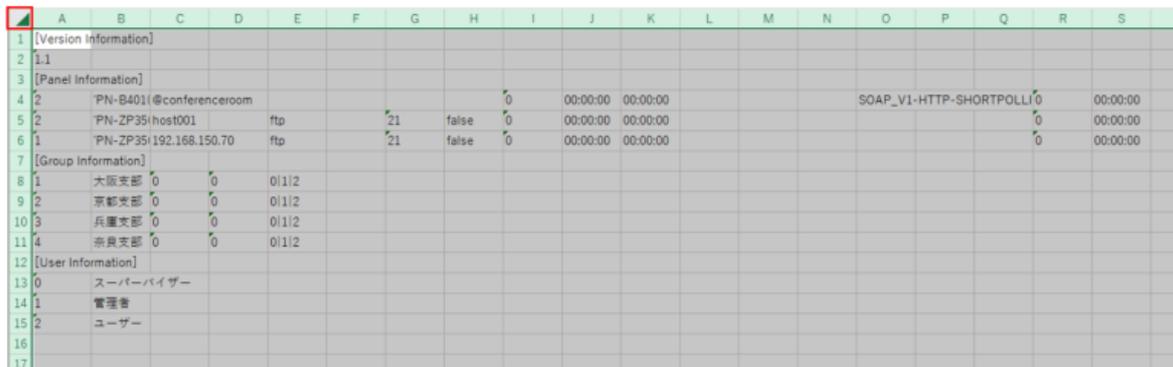


5 「データのプレビュー」の全列が選択状態であることを確認してから、「列のデータ形式」で「文字列」を選択して「完了」をクリックする。



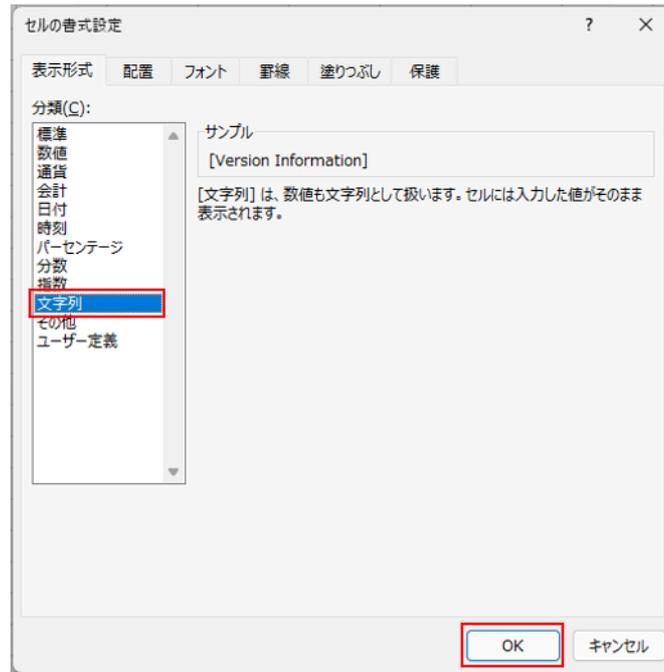
6 ファイルが開いたら、シート全体を選択状態にする。

以下のマーク箇所をクリックすると、シート全体が選択された状態になります。



7 シート全体が選択された状態で、シート上の任意の箇所で右クリックをして「セルの書式設定」を開く。

8 「表示形式」タブの「分類」で「文字列」を選び、「OK」をクリックする。



以上で、エクスポートファイルをExcel で開く手順は終了です。

「複数のパネルを一括して追加する」 の手順4 ~ 6 を参考に、パネルを追加・編集します。

6. CSV ファイルのデータフォーマットについて

エクスポートしたCSV ファイルの各列の内容については、以下の通りです。

- バージョン情報 (Version Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値	備考
1 CSVファイルのデータ フォーマットバージョン	対象外	<hr/>	変更不可

- パネル情報 (Panel Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値 (¥/:*?<> ,/はすべての項目で 使用不可)	備考
1 グループ ID	対象	すべてのパネル : 0 もしくはグループ情報のグループID	空は不可

2	パネル名	対象	空白（スペース）を含まない50文字以下の文字列	空は不可
3	ホスト名またはIPアドレスまたはプレーヤーID	対象	PUSH の場合 マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、1文字目が@ でない30文字以下の文字列（ホスト名かIPアドレス） PULL の場合 マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、1文字目が@ である2～30文字の文字列（プレーヤーID）	空は不可
4	MAC アドレス	対象	16進数で12桁	- を入れてはいけません。
5	FTP ユーザー名	対象	マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、30文字以下の文字列	空は不可
6	FTP パスワード	対象	マルチバイト文字、空白（スペース）を含まない、30文字以下の文字列	空の状態ではインポートするとデフォルトFTPパスワードが設定されます。
7	FTP ポート番号	対象	1～65535	空は不可
8	パッシブモード (未使用項目)	対象外		変更不可
9	指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する	対象	OFF : 0 ON : 1	空は不可 MACアドレスが空白の場合は、1は使用できません。
10	起動時刻	対象	hh:mm:ss hh は00～23 mm は05,10,15,20,25,30,35,40, 45,50,55 ss は00	空は不可、5分単位の設定のみ可能です。列番号9が1(ON)の場合、終了時刻と同じ時刻は使用できません。

11	終了時刻	対象	hh:mm:ss hh は00 ~ 23 mm は05,10,15,20,25,30,35,40, 45,50,55 ss は00	空は不可、5分単位の設定のみ可能です。列番号9が1(ON)の場合、起動時刻と同じ時刻は使用できません。
12	コメント 1	対象	100 文字以内の文字列	
13	コメント 2	対象	100 文字以内の文字列	
14	コメント 3	対象	100 文字以内の文字列	
15	プレーヤータイプ / 配信タイプ	対象	プレーヤー× PUSH : 空 プレーヤー× PULL : PC-HTTP-SHORTPOLLING プレーヤーA1 × PUSH : SOAP_V1-HTTP-PUSH プレーヤーA1 × PULL : SOAP_V1-HTTP-SHORTPOLLING ePoster プレーヤーA1 × PUSH : SOAP_V1_EP_HTTP-PUSH ePosterプレーヤーA1 × PULL : SOAP_V1_EP_HTTP-SHORTPOLLING	
16	カスタムデータ 1 (未使用項目)	対象外		変更不可
17	カスタムデータ 2 (未使用項目)	対象外		変更不可
18	表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる	対象	OFF : 0 ON : 1	空は不可

19	同期時刻	対象	hh:mm:ss hh は00~23 mm は05,10,15,20,25,30,35,40,45,50,55 ss は00	空は不可 5分単位の設定のみ可能です。
----	------	----	-------------------------------------------------------------------------	------------------------

● グループ情報 (Group Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値	備考
1 グループ ID	対象外		変更不可
2 グループ表示名	対象外		変更不可
3 親のグループ ID	対象外		変更不可
4 アクセス権をすべての子パネルグループに設定	対象外		変更不可
5 アクセス権を有するユーザーグループ ID	対象外		変更不可

● ユーザー情報 (User Information セクション)

項目名	編集対象	設定可能な値	備考
1 ユーザーグループ ID	対象外		変更不可
2 ユーザーグループ名	対象外		変更不可

システムログ編

システムログの確認

操作ログ、コンテンツ編集ログ、配信ログを確認できます。

1. 基本画面について

表示したいシステムログを選んでクリックすると、システムログ表示エリアに表示されます。



システムログ選択エリア

システムログ表示エリア

2. システムログを確認する

1 システムログ選択エリアで表示したいログを選択する

操作ログ	ユーザーのコンテンツ編集以外の操作履歴が表示されます。
コンテンツ編集ログ	ユーザーのコンテンツ編集履歴が表示されます。
配信ログ	パネルへの配信履歴が表示されます。

2 表示された内容を確認する

操作ログ

ページ番号: 1 / 11 表示ログ数 10

ログインID	名前	日時	メッセージ
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:18	役割 '1(id=4)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '9(id=9)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '7(id=7)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '6(id=6)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '5(id=5)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '4(id=4)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '3(id=3)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '2(id=2)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '12(id=12)' を削除しました。
admin	運用グループ管理者	2024-06-13 10:08:11	ユーザ '11(id=11)' を削除しました。

(1) (2)

(3) (4) (5) (6)

※ 「操作ログ」の画面例です。

項目名	説明
(1) ページ番号	表示するページ番号を選択します。
(2) 表示ログ数	1 ページに表示する件数を選択します。
(3) ログイン ID/ パネル ID	ログイン ID またはパネル ID が表示されます。
(4) 名前	ユーザー名またはパネル名が表示されます。
(5) 日時	日時が表示されます。
(6) メッセージ	結果が表示されます。

2.1. システムログを出力する（TXT 形式／ CSV 形式）

システムログをTXT 形式またはCSV 形式で出力します。

- 1 システムログ表示エリアの  をクリックする。
- 2 ファイル形式に応じてボタンを選択して保存する。





CSV 形式でダウンロード

プレイヤー更新編

プレーヤー更新

登録しているパネルに、プレーヤー更新データ、システム設定ファイル（表示用端末の設定変更データ）、プリセット番組、マイコンテンツ、パネル属性を割り付けて配信します。

ご参考

- WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

1. 更新操作について

それぞれの配信データを配信することで下記の操作が可能です。

項目名	説明
プレーヤー更新	<p>表示用端末の e-Signage S プレーヤーのアップデートを行います。（遠隔プレーヤーアップデート）</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• e-Signage S プレーヤー A1 が導入されている表示用端末では、設定画面より「提供元不明のアプリ」がインストールできるように設定してください。• 表示用端末でプレーヤー更新データの受信が完了すると、アップデートが始まります。アップデート中、配信先パネルで番組は表示されません。（アップデート中 e-Signage S プレーヤーは終了します。）アップデート終了後、表示用端末は再起動され、番組表示を再開します。
システム設定ファイル ※ サービス技術者用	<p>表示用端末の設定を変更します。</p> <p>通常は使用しません。</p>
プリセット番組 (プレーヤーのみ)	<p>表示用端末にプリセット番組/ デフォルト番組を配信します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。• プリセット番組は、キー/マウス連携ツールで利用します。• デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。 詳しくはこちら▶• プリセット番組を、番組再生中の表示用端末に配信しないでください。

	<p>「再生を一時中断」で再生を中断してから番組を配信し、配信完了後に再度「再生を再開」をクリックしてください。</p>
<p>マイコンテンツ (プレイヤーの み)</p>	<p>表示用端末にマイコンテンツを事前に配信します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンテンツは、表示用端末のマイコンテンツフォルダーに配信されます。同じファイル名がある場合、上書きされます。 <p>マイコンテンツフォルダーは、表示用端末のe-Signage クライアントスケジューラで設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示用端末で使用中のコンテンツを配信することはできません。 <p>「番組表示を一時中断」で再生を中断してからコンテンツを配信してください。配信完了後は、再度「番組表示を一時中断」をクリックしてください。 詳しくはこちら▶</p> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の方法で配信したコンテンツを表示用端末から削除することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 削除したいデータの一覧を記載したテキストファイルを配信。 <p>マイコンテンツフォルダーからの相対パスを各データ1行で記載してください。テキストファイルのファイル名は「Delete.lst」としてください。</p>
<p>パネル属性</p>	<p>表示用端末へパネル属性（パネル名・グループ名・コメント1・コメント2・コメント3）を配信します。管理用PCで設定されているパネル属性を、表示用端末に配信し、設定します。</p> <p>配信されたパネル属性は、表示用端末で再生条件が設定されているコンテンツを再生する際に判定条件として利用されます。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各パネルのパネル属性が設定されたファイル「Panel Attributes.ini」を各パネルに割り付け、配信されます。

※ 将来のアップデートをお約束するものではありません。

2. 基本画面について

配信データ選択エリアで配信データ（プレイヤー更新、システム設定ファイル、プリセット番組※、マイコンテンツ※、パネル属性）を選択し、パネル表示エリアのパネルに配信データを割り付けます。

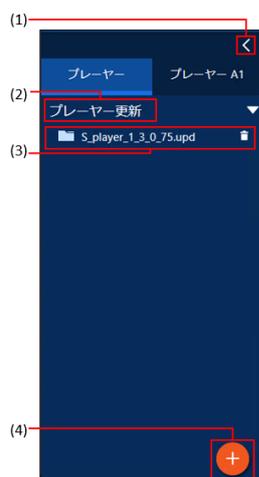
※ プレーヤーのみ



配信データ選択エリア

パネル表示エリア

2.1. 配信データ選択エリア



(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) カテゴリ選択ボタン

プレイヤー更新、システム設定ファイル、プリセット番組、マイコンテンツ、パネル属性からパネルに配信するカテゴリを選択します。

(3) 配信データ

アップロードした配信データが表示されます。

(4) 追加ボタン

配信データを追加します。

2.2. パネル表示エリア

パネル表示画面



サマリー表示画面



(1) 表示切替ボタン

パネル表示画面とサマリー表示画面を切り換えます。

(2) サマリー表示エリア

サマリー（配信の状況、コンテンツの種類、パネルの配信方式）を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだパネルごとのパネル表示画面が表示されます。

(3) メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。



配信を開始します。配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

	配信を中止します。中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	選択したパネルの配信を再送します。

(4) すべてを選択ボタン／すべての選択を解除ボタン

表示しているすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

(5) クリアボタン

配信データを割り付ける前の状態に戻します。

割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。配信が確定しているスケジュール

ジュールは、解除してから操作してください。

(6) 更新ボタン

表示を更新します。

(7) パネル名

パネル名の横にパネル種別、配信方式がアイコンで表示されます。

(8) 配信データ割り付け

割り付けられた配信データが表示されます。

(9) フェイズ

配信状況が表示されます。

フェイズ 1 (配信確定)	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2 (配信開始)	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 3 (配信完了)	配信が完了した日時が表示されます。配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

2.3. 配信する

1 パネル表示エリアをパネル表示画面に切り換え、配信データを割り付けたいパネルを表示する。

- 条件に合ったパネルのみを表示させることができます。

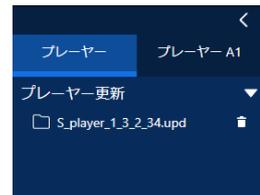


2 配信データ選択エリアで割り付けたい配信データを表示する。

3 配信対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。

4 配信データをパネル表示エリアの配信するパネル名にドラッグ& ドロップする。

5  →  の順にクリックして配信する。



配信が確定し、割り付けデータに確定マーク () が表示され、配信が開始されます。

インポート/エクスポート編

インポート

エクスポートしたコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセットのファイルを、利用するために読み込みます。

1. 基本画面について

インポートするファイルを管理します。



インポートファイル表示エリア

• インポートファイル表示エリア



(1) インポートエリア

インポートするエクスポートファイルを、ドラッグ&ドロップしてリストに追加します。

(2) 名前

ファイルの名前を表示します。

(3) 種類

ファイルの種類を表示します。

(4) 追加

ファイルを追加した日時とユーザー名（WEB サーバー版のみ）を表示します。

(5) 展開状況

ファイルの展開状況を表示します。

(6) インポート状況

インポートした日時を表示します。

(7) 結果

展開/ インポートの状況を表示します。

(8) 削除ボタン

ファイルを削除します。

(9) インポートボタン

インポートするファイルを、コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセットに読み込みます。

(10) 更新ボタン

表示を更新します。

(11) サンプルデータのインポートボタン

あらかじめ登録されているサンプルデータをリストに追加します。

(12) エクスポートファイルのアップロードボタン

インポートするエクスポートファイルを、リストに追加します。

2. インポートする

1 インポートするファイルをインポートファイル表示エリアの破線枠内にドラッグ& ドロップする。

インポートするファイルがリストに追加され、展開が実行されます。

エクスポートファイルのアップロードボタンをクリックして追加することもできます。必要に応じて手順1 を繰り返します。

2 インポートボタンをクリックして、読み込む。

設定ウィザードに従って、インポートの設定を行います。

インポートするファイルが、コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセットに読み込まれます。

ご参考

インポート先のパソコンに既に同じ名前のコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセットがある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、名前を変更してインポートするか選択してください。

一括削除機能

リストのチェックボックスをチェックして、画面右下の  から「削除」を選択すると、リストの

データを一括削除できます。

エクスポート

他のパソコンで利用するために、保存されているコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセットのファイルを書き出します。

1. 基本画面について

エクスポートするファイルを管理します。



エクスポートファイル選択エリア

エクスポートファイル表示エリア

エクスポートファイル選択エリア

(1) 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

(2) カテゴリ選択ボタン

コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、チャンネルセットからエクスポートするカテゴリを選択します。

(3) グループ選択エリア

カテゴリの選択に応じたグループが表示されますので、グループを選択します。

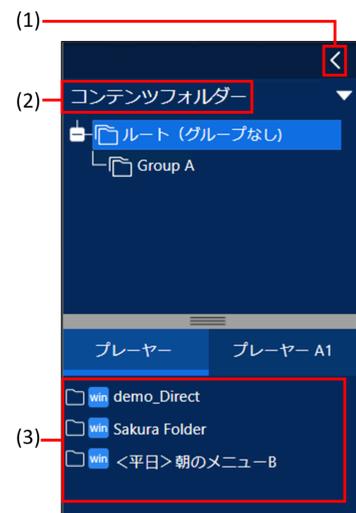
(例：コンテンツフォルダーが選択されている場合には コンテンツフォルダーグループが表示されます。番組が選択されている場合には 番組グループが表示されます。)

(4) プレーヤータイプ選択ボタン

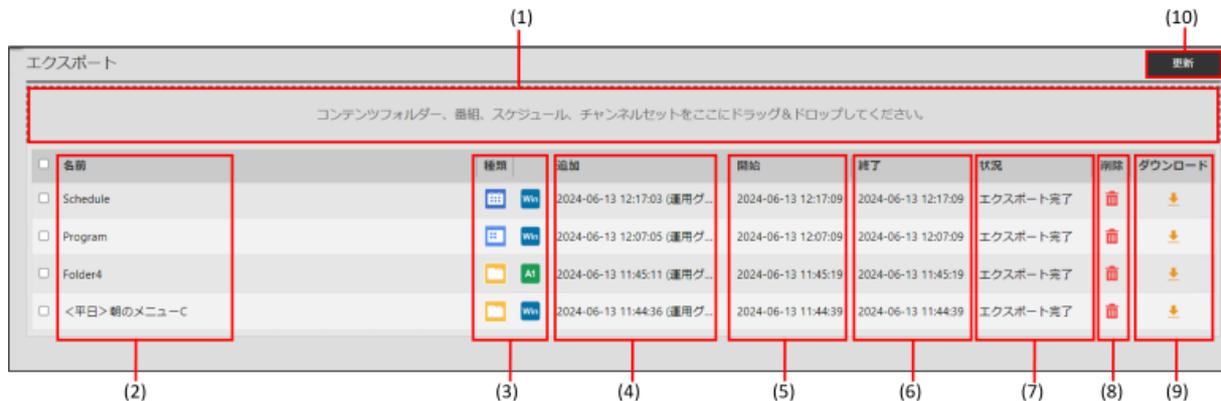
エクスポートする配信データのプレーヤータイプを選択します。

(5) データ選択エリア

選択したカテゴリ、グループ、プレーヤータイプに応じたデータが表示されますので、エクスポートする配信データを選択します。



1.1. エクスポートファイル表示エリア



(1) エクスポートエリア

エクスポートファイル選択エリアの対象（コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール / チャンネルセット）をドラッグ&ドロップし、リストに追加します。

(2) 名前

ファイルの名前を表示します。

(3) 種類

ファイルの種類を表示します。

(4) 追加

ファイルを追加した日時とユーザー名（WEB サーバー版のみ）を表示します。

(5) 開始

エクスポートファイルの作成を開始した日時を表示します。

(6) 終了

エクスポートファイルの作成が終了した日時を表示します。

(7) 状況

エクスポートファイルの作成状況を表示します。

(8) 削除ボタン

ファイルを削除します。

(9) ダウンロードボタン

エクスポートしたファイルを書き出します。

(10) 更新ボタン

表示を更新します。

2. エクスポートする

1 エクスポートファイル選択エリアでエクスポートする対象を表示する。

2 エクスポートする対象をエクスポートファイル表示エリアの破線枠内にドラッグ&ドロップす

る。

エクスポートする対象がリストに追加され、エクスポートファイルが作成されます。

必要に応じて手順1～2を繰り返します。

3 ダウンロードボタンをクリックして、他のパソコンで利用するファイルを保存する。

！ご注意

- インポート / エクスポートを利用する場合、導入しているe-Signage S 各ソフトウェアのバージョンを統一してください。新しいバージョンのサーバーソフトウェアで作成したエクスポートデータを古いバージョンのサーバーソフトウェアにインポートした場合、バージョンアップによって追加された機能を使用している部分が正しく動作しないことがあります。

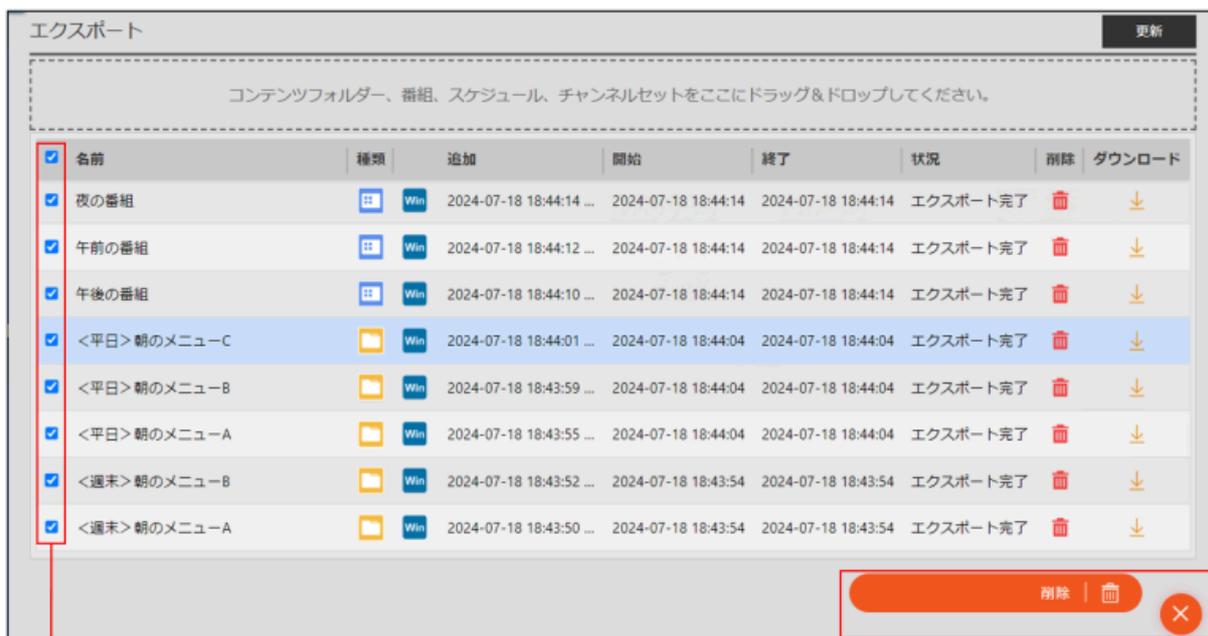
ご参考

エクスポートしたスケジュールデータには、番組、コンテンツフォルダー、チャンネルセットも含まれます。

また、エクスポートした番組データには、コンテンツフォルダーも含まれます。

一括削除機能

リストのチェックボックスをチェックして、画面右下の  から「削除」を選択すると、リストのデータを一括削除できます。



エクスポート

更新

コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、チャンネルセットをここにドラッグ&ドロップしてください。

<input checked="" type="checkbox"/>	名前	種類	追加	開始	終了	状況	削除	ダウンロード
<input checked="" type="checkbox"/>	夜の番組	Win	2024-07-18 18:44:14 ...	2024-07-18 18:44:14	2024-07-18 18:44:14	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	午前番組	Win	2024-07-18 18:44:12 ...	2024-07-18 18:44:14	2024-07-18 18:44:14	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	午後番組	Win	2024-07-18 18:44:10 ...	2024-07-18 18:44:14	2024-07-18 18:44:14	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	<平日>朝のメニューC	Win	2024-07-18 18:44:01 ...	2024-07-18 18:44:04	2024-07-18 18:44:04	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	<平日>朝のメニューB	Win	2024-07-18 18:43:59 ...	2024-07-18 18:44:04	2024-07-18 18:44:04	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	<平日>朝のメニューA	Win	2024-07-18 18:43:55 ...	2024-07-18 18:44:04	2024-07-18 18:44:04	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	<週末>朝のメニューB	Win	2024-07-18 18:43:52 ...	2024-07-18 18:43:54	2024-07-18 18:43:54	エクスポート完了		
<input checked="" type="checkbox"/>	<週末>朝のメニューA	Win	2024-07-18 18:43:50 ...	2024-07-18 18:43:54	2024-07-18 18:43:54	エクスポート完了		

削除 |

●コンテンツ選択ボタン

●削除メニュー

プレーヤー編

スケジュール受信・番組表示

管理用PC からスケジュールや番組を配信したときの、表示用端末の設定について説明します。

※詳細は各プレーヤーA1補足説明書をご覧ください。

1. FTP サーバーについて

FTP サーバーは、管理用PC から送信されたスケジュールや臨時番組を受信し、e-Signage クライアントスケジューラへ渡す働きをします。PUSH 型配信を利用する場合表示用端末では、このFTP サーバーのサービスが開始されている必要があります。

1.1. FTP サーバーの起動

FTP サーバーは、Windows 起動時に自動起動します。

FTP サーバーのサービスが開始されているかどうかについては、次の方法で確認します。

1 タスクバーの何も無い場所を右クリックし、表示されたメニューから「タスク マネージャー」をクリックする。

[タスク マネージャー] ダイアログボックスが表示されます。

2 「プロセス」タブをクリックし、「e-Signage FTP Server」が表示されていることを確認する。

2. e-Signage クライアントスケジューラについて

e-Signage クライアントスケジューラは表示用端末で使用します。

FTP サーバーが受信したスケジュールや臨時番組を読み取り、指定した時刻に指定した番組を表示するように番組ビューアを管理します。

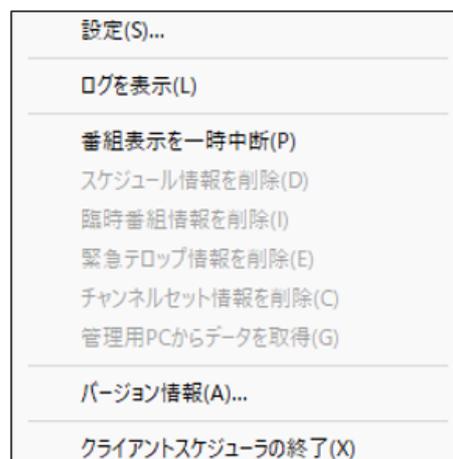
2.1. e-Signageクライアントスケジューラの起動

e-Signage クライアントスケジューラは、Windows 起動時に「スタートアップ」より自動起動します。

e-Signage クライアントスケジューラが起動すると、タスクトレイにアイコン () が表示され、常駐します。

2.2. e-Signage クライアントスケジューラのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューで 次の操作ができます。



(1) 設定

[設定] メニューをクリックすると、[クライアントスケジューラの設定] ダイアログボックスが表示されます。各タブで次の設定ができます。

[番組ビューア] タブ

番組ビューアの詳細を設定します。

- 「表示する番組が無い時でも表示を行う」チェックボックス

チェックすると、表示する番組が無いときでも表示することができます。表示する内容は、[表示内容設定] をクリックして設定します。

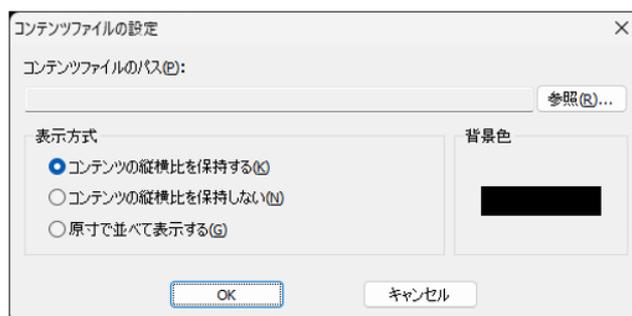


- 「紺色で領域を塗りつぶす」ラジオボタン

[表示領域] の設定で指定されている領域を紺色で表示します。

- 「以下のコンテンツファイルを表示する」ラジオボタン

[設定] をクリックして [コンテンツファイルの設定] ダイアログボックスで表示するコンテンツファイルのパス、表示方式、背景色を設定します。



(1) [参照] をクリックして、コンテンツファイルを選択します。e-Signage S でサポー

トされているすべての表示可能なファイルが対象となります。

(2)「表示方式」を「コンテンツの縦横比を保持する」/「コンテンツの縦横比を保持しない」/「原寸で並べて表示する」ラジオボタンから選択します。

(3)「背景色」を設定します。

- 「以下のチャンネルを表示する」

表示したいチャンネル番号を入力します。

- 「以下の番組を表示する」ラジオボタン

番組の設定方法は、以下の種類があります。

- 「以下の番組を表示する」ラジオボタンを選択した後、[インポート] をクリックして、番組エディタでエクスポートした番組を選択する。
- 「以下の番組を表示する」ラジオボタンを選択した後、プレーヤー更新画面からデフォルト番組を選択する。(プレーヤー更新編参照)

- 「表示領域」で設定している領域が表示領域となります(番組を指定した場合は除きます)。

- 「画面キャプチャの領域を指定する」チェックボックス

表示用端末で、複数の画面を出力している場合に画面キャプチャをすると、デスクトップ全体がキャプチャされます。チェックすると、画面出力の一部分だけをキャプチャできます。



[領域設定] をクリックして、キャプチャする領域を指定します。

- 「番組ビューア起動時、フォーカスを移さない」チェックボックス

通常はチェックをはずした状態で使用します。

番組ビューア起動時、番組ビューアにフォーカスを移動させたくないときはチェックします。

- 「番組表示中はタスクバーを隠す」チェックボックス

チェックすると、番組ビューア開始時にタスクバーを非表示にし、番組ビューア終了時にタスクバーを再表示します。

- 「コンテンツ情報ウィンドウを表示する(番組表示チェック用)」チェックボックス

チェックすると、番組再生時にコンテンツ情報(表示座標や再生時間などの)を表示します。コンテンツの再生確認をするときにチェックします。

[表示設定] をクリックして、コンテンツ情報の表示位置とサイズ、再生時間で強制的にテロップを切り換えるかどうかの設定を行います。プレーヤーA1 のデータを PC 上で再生する場合、個々のコンテンツの再生情報は表示されません。

• 「マイコンテンツフォルダー」

事前配信するコンテンツを保存するフォルダーのパスを入力します。

デフォルトでは次の値に設定されています。

マイコンテンツフォルダー：C:\ProgramData\SHARP\e-Signage\My Contents

• [パネル属性を設定]

表示用端末のパネル属性を設定できます。「パネル名」と「グループ」、「コメント」を設定できます。再生条件が設定されているコンテンツを再生するとき、パネルごとに異なるコンテンツを再生するために設定します。管理用PCで設定している内容を、表示用端末に設定することもできます。

【コンテンツ表示】タブ

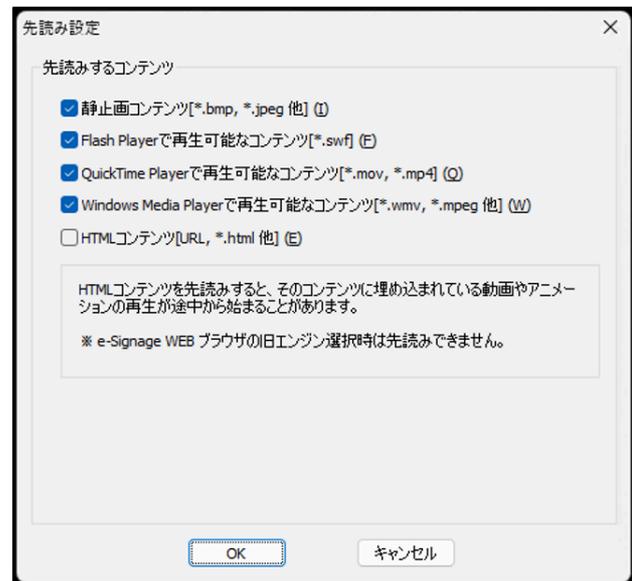
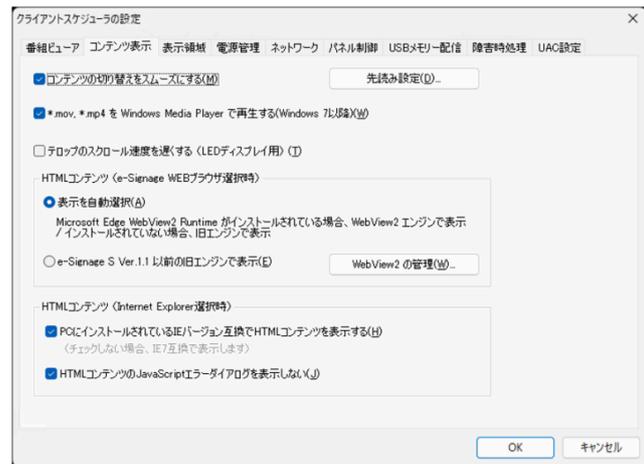
コンテンツ表示の詳細を設定します。

• 「コンテンツの切り替えをスムーズにする」チェックボックス

コンテンツの再生終了前に次のコンテンツ再生準備を行い、コンテンツをスムーズに切り換えるときは、チェックします。

表示枠間でコンテンツ表示の同期を取る必要があるときもチェックしてください。

[先読み設定] をクリックすると、先読みするコンテンツを設定することができます。



ご参考

- コンテンツの切り替えをスムーズにすると、CPU 負荷やメモリー使用量が増えます。運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。
- HTMLコンテンツを先読みすると、そのコンテンツに埋め込まれているバナー等の再生が、途中から始まる場合があります。

- e-Signage WEBブラウザでe-Signage S Ver.1.1以前の旧エンジンを選択している場合はHTMLコンテンツの先読み処理は行われません。
- **「*.mov, *.mp4 をWindows Media Player で再生する（Windows 7 以降）」チェックボックス**
チェックすると、拡張子が（.mov/.mp4）のファイルをWindows Media Player で再生します。
- **「PC にインストールされているIE バージョン互換でHTML コンテンツを表示する」チェックボックス**
HTML コンテンツをInternet Explorer で再生するときの互換モードを設定します。チェックすると、PC にインストールされているInternet Explorer のバージョン互換でHTML を表示します。
- **「HTML コンテンツのJavaScript エラーダイアログを表示しない」チェックボックス**
チェックすると、HTML コンテンツの表示でJavaScript のエラー発生時にエラーダイアログを表示しません。
- **「テロップのスクロール速度を遅くする（LED ディスプレイ用）」チェックボックス**
低解像度のLED ディスプレイでテロップを表示する場合など、テロップの速度を最も遅くしてもテロップが速すぎるときは、チェックします。
- **「表示を自動選択」ラジオボタン**
Microsoft Edge WebView2 ランタイムをインストールされている場合に、HTML コンテンツをMicrosoft Edge WebView2 で表示します。Microsoft Edge WebView2 ランタイムがインストールされていない場合は、HTML コンテンツをe-Signage に内蔵されたWEB ブラウザで表示します。
- **「e-Signage S Ver.1.1 以前の旧エンジンで表示」ラジオボタン**
HTML コンテンツをe-Signage に内蔵されたWEB ブラウザで表示します。

[表示領域] タブ

- **「番組の表示領域」**
番組の表示領域とパネルの解像度が異なるときなど、番組に設定されている表示領域に関係なく番組を表示することができます。
「配信された番組を常に以下の領域に表示する」チェックボックスをチェックし、番組を表示する領域を設定してください。
- **「緊急テロップの表示領域」**
緊急テロップ表示時の表示領域を設定します。

[電源管理] タブ

現在設定を行っている表示用端末の電源を管理します。

- 「指定した時刻に電源OFF (シャットダウン) を行う」チェックボックス

チェックすると、指定した時刻に表示用端末の電源をOFF します。

- 「指定した時刻に再起動を行う」チェックボックス

チェックすると、指定した時刻に表示用端末を再起動します。

[ネットワーク] タブ

ネットワークからデータを取得する方法を設定します。

- 「PUSH 型配信」ラジオボタン

FTP プロトコルを使用して、管理用 PC 側で手動配信操作が行われたタイミングで配信されるデータを受信します。

- 「PULL 型配信」ラジオボタン

HTTP プロトコルを使用して、表示用端末が、管理用PC から定期的にデータを取得します。

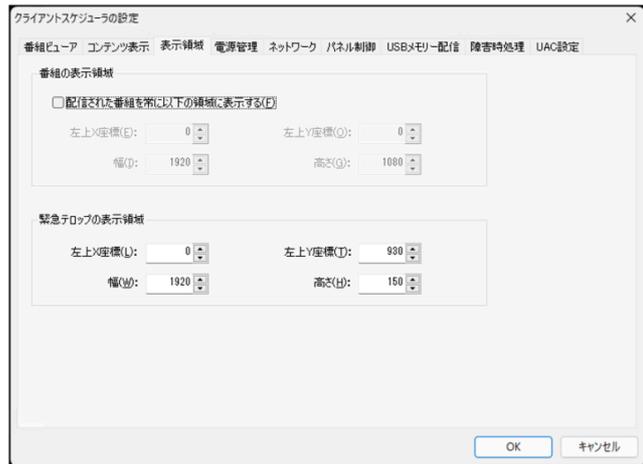
- [FTP サーバー設定]

FTP サーバーを設定します。

- ユーザー名 : 半角英数字30 文字以内で入力します。
- パスワード : 半角英数字30 文字以内で入力します。
- ポート番号 : 1 ~ 65535 で入力します。

- デフォルトでは次の値に設定されています。

- ユーザー名 : ftp
- パスワード : ftp
- ポート番号 : 21



- 「旧バージョンの管理用PC に接続する」チェックボックス

旧バージョンの e-Signage が導入された管理用PC に接続する場合にチェックします。

ご参考

- e-Signage S のプレーヤーをインストールした場合、独自のFTP サーバーがインストールされ、起動されます。もし、デフォルトのポート番号 21 が他のサービスなどで使用されている場合には、ポート番号を変更してください。
また、管理用PC の「パネル管理」で登録した各パネルのFTP 設定も同じポート番号に設定しておく必要があります。Windows ファイアウォールを有効にしている場合、コントロールパネルの「Windows ファイアウォール」で実行ファイル"C:\Program Files (x86)\SHARP ¥e-Signage¥FTPD.exe"※ を例外プログラムに指定して接続を許可することが可能です。
※ : 32 ビット版のOS では、"C:\Program Files¥SHARP¥e-Signage¥FTPD.exe" になります。

- [HTTP 通信設定]

- **ポート番号 :**

1 ~ 65535 で入力します。
HTTP プロトコルで使用するポート番号を設定します。管理用PC、またはネットワーク内にファイアウォールがある場合は、このポート番号の通信を許可するように設定してください。

- **ユーザー名 :**

半角英数字30 文字以内で入力します。

- **パスワード :**

半角英数字30 文字以内で入力します。

ご参考

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、管理用PC のサーバー設定ツールの「運用グループ」タブの「表示用端末からのHTTP アクセスの制限」に設定した内容と同じ内容を入力します。
- 「ポート番号」は、管理用PC のサーバー設定ツールの「WEB サーバー」タブに設定した内容と同じ内容を入力します。
- プロキシサーバの設定が必要な場合は、Windowsの設定画面でプロキシサーバの設定を行ってください。
- **運用グループID :**
表示用端末に運用グループID を設定します。

- **プレーヤーID :**
表示用端末にプレーヤーID を設定します。

ご参考

- 以上の機能を利用するためには、次の条件が必要です。
 - 管理用PC にe-Signage S WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版がインストールされていること
 - 管理用PC でWEB サーバーが起動していること
※ PUSH 型配信の場合は、上記の設定は不要です。

【パネル制御】 タブ

パネルを制御する方法（RS-232C/LAN/USB）を選びます。

ご参考

「パネル制御を使用しない」以外に設定すると、クライアントスケジューラの起動/終了時にパネルにアクセスするため、設定が適切でない場合アクセスに時間がかかります。



- 「**パネル制御を使用しない**」ラジオボタン
パネルを制御しません。
- 「**1台のパネルを制御する**」ラジオボタン

[接続設定] をクリックし、パネルを制御する方法（RS-232C/LAN/USB）を選びます。

- **【接続設定】**
「接続インターフェース」のラジオボタンから「インフォメーションディスプレイ」の「RS-232C」「LAN」「USB」、 「LED ディスプレイ」の「RS-232C」「LAN」、または「プロジェクター」の「LAN」のいずれかを選択して設定します。

「インフォメーションディスプレイ」

設定項目	設定内容	デフォルト

RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	9600, 19200, 38400, 115200	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	—
USB	—	—	—

インフォメーションディスプレイのコマンドフォーマットがNフォーマットするとき、「パネル制御」タブの「接続設定」の「ユーザー名」と「パスワード」は設定不要です。

「LED ディスプレイ」

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	設定不要です。	—
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	5200

「プロジェクト」

設定項目		設定内容	デフォルト
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。	—

- **【接続確認】**

パネルの制御が可能かどうか接続を確認します。

接続が成功すると、パネルの機種名を取得して表示します。

パネルの電源をONした状態で操作してください。

LB-1085 でパネルを制御する場合は、必ず接続確認を1度行ってください。

接続確認をしないと、制御できません。

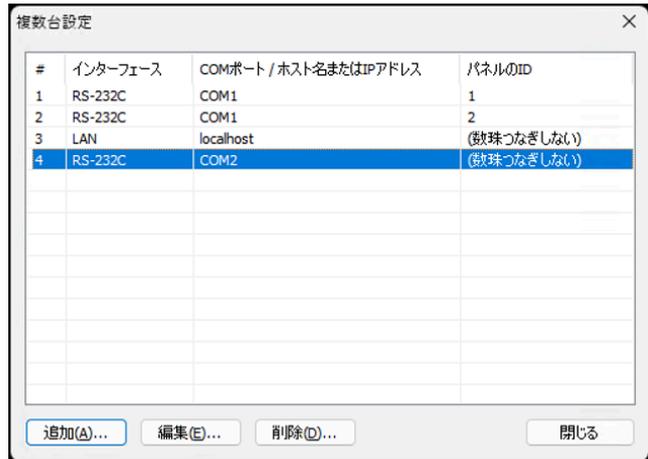
- **「複数台のパネルを制御する」ラジ
オボタン**

25 台までのパネルを登録して制御することができます。

- **【接続設定】**

【接続設定】をクリックすると、接続されているパネルの一覧が表示されます。

初めて使用するときは、【追加】をクリックして、パネルをリストに追加します



「インフォメーションディスプレイ」

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	9600, 19200, 38400, 115200	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	—
USB		—	—
パネルの ID		数珠つなぎ接続する場合は、パネルを識別するため、ID を選択します。 (数珠つなぎしない) 、 1 ~ 255	(数珠つなぎしない)

「LED ディスプレイ」

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	設定不要です。	—
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	5200

「プロジェクト」

設定項目		設定内容	デフォルト
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。	—

- **「本ソフト起動時に、パネルの電源をON する」チェックボックス**
 チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの電源をON します。
- **「本ソフト終了時に、パネルの電源をOFF する」チェックボックス**
 チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの終了時に、パネルの電源をOFF します。
- **「本ソフト起動時に、パネルの時計をPC の時刻に合わせる」チェックボックス**
 チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの時計を表示用端末の時刻に合わせます。
- **【詳細設定】**
 - **「起動時にパネルと接続できなかった場合は、それ以降の通信を行わない」チェックボックス**
 起動時にパネルと接続できなかった場合、以降の通信を行わないようにします。
 - **「数珠つなぎ接続の先頭の1 台のみLAN で接続する」チェックボックス**
 RS-232C で数珠つなぎにしたパネルの先頭1 台のみをLAN で接続する構成時のみチェックしてください。数珠つなぎされた後続のパネルに対して、ID を指定して制御が行えるようになります。
 - **「LED ディスプレイの電源制御を輝度制御で代替する」チェックボックス**
 LED ディスプレイでは電源のOFF/ON 制御ができないため、輝度制御で代替します。チェックし、電源OFF 時/ON 時の輝度を設定します。

「USB メモリー配信」タブ

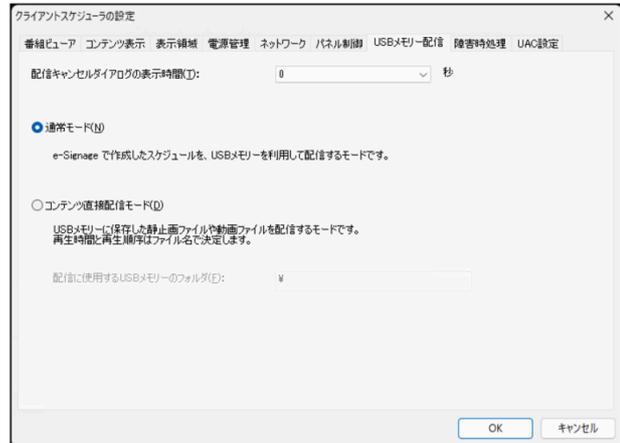
USB 配信の詳細を設定します。

「配信キャンセルダイアログの表示時間」

1 秒以上に設定すると、USB メモリーなどを挿入したときに配信キャンセルダイアログを表示します。

配信キャンセルダイアログで [キャンセル] をクリックすると配信が中止されますので、USB メモリーなどはタスクトレイの安全な取り外しアイコン () から取り外してください。

また、配信キャンセルダイアログで [今すぐ受信] をクリックすると、配信が再開されます。



「通常モード」ラジオボタン

通常は変更しません。

「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタン

「コンテンツ直接配信モード」でUSB 配信する場合 に選択します。

「配信に使用するUSB メモリーのフォルダー」

「コンテンツ直接配信モード」で配信を行う場合、コンテンツが保存されているUSB メモリーのフォルダーのパスを入力します。

「障害時処理」タブ

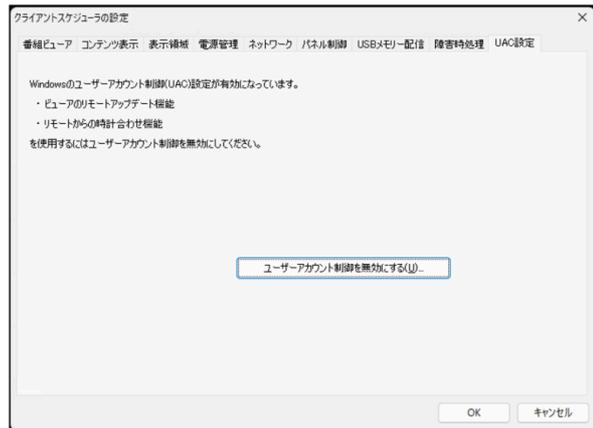
サービス技術者専用です。通常は使用しません。

「UAC 設定」タブ

ユーザーアカウント制御を無効にする場合、[ユーザーアカウント制御を無効にする] をクリックし、画面の指示に従ってください。

ご参考

- この設定を行うとWindows ストアアプリが動作しなくなりますのでご注意ください。
- [UAC 設定] タブは、e-Signage S プレーヤーでのみ設定できます。



(2) ログを表示する

[ログを表示] メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラの動作ログを表示します。

ログのクリアや最新の状態に更新することができます。



(3) 番組表示を一時中断

[番組表示を一時中断] メニューをクリックすると、表示中の番組を一時中断します。

このとき、メニューの左側にチェックマークが入ります。再度 [番組表示を一時中断] メニューをクリックすると、番組表示を再開します。

(4) スケジュール情報を削除

[スケジュール情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されているスケジュール情報を削除します。



(5) 臨時番組情報を削除

[臨時番組情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている臨時番組表示の情報を削除します。

(6) 緊急テロップ情報を削除

[緊急テロップ情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている緊急テロップ情報を削除します。

(7) 管理用PC からデータを取得

〔管理用PC からデータを取得〕メニューをクリックすると、管理用PC より配信データを受信します。

配信、臨時番組配信、緊急テロップ配信、プレーヤー更新、の各配信に対して、再配信操作が行えます。

なお、この機能はPULL 型配信のみ利用することができます。

また、配信エラーデータがあった場合にも、下記の手順で再配信を要求することができます。

1 表示用PCのタスクバーに表示されているクライアントスケジューラーのアイコンをマウスの右ボタンでクリックしメニューを表示する。

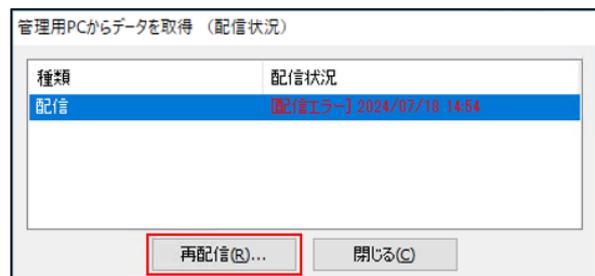
2 クライアントスケジューラーのメニューから〔管理用PC からデータを取得〕をクリックする。

3 〔管理用PC配信状況を取得しました〕のメッセージが表示されるので、〔OK〕をクリックする。

4 〔管理用PCからデータを取得（配信状況）画面〕が表示されるので、〔配信エラー〕が表示されている行をクリックする。

5 〔再配信〕ボタンをクリックする。

6 〔OK〕をクリック。



(8) バージョン情報

〔バージョン情報〕メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラーの〔バージョン情報〕ダイアログボックスを表示します。

ご参考

e-Signage S で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。

また、インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2ヶ月間の試用期間があります。試用期間が過ぎる前に、本製品に付属の「はじめにお読みください」に記載されている手順に従って、ライセンスコードを入手し、ライセンスコードを登録してください。

(9) e-Signage クライアントスケジューラーの終了

〔クライアントスケジューラーの終了〕メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラーを終了します。

ただし、通常は終了しないでください。

3. e-Signage クライアントスケジューラについて (WEB クライアント)

e-Signage S WEB クライアントに搭載されているe-Signage クライアントスケジューラは、一部設定項目が異なります。

[ネットワーク] タブ

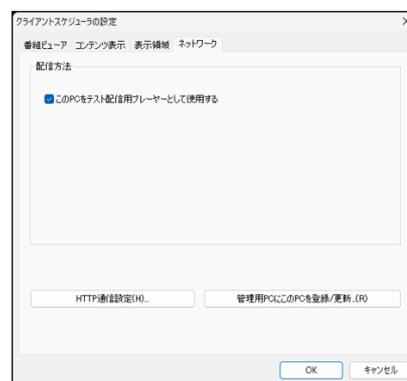
- 「このPC をテスト配信用プレーヤーとして使用する」
チェックボックス

チェックすると、WEB クライアントが導入された操作
用PCで、配信データを確認/ プレビューすることができ
ます。

[HTTP 通信設定] および [管理用PC にこのPC を登
録/ 更新] を使用して管理用PC に操作用PC を登録し、
確認したいデータを配信します。

テスト配信用プレーヤーは、サイネージ運用用途に使用
することはできません。

- 番組再生時、各コンテンツの情報を表示するウィンドウが常に表示されます。
- 番組再生時、テスト配信用プレーヤーであることを示すダイアログが一定時間ごとに表示されま
す。



4. USB メモリーなどの外部記憶装置を利用してコン テンツを直接配信する

コンテンツをコピーしたUSB メモリーなどを表示用端末に挿入するだけで、コンテンツを表示する
ことができます。

ご参考

- 転送が完了するまで、USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外さないでくださ
い。
- USB メモリーなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。

1 表示用端末を「コンテンツ直接配信モード」に設定する。

- ① 表示用端末で、タスクトレイのアイコン () をクリックし、[設定] メニューをクリックします。
- ② [USB メモリー配信] タブをクリックし、「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタンを選択します。
- ③ 必要に応じて「配信に使用するUSB メモリーのフォルダー」を設定します。
- ④ [OK] をクリックします。

2 配信するコンテンツをUSB メモリーなどにコピーする。

手順1 の③で設定したフォルダーにコンテンツをコピーしてください。

設定したフォルダーの、下位のフォルダー位置に置かれたコンテンツは表示されません。

ご参考

- コンテンツ直接配信モードでは、HTML ファイルを表示できません。
- コンテンツの表示はファイル名の昇順で実行されます。
ファイル名の先頭に「001」、「002」のように通し番号を付けることで、再生順序を設定することができます。
- コンテンツの再生時間は通常10 秒です。動画は再生が終わるまでの時間です。
コンテンツのファイル名の後ろに「[数値] m」(分) または「[数値] s」(秒) を付けることで、コンテンツの再生時間を設定することができます。(最大24 時間)
[例]
image_30s.jpg とすると30 秒間表示します。
- 指定したフォルダーにTelop.txt (テキストファイル) を置くことで、その内容をテロップとして表示することができます。

3 USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外す。

タスクトレイの安全な取り外しアイコン () から取り外してください。

4 表示用端末にUSB メモリなどの外部記憶装置を挿入する。

自動的にコンテンツが配信され、完了するとUSB メモリなどの外部記憶装置は自動的に停止します。

メッセージを確認し、取り外してください。

5. 番組ビューア

番組ビューアは、表示用端末で使用します。

e-Signage クライアントスケジューラが読み取ったスケジュールや臨時番組をもとに、番組を表示します。

ご参考

- 番組を一時中断するときは、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [番組表示を一時中断] をクリックします。
- 番組ビューアの詳細は、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックし、表示された [クライアントスケジューラの設定] ダイアログボックスで変更できます。
- 新しいスケジュールを配信すると、古いスケジュールは不要になります。不要になったスケジュールやそれに付随するコンテンツは、e-Signage クライアントスケジューラが次回起動するときに自動的に削除されます。

キー／マウス連携

キーボードやマウスの操作で、表示する番組を切り換える機能について説明します。

1. キー／マウス連携ツールの画面について

■キー／マウス連携ツールを起動する

1 Windows 10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [SHARP e-Signage S各種ツール] - [キー／マウス連携ツール] の順にクリックする。

Windows 11 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [SHARP e-Signage S 各種ツール] - [キー／マウス連携ツール] の順にクリックする。

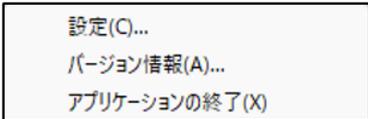
キー／マウス連携ツールが起動し、タスクトレイにアイコン () が表示され、常駐します。

ご参考

- 端末起動時にキー／マウス連携ツールを自動的に起動する場合は、Windows のスタートアップにキー／マウス連携ツールを登録してください。

■キー／マウス連携ツールのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。



設定(C)...
バージョン情報(A)...
アプリケーションの終了(X)

設定

キー／マウス連携ツールの動作モードを設定します。

• 「無効」ラジオボタン

キー／マウス連携ツールの働きを無効にします。

• 「スクリーンセーバーモード」ラジオボタン

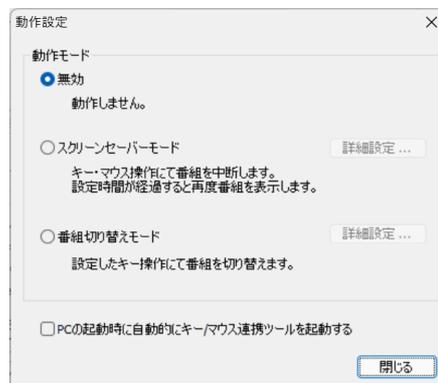
キーボードやマウスの操作があると、番組の表示を一時中断します。

キーボードやマウスの操作が一定時間ないと、配信された番組を表示します。

[詳細設定] をクリックして、以下の設定ができます。

番組表示再開までの時間

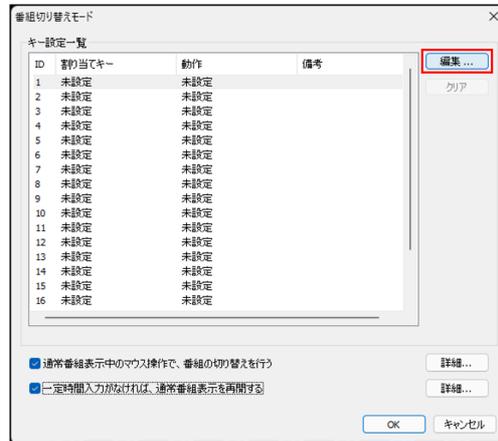
[Ctrl] + [Alt] + [V] キーで番組表示を再開する



- 「番組切り替えモード」ラジオボタン

キーの組み合わせに動作を割り当て、キー操作で動作を実施することができます。
20 個まで割り当てることができます。

[詳細設定] をクリックして、キーの割り当てと動作を設定してください。

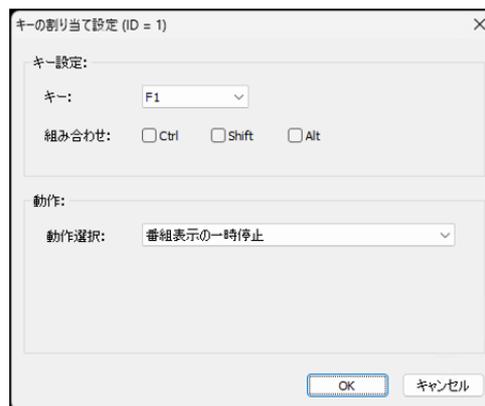


(1) 編集する項目をクリックし、[編集] をクリックします。
「キーの割り当て設定」ダイアログボックスが表示されます。

(2) 各項目を設定します。

「キー設定」：登録するキーの組み合わせを設定します。

「動作」：登録したキーの動作を設定します。



- 「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組ID」に表示するプリセット番組の ID 番号を指定します。

プリセット番組をインポートしていない場合は、ID 番号を指定し、番組をインポートします。

1) 「プリセット番組 ID」に ID 番号を入力します。

2) [インポート] をクリックします。

3) エクスポートした番組データを指定し、[開く] をクリックします。

指定したプリセット番号ID に番組がインポートされます。

- 「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。
- 「チャンネルの表示」を選んだ場合は、「チャンネル番号」にe-Signage S のチャンネルセット管理で登録しプレーヤーに配信したチャンネル番号を入力します。

(3) [OK] をクリックします。

- 「PCの起動時に自動的にキー/マウス連携ツールを起動する」チェックボックス
チェックすると、キー/マウス連携ツールの自動起動を設定することができます。

ご参考

1. 異なるID に同じキーを割り当てた場合、ID の小さい順に割り当てられた動作が行われます。
2. PowerPoint Viewer 起動時に【Ctrl】キーが押されていると、PowerPoint コンテンツが正しい位置に表示されません。PowerPoint コンテンツを含む番組を表示する場合は、ご注意ください。

- 「通常番組表示中のマウス操作で、番組の切り替えを行う」チェックボックス

チェックすると、マウス操作に動作を割り当て、マウス操作で動作を実施することができます。

(1) [詳細] をクリックします。

「マウス入力時の設定」ダイアログボックスが表示されます。

(2) 各項目を設定します。

「動作」：登録したマウス操作の動作を設定します。

- 「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組ID」に表示するプリセット番組のID 番号を指定します。

プリセット番組をインポートしていない場合は、

ID 番号を指定し、番組をインポートします。

1) 「プリセット番号 ID」に ID 番号を入力します。

2) [インポート] をクリックします。



3) エクスポートした番組データを指定し、[開く] をクリックします。

指定したプリセット番号ID に番組がインポートされます。

- 「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。

(3) [OK] をクリックします。

ご参考

- 「通常番組」とは、スケジュールされた番組もしくは臨時番組を指します。プリセット番組表示中は、割り当てられた動作は実行できません。

- 「一定時間入力がない場合は、通常番組表示を再開する」チェックボックス

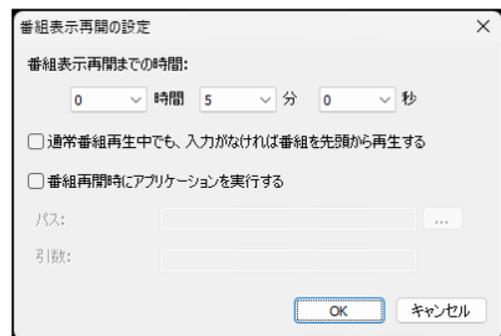
チェックすると、キーまたはマウスが指定された時間操作されなければ、通常番組の表示が再開します。

(1) [詳細] をクリックします。

「番組表示再開の設定」ダイアログボックスが表示されます。

(2) 各項目を設定します。

- 「番組表示再開までの時間」番組表示再開までの時間を設定します。
- 「通常番組再生中でも、入力がない場合は番組を先頭から再生する」チェックボックス
チェックすると、指定した時間、キーまたはマウス入力がない場合に、番組の先頭から再生します。また、スケジュールどおりに番組を再生している場合でも、番組の先頭から再生します。
- 「番組再開時にアプリケーションを実行する」チェックボックス
チェックした場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。



(3) [OK] をクリックします。

バージョン情報

キー/マウス連携ツールのバージョンを表示します。

アプリケーションの終了

キー/マウス連携ツールを終了します。

e-Signage編

e-Signage ランチャーについて

e-Signage S には、前のモデルとして「e-Signage」というデジタルサイネージソフトウェアがあります。

これまでに e-Signage を利用してサイネージ運用をされていた場合や、e-Signage のソフトウェアを利用して番組やスケジュールなどを作成する場合に使用するツールを、互換ツールとしてインストールしています。

e-Signage ランチャーを使用して、サイネージパーツコンテンツファイルやe-Signage 形式番組 / スケジュールを作成します。

Windows 10 の場合は、タスクバーの [スタート] ボタンから [SHARP e-Signage S 互換ツール] - [e-Signage] の順にクリックして起動します。

Windows 11 の場合は、タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのアプリ] - [SHARP e-Signage S 互換ツール] - [e-Signage] の順にクリックして起動します。

作成したサイネージパーツコンテンツファイルは、コンテンツフォルダー（「メディア」フォルダー）に追加して使用します。

e-Signage 形式番組 / スケジュールは、e-Signage ランチャーから起動する番組エディタ / スケジュールエディタを使用して、管理用PC へアップロードします。e-Signage 形式番組 / スケジュールのアップロードには、「WEB サーバー / ログイン情報設定」が必要です。e-Signage ランチャーが動作しているPC と管理用PC が同一端末の場合は、「Pro WEB サーバー / ログイン情報設定」の「ホスト名またはIP アドレス」に「localhost」と指定します。

e-Signage ランチャーの操作については、e-Signage の取扱説明書をご覧ください。

■ SNSメッセージサイネージパーツについて

2023年4月の X (Twitter)のAPI 提供サービスの変更に伴い、本ソフトウェアで SNSメッセージサイネージパーツをご利用いただけなくなりました。

■ 天気予報サイネージパーツの注意事項

・天気予報サイネージパーツは、OpenWeatherMap, Inc.より提供される気象予測データを表示しています。

・天気予報サイネージパーツは、OpenWeatherMap, Inc.より提供されるFree, Startup契約でサポートされる機能を用い、テンプレートに応じて現在の天気/ 気温、3時間ごとの天気/気温を表示します。

上記以外の表示や、それ以外の契約（Developer, Professional, Enterprise）によって追加サポートされる機能には対応していません。

- ・実際の気象状況と予報の差異が現れる場合があります。あくまでも参考としてご利用ください。
- ・サービスや観測機器のメンテナンス、停止、変更等により、提供情報に遅延が発生したり、天気予報サイネージパーツの提供が行えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・シャープ株式会社およびその関係会社は、天気予報サイネージパーツのコンテンツの内容について

て、正確性、有用性、確実性、安全性その他いかなる保証もいたしません。万一、天気予報サイネージパーツのご利用、もしくはご利用になれないことにより何らかの損害が発生した場合も、シャープ株式会社およびその関係会社は、何ら責任を負うものではありません。

付録

プレゼンテーションファイル変換ツール

PowerPoint のデータを動画または静止画のデータに変換します。

動作環境

本ツールを使用するためには、お使いのパソコンにPowerPoint（Office 2016 以降）がインストールされている必要があります。

1 PowerPoint ファイルを右クリックし、表示されたメニューから [送る] - [プレゼンテーションファイル変換ツール] の順にクリックする。

設定画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

- 「出力ファイル形式」
出力するファイルの形式を選択します。
- 「出力解像度」
出力するファイルの解像度を選択します。
- 「出力ファイルの保存先」
出力するファイルの保存先を設定します。

3 [変換] をクリックする。

変換が実行され、保存先に設定されたフォルダに出力ファイルが保存されます。



ご参考

- スライドのアスペクト比が下記以外のファイルは変換できません。
16:9、4:3、9:16、3:4
- 最大100 ファイルまで一度に変換できます。

モバイル連携機能

モバイル連携機能を利用することで、モバイル端末（スマートフォンやタブレット）からパネルに表示しているコンテンツを簡単な操作で更新できます。本機能はe-Signage S クラウドサービスでのみ利用可能です。

本機能をご利用頂くには、シャープマーケティングジャパン（株）が提供するe-Signage S クラウドサービスの契約が必要となります。ご契約についての詳細は、e-Signage S クラウドサービスにお問い合わせください。

詳しくはWEB サイトをご覧ください。

https://smj.jp.sharp/bs/digital_signage/e_signage_cloud.html

- モバイル連携機能は、臨時番組の仕組みを利用してパネルにコンテンツを配信します。臨時番組については、「臨時番組」を参照ください。

1. 動作環境

• 対応端末とブラウザ

下記のモバイル端末、OS、ブラウザに対応しております(2022 年2 月現在)。
使用するOS やブラウザによりレイアウトや動作が異なる場合があります。

デバイス	OS	ブラウザ
iOS デバイス	iOS 13.x、14.x、15.x	Safari
iPadOS デバイス	iPadOS 13.x、14.x、15.x	Safari
Android デバイス	Android 9、10、11	Google Chrome

• 登録可能なコンテンツファイル

モバイル連携機能でプレイリストに登録できるファイルは次の通りです。

ファイル	ファイル形式	ファイル拡張子
静止画	JPEG、BMP、GIF、PNG	.jpeg .jpg .gif .png .bmp
動画	MP4、MOV	.mp4 .mov

• 最大登録数

項目	最大登録数
プレイリストの最大コンテンツ数	10 個
最大登録パネル数	5台

本章は、Android 9 の例を記載しています。

ご参考

ファイル形式についての注意事項は、「[■コンテンツフォルダーに格納できるファイル](#)」を参照ください。

2. 基本的な使い方

(1) ログイン画面

e-Signage S クラウドサービスご契約時に発行された運用グループ、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。

(2) マイパネル画面（初回ログイン時）

初回ログイン時はマイパネル画面が表示されます。コンテンツを配信するパネルを登録します。パネルの登録方法については、「[マイパネルの登録方法](#)」を参照してください。

(3) プレイリスト画面

パネルに配信したいコンテンツを登録します。

パネルの登録方法については、「[コンテンツの登録方法](#)」を参照してください。

(4) 再生設定画面

プレイリスト画面で [再生] ボタンをタップすると表示されます。

再生開始や再生終了の設定を行って、[配信] ボタンをタップすると配信が開始されます。

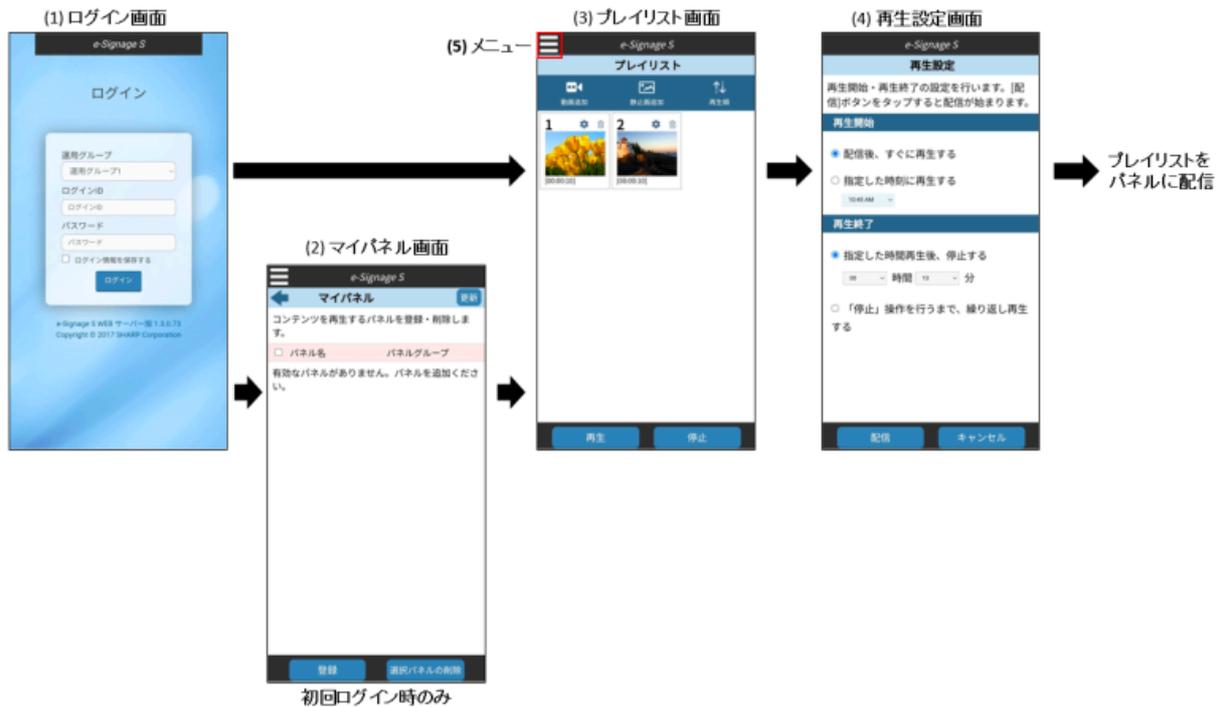
再生設定の方法については、「[再生設定](#)」を参照してください。

※ 配信するコンテンツのサイズやネットワーク環境に依存して、配信に時間がかかることがあります。

(5) メニュー

 [メニュー] をタップするとメニューが表示され、画面を切り替えることができます。

画面の切り換え方法については、「[画面の切替](#)」を参照してください。



マイパネルの登録方法

配信するパネルを次の手順で登録します。

1 配信先のパネルを登録する。

マイパネル画面で[登録]ボタンをタップしてパネル追加画面を表示します。

パネルグループを選択した後、登録するパネルをチェックし、[登録]ボタンをタップします。「選択したパネルは正しく追加されました。」と表示されたら[OK]をタップします。

選択したパネルがマイパネルに登録されます。



2 配信先のパネル解像度を設定する。

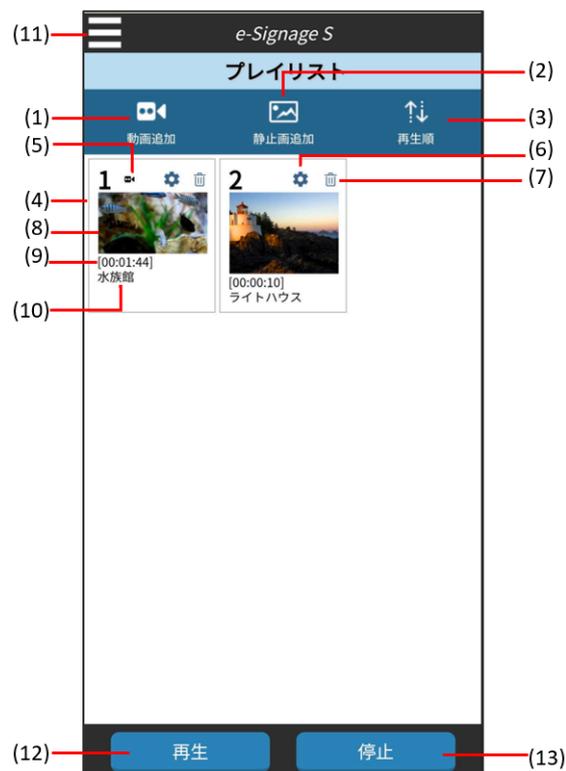
☰ [メニュー] から [システム設定] 画面を開きます。

システム設定から、再生するパネルの幅、高さを入力して、[保存] ボタンをタップします。



コンテンツの登録方法

プレイリスト画面で [動画追加] または [静止画追加] をタップして、プレイリストに動画や静止画を登録します。



番号	項目	説明
(1)	動画追加	プレイリストへ動画を追加します。動画を選択するとコンテンツ登録画面から、再生順、テロップを入力できます。
(2)	静止画追加	プレイリストへ静止画を追加します。静止画を選択するとコンテンツ登録画面から、再生順、テロップを入力できます。
(3)	再生順	再生順を並べ替えます。
(4)	再生順番号	再生順の番号を表示します。
(5)	動画アイコン	コンテンツが動画の場合は、動画アイコンを表示します。
(6)	コンテンツ表示設定	コンテンツの表示方法を設定します。 静止画の場合は、静止画、テロップの表示方法を設定します。 動画の場合は、動画、テロップの表示方法を設定します。
(7)	削除	コンテンツをプレイリストから削除します。
(8)	コンテンツ	再生するコンテンツを表示します。
(9)	再生時間	コンテンツの再生時間を表示します。

(10)	テロップ	再生するテロップを表示します。 ※ 絵文字などの特殊文字は、再生時に文字化けする場合があります。 テロップを使用する際は、事前に試し再生を行って表示確認することをお勧めします。
(11)	メニュー	モバイル連携機能のメニューを表示します。
(12)	再生	プレイリストをパネルへ配信し、再生を行います。 本ボタンを押すと再生設定画面が表示されます。再生開始方法、再生終了方法を設定し、配信を行います。
(13)	停止	停止コマンドをパネルへ配信し、再生中のプレイリストを停止し、もとの画面に戻ります。

• コンテンツ登録画面

プレイリスト画面の「動画追加」や「静止画追加」をタップすると表示される「画像を選択」画面で、動画や静止画を選択するとコンテンツ登録画面が表示されます。コンテンツ登録画面では、再生順の設定とテロップの入力を行い、「登録」ボタンをタップしてプレイリストに登録します。

サンプル画面は、静止画を登録する場合



番号	項目	説明
(1)	プレビュー	コンテンツのプレビューを表示します。
(2)	ファイル名	コンテンツのファイル名を表示します。
(3)	ファイルサイズ	コンテンツのファイルサイズを表示します。
(4)	幅 x 高さ	コンテンツの解像度を表示します。
(5)	再生順	プレイリストの再生順を設定します。
(6)	テロップ	テロップを入力します。
(7)	登録	コンテンツをプレイリストに登録します。
(8)	キャンセル	登録をキャンセルします。

！ ご注意

動画の場合は、プレビュー、幅 x 高さが表示されません。

- コンテンツ表示設定

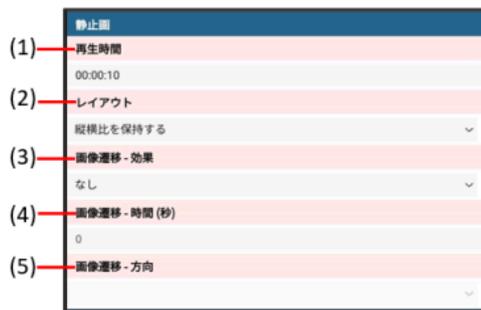
プレイリスト画面の  [コンテンツ表示設定] をタップすると、コンテンツ表示設定画面が表示されます。



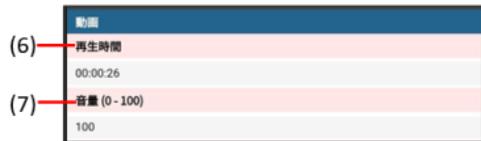
静止画の場合は、静止画の表示設定、テロップ設定が行えます。動画の場合は、動画の表示設定、テロップ設定が行えます。

設定の詳細内容は、次の表をご覧ください。

静止画の表示設定



動画の表示設定



テロップの表示設定



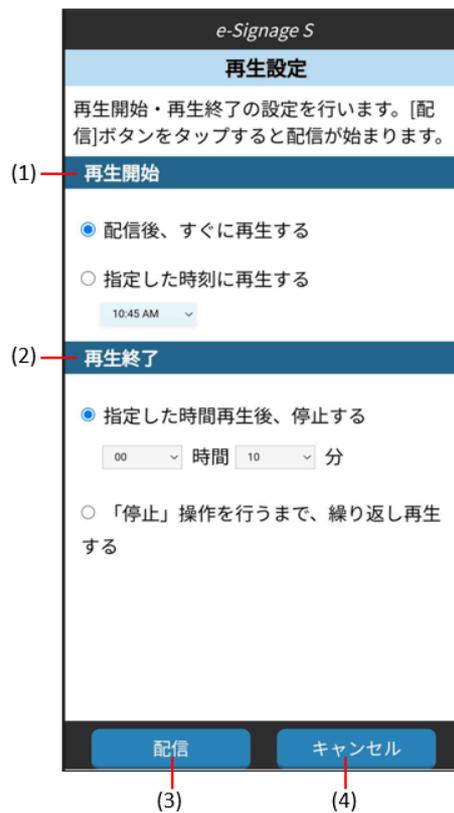
番号	項目	説明	
(1)	静止画	再生時間	静止画の再生時間を入力します。※
(2)		レイアウト	表示レイアウトを設定します。
(3)		画像遷移-効果	画像遷移を設定します。
(4)		画像遷移-時間 (秒)	画像遷移の時間を設定します。
(5)		画像遷移-方向	画像遷移の方向を設定します。
(6)	動画	再生時間	動画の再生時間を入力します。※
(7)		音量 (0-100)	動画の音量を設定します。
(8)	テロップ	テロップ	テロップメッセージを入力します。
(9)		フォント	フォントの種類を設定します。
(10)		フォント-スタイル	フォントのスタイルを設定します。
(11)		フォント-サイズ	フォントのサイズを設定します。
(12)		フォント-文字色	文字の色を設定します。
(13)		フォント-背景色	背景の色を設定します。
(14)		透過設定	テロップの背景色を透過に設定します。
(15)		透過度 (1-10)	透過度を設定します。

(16)		スクロール方向	テロップのスクロール方向を設定します。
(17)		速度 (1-10)	表示速度を設定します。
(18)	保存		コンテンツ表示設定を保存します。
(19)	キャンセル		設定をキャンセルします。

※ 例えば、5 秒に設定する場合は“5”を、1 時間30 分10 秒に設定する場合は“013010”を入力します。

再生設定

プレイリスト画面で [再生] ボタンをタップすると、再生設定画面が表示されます。再生開始方法、再生終了方法を指定し、[配信] ボタンをタップしてプレイリストをパネルに配信します。



番号	項目	説明
(1)	再生開始	プレイリストをパネルに配信した後の再生時間を設定します。
(2)	再生終了	プレイリストをパネルに配信した後の終了方法を設定します。※
(3)	配信	プレイリストの配信を開始します。

(4)	キャンセル	プレイリストの配信をキャンセルします。
-----	-------	---------------------

※ 再生開始18:00 ~再生終了1:00 のような日付をまたぐ再生時間を設定した場合は、日付が変わって0:00 になると再生が終了します。

画面の切替

☰ [メニュー] をタップするとメニューが表示され、画面を切り替えることができます。

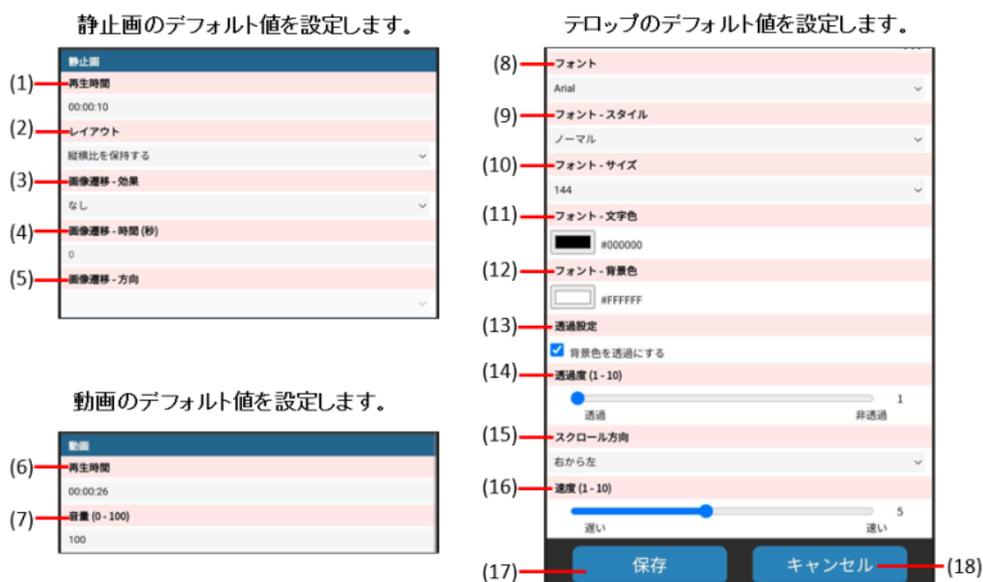


番号	項目	説明
(1)	ログインユーザー名	モバイル連携機能にログインしているユーザー名。
(2)	プレイリスト	プレイリストを表示します。
(3)	マイパネル	マイパネルを登録します。
(4)	システム設定	システムの設定を行います。
(5)	デフォルト設定	デフォルトの設定を行います。
(6)	パスワード変更	ログインユーザーのパスワードを変更します。
(7)	ログアウト	モバイル連携機能からログアウトします。

3. デフォルト設定

お客様のご使用方法に合わせて [コンテンツ表示設定] の初期値を設定します。

- 1  [メニュー] から「デフォルト設定」画面を開く。
- 2 静止画、動画、テロップのデフォルト再生条件を設定する。



番号	項目	説明	
(1)	静止画	再生時間	静止画の再生時間を入力します。※
(2)		レイアウト	表示レイアウトを設定します。
(3)		画像遷移-効果	画像遷移を設定します。
(4)		画像遷移-時間 (秒)	画像遷移の時間を設定します。
(5)		画像遷移-方向	画像遷移の方向を設定します。
(6)	動画	再生時間	動画の再生時間を入力します。※
(7)		音量 (0-100)	動画の音量を設定します。
(8)	テロップ	フォント	フォントの種類を設定します。
(9)		フォント-スタイル	フォントのスタイルを設定します。
(10)		フォント-サイズ	フォントのサイズを設定します。
(11)		フォント-文字色	文字の色を設定します。
(12)		フォント-背景色	背景の色を設定します。

(13)		透過設定	テロップの背景色を透過に設定します。
(14)		透過度 (1-10)	透過度を設定します。
(15)	テロップ	スクロール方向	テロップのスクロール方向を設定します。
(16)		速度 (1-10)	表示速度を設定します。
(17)	保存		デフォルト設定を保存します。
(18)	キャンセル		設定をキャンセルします。

※ 例えば、5 秒に設定する場合は“5”を、1 時間30 分10 秒に設定する場合は“013010”を入力します。

4. システム設定

お客様のご使用方法に合わせてシステム条件を設定します。

1  [メニュー] から「システム設定」画面を開く。

2 パネルサイズ、番組種類を設定する。

システム条件を設定します。



番号	項目	説明
----	----	----

(1)	パネル解像度	パネルの幅解像度、高さ解像度を設定します。
(2)	番組種類	通常はデフォルトでご使用ください。
(3)	番組名	通常はご使用にならないでください。
(4)	保存	システム設定を保存します。
(5)	キャンセル	設定をキャンセルします。

5. システム運用上の注意事項

■大きなサイズのファイルをプレイリストに登録した場合

プレイリストに大きなサイズのコンテンツが登録されていると、プレイリストの配信に時間がかかる場合があります。途中で配信をキャンセルしたい時は、ブラウザの更新ボタンをタップしてください。

■モバイル端末のブラウザ設定について

ブラウザ（Safari、Google Chrome）で、Cookie とJavaScript を有効にしてください。すべてのCookie をブロックする設定にしたり、JavaScript の実行を許可しない設定にすると、モバイル連携機能を利用できなくなります。

■縦向きで撮影した静止画を縦長設置したパネルに表示した場合

静止画が縦向きに表示されない場合があります。e-Signage S プレーヤーの設定変更で対応可能な場合がありますので、詳細は弊社営業窓口にお問い合わせください。

■iPhone や iPad で、カメラで撮影してプレイリストに動画や静止画に登録した場合

「画像を選択」画面で【カメラ】をタップし、動画や静止画を撮影してプレイリストに登録すると、解像度が低くなる場合があります。その場合は事前にモバイル端末のカメラアプリで撮影を行い、保存済みの動画や静止画を選択してプレイリストに登録するようにしてください。

■iPhoneや iPad の「スロー」モードで撮影した動画について

「スロー」モードで撮影した動画は、e-Signage S プレーヤーではスローモーションで再生されませんのでご注意ください。

■システムの予約語について

モバイル連携機能では、お客様がモバイル端末から初めてログインした時に、e-Signage S WEB サーバーのコンテンツフォルダー管理にログインユーザー専用コンテンツフォルダーが、番組管理にログインユーザー専用番組がそれぞれ自動的に作成されます。

ログインユーザー専用コンテンツフォルダーは、動画や静止画を管理するメディア用コンテンツフォルダーと、テロップを管理するテロップ用コンテンツフォルダーの2つのコンテンツフォルダーです。

ログインユーザー専用番組は、メディア用コンテンツフォルダーとテロップ用コンテンツフォルダーが割り付けられた番組です。モバイル連携機能は、この番組を配信します。

それぞれ、次の命名規則でコンテンツフォルダー、番組が作成されますので、これらの名前をご使用にならないようご注意ください。

ログインユーザー専用コンテンツフォルダー

コンテンツフォルダー	コンテンツフォルダー名の命名規則	例（ログインユーザーが“user1”の場合）
メディア用コンテンツフォルダー	sp_< ログインユーザー名 >_media	sp_user1_media
テロップ用コンテンツフォルダー	sp_< ログインユーザー名 >_telop	sp_user1_telop

ログインユーザー専用番組

番組	番組名の命名規則	例（ログインユーザーが“user1”の場合）
標準番組	sp_< ログインユーザー名 >_program	sp_user1_program

6. トラブルシューティング

ブラウザの操作画面についてトラブルが発生した場合は、下表の対処方法をご確認ください。

症状	対処方法
操作画面のアイコンが正しく表示されない。	ブラウザが保存しているキャッシュデータが正しくない可能性があります。 PCの場合は、キーボードを使って Ctrl キー + F5 キーを押して、ブラウザのキャッシュデータを削除してください。 モバイル端末の場合は、ブラウザの閲覧履歴を削除してください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

1. ソフトウェアの構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。第三者が著作権を所有するソフトウェアコンポーネントにはフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントも含まれます。ソースコードの入手方法実行形式のソフトウェアコンポーネント配布の条件としてソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法および各ライセンスの確認方法については以下の WEB サイトをご覧ください。

```
https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/e-signage_source.html
```

SHARP

SHARP CORPORATION